

ナルモノアリ既ニ英國ニ行ハル、リチユアリスト及  
「ピユゼイスト」等ノ如キハ信徒相互ニ告解ヲナス迄ニ  
至ルト云フ又之ニ反シテ耶穌基利斯督ハ天主ニアラ  
ズトイフニ至ル迄公教ノ教旨ヲ悉ク放棄セル派アリ  
此派ノ如キハ宗教ナキモノト斷言シテ可ナリ此等ハ  
即チ歐米諸國「プロテスタン」徒中ノ過半ニシテ所謂「ラ  
シチナリス」トイフハ尤モ適切ナル名稱トイフベシ  
此書ヲ一讀スルトキハ「プロテスタン」宗ノ根源ハ何レ  
ニ在ルヤヲ知リ「プロテスタン」徒カ該宗創設以前ノ宗



教ヨリ取捨シタル道理ハ之ヲ見ル能ハザルモ(苟モ道理アラバ「プロテスタン」徒ニ於テ之ヲ明示スヘキナリ)其取捨シタル事項ハ之ヲ知ルニ足ル又公教信者カ「プロテスタン」宗創設以前信セシ事項目下信スル事項向來信スベキ事項ハ如何ナルモノニシテ異變アルカ將タ古今毫モ異變シタル所ナキヤヲ知ルベシ蓋公教カ何ノ代何ノ國ニ於テモ依然トシテ敢テ變異シタルコトナキハ尤モ公教信者ノ爲メ大ニ其心ヲ慰メシムル一要件ナリ

苟モ「プロテスタン」徒ニシテ能ク此書ヲ讀ム者アラバ大ニ發明スル所アルベシ亦大ニ覺悟スル所アルベシ蓋シ公教信者中「プロテスタン」宗ノ教旨ヲ知ラザルモノ多キガ如ク「プロテスタン」徒中公教ノ深意ヲ知ラザル者亦尤モ多シ「プロテスタン」宗教旨ノ要領ヲ繹ヌルニ十中八九ハ公教人カ奉スル教ヲ信スル勿レ公教人カ守ル教ヲ守ル勿レ等ノ二言ニ過キザルナリ此二言ニ依ルトキハ公教人ハ如何ナル惡業ヲナシ如何ナル邪道ヲ信ジテ斯ノ如キ誹評排斥ヲ受クルニ至リシヤ



「プロテスタント」徒ハ其原因ヲ証明セズ徒ラニ散漫タル  
言ヲ設ケ眞誠ナル確言ヲ發セズ若シ「プロテスタント」徒  
ニシテ此書ニ注意シ試ミニ之ヲ一讀セバ我カ公教ノ  
邪曲ナラズシテ正誠單一ナルコトヲ知り或ハ少シク  
其良心ニ煩悶スルコトアリ必ス手ヲ胸ニ叉シテ沈  
思シ公教信者ガ斯ノ如ク信スル事項ヲ尙ホ迷誤スル  
モノトセバ眞誠ナル基督教ハ果シテ何ニアルヤト心  
中疑問ヲ發スルニ至ルベシ而シテ斯ノ如キ疑問ヲ「プ  
ロテスタント」宗ノ教師ニ提出セバ其教師ハ所謂「バイブ

ル」ヲ取リテ之ヲ讀ミ我ガ信ズベキ事項ハ是ナリト答  
フルナラン斯ノ答辨ハ啻ニ其子弟ヲシテ自カラ其信  
スベキヲ悉皆確定セシムル詔諭ノ答辨ナルノミナ  
ラズ尤モ煩悶窘感スル答辨トイフベシ蓋シ其「バイブ  
ル」ト稱スル聖書ノ眞理ヲ了解セザルキハ信ノ一定ヲ  
有スル能ハズシテ其「バイブル」ナルモノハ所謂荒唐不  
經ノ書籍トナリ其子弟ヲシテ恣ニ見解ヲ付シ其意ニ  
適スル事項ノミヲ撰拔スルニ至ラシムレバナリ乃チ  
「プロテスタント」宗派ノ數ガ凡ソ其聖書講讀者ノ數ノ如



ク夥多ナルハ職トシテ此理ニ由ルモノナリ  
故ニ余ハ知ル良心アル「プロテスタン」徒タルモノ宜シ  
ク一方ニ耶穌基督ヨリ今日ニ至ルマテ依然トシテ傳  
來シ教會ニ於テ實行スル眞誠ノ教旨ヲ掲ゲタル教書  
ヲ讀ミ一方ニハ「プロテスタン」徒ガ公教ヨリ取捨セル  
事項ヲ討議詳説シタル此書ヲ一讀セバ必ラズ其自カ  
ラ信スベキ事項ヲ確定スルニ至ルベシト若シ此書中  
ノ問答ノミニ就テ尙ホ足ラズトセバ此書中掲グルノ  
餘地ナカリシ事項數多アリ而シテ尙ホ未ダ之ヲ信ズ

ルニ至ル能ハザレバ宜シク之ヲ天主ニ請願スベシ天  
主ハ之ヲ請フ者ニ信ヲ下付シ給フナリ苟モ我身ノ愛  
ノタメ呼ヒ給フ天主ノ聖聲ヲ聞アラバ宜シク此世ニ  
生存スル間ニ其我慢ヲ制スベシ來世ニ至テ臍ヲ嚙ム  
モ已ニ及バス又悔悟スルモ其功ナカルベキナリ  
抑此書ノ功德タル我公教信者ノ讀者ニ在テハ「プロテ  
スタン」宗ノ教旨ヲ知ルコトヲ得又「プロテスタン」徒ノ  
讀者ニ在テハ公教ノ眞正ナルコトヲ知ルヲ得セシム  
ルハ前ニ陳ブルガ如シ是ハ則チ這廻翻譯印刷シテ我



國ニ播布スルノ主旨ナリ且余ガ此書ヲ譯スル敢テ一  
毫モ杜撰ノ筆ヲ下ダサズ又一毫モ取捨點竄セズ務テ原  
書ノ意味ヲ寫スニ在リ恨ラクハ余ガ精神微弱學術淺薄  
ニシテ原書ノ縝奧精彩ヲ發揮スル能ハザルナリ余ハ  
願フ天主ガ限リナキ矜憫ヲ垂レテ此書ノ眞理ヲ了會  
セシムル爲メ我等カ微弱ノ精神ヲ佐ケ給ハンコトヲ

吾主降世紀元千八百八十五年一月

譯者述

公教兩岐問答

第一章 新教徒カ公教ヲ討究スルノ理由

問 如何ナル宗教ニ於テモ等シク救靈ノ道アルニアラズヤ

答 否アルコトナシ天地間唯天主ヨリ出ル所ノ眞誠ナル教ノ一アルノ  
ミ則チ基督敎是ナリ

問 然レバ基督敎徒トナルノミニテ足レリトスルカ

答 否足レリトセズ耶穌基督カ望ミタマヒシ所ノ奉敎信徒トナラザ  
ルベカラズ則チ其教會ニ屬從スルコト是ナリ

問 教會ハ其箇數多キヤ

答 否ナ眞誠ナル教會ハ唯一アルノミ聖書ニ曰ク主ハ一信ハ一洗禮  
ハ一ニシテ(保祿エフエニシイヤ)ニ達スルノ書四章五節(一群ニ一



牧アルノミト(約翰十章十六節)教會ノ信徒ハ須カラク耶穌基督ト其  
父ト一ナルカ如ク(約翰十章第三十節)一心ナラザルベカラス我等我  
主トハ合シテ一身タリ(保祿ローマ)人ニ達スル書十二章五節(天主ハ  
其言ヲ二ツニスルヲナク人ニ惠降セル默示ハ眞誠單一ナル至意ヲ  
有スルモノナルガユヘ此默示ノ眞誠單一ナル至意ヲ敬誠スル教會  
コソ之ヲ眞誠ナル教會トイフ

問 然レバ足下ハ彼ノ「プロテスタント」稱スル新奇ナル教ヲ如何ニ思  
考セラルハヤ

答 彼等ハ心頭既ニ迷ヘリ苟モ救靈ノ道ヲ求メント欲セバ彼ノ聖保  
祿ガ凡ソ事ハ唯能ク省察シテ唯善ニ據ント(テザロニシヤ)ニ達ス  
ル書五章廿一節)イヒシ如ク眞誠ナル教會ヲ搜索シテ其教ニ入ラザ  
ルベカラス

問 然ルニ彼若シ我等ハ我カ宗教ニ生育セルヲ以テ到底其宗教ヲ固  
守セザルベカラスト言バ如何

答 其點ニ至リテハ彼等ガ異端人タリ回々教徒タリ或ハ猶太教徒タ  
ルモ又タ無宗教ナルモ其意志ニ放任シテ敢テ問フ所ナカルベシ  
問 然ラバ足下ハ何ヲ以テ彼等ヲ勸化セシムルヤ

答 余ハ彼等ヲ勸化スルニ公教ノ正理ヲ深思シ且昔時基督信徒ハ舉  
公教人ニシテ彼等ノ祖先ヨリ祖父若クハ父ニ至ルマデ公教人ナラ  
ザルナク又彼等カ其至大ナル榮果ヲ稱賛スル所ノ國王若クハ智能  
ヲ稱賛シテ欽慕スル所ノ哲學士若クハ其至聖ナルヲ敬事スル所  
ノ聖人モ皆ナ公教ヲ奉ゼシ人ナリ况ヤ教法改革ノ際佛蘭西伊太利  
西班牙等ノ如キ文明國ニ於テ毫モ公教人ノ意想ヲ變ズルヲナク只北  
部ノ野蠻未開國ノ「プロテスタント」教ニ改宗セシト且目今ニ至ルマ



テモ基督教ニ歸依スル信徒ノ過半ハ皆公教人ナルヲトテ辨明スベキヲ以テスルノミ

問 然ルニ公教ヲ奉スルハ誠ニ心身勞苦ニシテ不便ナラズヤ

答 然リ公教ヲ奉スルニ眞ニ辛苦アリ即チ其規課ノ夥多ニシテ之ヲ修ムルハ容易ナラザルモ亦欠クベカラザルモノナリ其告解、戒食、戒肉、及私慾ヲ遏止スル等ノ嚴誡ハ一々之ヲ實施スルモノニシテ「プロテスタン」徒ノ如ク漫然空虚ニ駕スルガ如キ語ニアラズ且奉教人が主日ノ遵守及ヒ日課ノ規禮ハ實ニ苦惱ニシテ天主ノ助力ヲ得ザレバ人力以テ能クスベカラズ然レモ公教人ハ斯ノ如キ苦惱モ之ヲ苦惱トセズ單ニ眞理ヲ敬慕スル爲メ公教内ニ安息シ確乎トシテ動かザルハ則チ耶穌基督ノ眞誠ナル教會ナルヲ証明スルニ足ルナリ

問 「プロテスタン」徒中公教信奉者トナルモノアリヤ

答 然リ最モ著シキハ「プロテスタン」徒中ニ於テ熟知ノ者ノミニ止ラズ其傳教士中續々公教會ニ歸依スル者アリ

問 「プロテスタン」徒ガ公教ヲ討究スル原因ハ又外ニアリヤ

答 アリ公教ハ新設ノモノニアラズ即チ「プロテスタン」宗ノ設立前千五百年以來ノ教ニシテ耶穌基督ノ設立ニ係ルヲ辨ハシムルニアリ

問 然ルニ公教ハ中世大ニ擾亂セリト聞ク果シテ如何

答 斯ノ如ク傳フルモノアリ然レモ此傳言ヲシテ眞實ナラシメバ耶穌基督ハ其言ニ背反スルモノトイハサルヲ得ズ此ノ實ニ不敬ノ言ナレモ何ントナレバ耶穌基督ハ地獄ノ門ハ其教會ニ勝ツ能ハズ馬太傳十六章十八節常モ其教會ト偕ニ居リ馬太傳廿八章二十節其聖神ハ常ニ純粹ナル眞理ヲ其教會ニ教ニ約翰十四章二十六節十六節



十三節)ベシト曰ヒ又瑕ナク皺ナク聖ニシテ玷ナキ榮光ノ教會ヲ創立スベシト曰ヒ(保祿エフエニシイヤン)ニ達スルノ書五章廿七節又聖保祿ハ教會ヲ真理ノ柱基(保祿)ヲモテニ達スル前書三章十五節ト呼ビシヲ以テナリ

問 新教興起セントスル以前教會ニ紛亂醜汚ノコトハアラザリシヤ

答 然リアラザルコトナシ昔シヨリ正淑ナル童貞アリ又狂痴ナル童貞アルコト恰モ善良ナル稻子ニ稗子ノ混合スルガ如シト雖モ紛亂醜汚ハ其人ノ行爲ニシテ教會ノ信及ヒ道德ハ決シテ變ズルコトナシ

問 「プロテスタント」徒ハ其宗教ヲ能ク討究セバ其教理ノ眞偽ヲ疑フノ感覺ヲ惹キ起スニ足ルヤ

答 然リ其創立者ハ放恣亂行ノ人ナリ其宗ノ傳播スル所ハ道德ニ反スルノ教ニシテ耶穌基督カ命シ給ヒシ如ク教會ノ唯一ナル主旨ヲ

有セズ其信、道德ハ時ニ由リ地ニ隨ツテ變化アリ實ニ「プロテスタント」徒ハ相互ニ敵視シ各背馳ノ説ヲ取り恰モ數種ヲ以テ組織シタル一塊ノ混合物ニ過キズ其一致ハ唯公教ヲ怨敵トスルノ一點ニアルノミ斯ノ如キハ純然タル耶穌基督ノ教會ニハアラザルナリ

第二章 リユテールノ創設ニ係ル

「プロテスタント」宗ノ起原及其進歩

第一項

問 何チ「プロテスタント」宗トイフカ

答 リユテールナル者ノ發起傳播ニ係ル新奇ノ教チイフ

問 何チ以テ之レチ新奇ノ教トイフカ

答 是チ一種ノ教ト見做シテ論ゼンニ斯ノ如キ教ハリユテール現出ノ時迄世人之レチ教ユルモノナシ故ニ之レチ知ルモノナク又之レ



チ信スルモノナカリシヲ以テ新奇ノ教トイフナリ

問 然ルニアルビゼオア徒ウオドア徒ヒユシト徒ウイクレフイト

徒ハ之ト等シキ教ヲ其二三百年前ニ傳播セサリシヤアルビゼオ宗

佛國ノ南部ニ於テマニセアン徒ノ謬説ヲ再説セシモノ又ウオドア宗ハ千  
二百年代佛國リオン府ニ起リドフヒ子サウオアピイモノ三郡ニ蔓延  
セシモノ今尚ホピイモ郡ニ存スヒユシト宗ハジヤンヒユスナルモ  
ノ其主唱者トナリ千五百年代英人ウイクレフノ謬道ヲ獨逸國ニ傳播セ  
シモノウイクレフイト宗ハウイクレフノ創立ニ係リ其謬  
妄ナル説ヲ以テ千四百年代英國ヲ亂シタルモノナリ

答 然リ此數派ノ宗教ハ全クリユテール派ト其性質ヲ異ニセリ則チ

アルビゼオア派ハ二天主ニ基督アリト唱ヘ信徒ニ再婚ヲ許容シ悉  
ク秘跡ヲ放棄シ人體復活ノヲテ排斥セシモノウオドア派ハ單ニ強  
奪ノミチ主意トス其言ニ裁判官ニシテ一ノ罪人ヲ死刑ニ行フハ重  
罪ナリ裁判ニ於テ誓約スルヲ亦重罪譯者曰ク重罪ノ二字ニ「ペシエモ  
ルタル」罪科ノ二字ニ「ベシエ」ト傍  
音ヲ下シタルハ總テ宗教上ノ重罪罪科ヲイフ讀者宜  
ク刑法ニ觸レタル重罪罪科ト誤ル勿レ以下之ニ倣フナリトイヒ教師ニ

財産ノ所有權ヲ禁セリ然レ此狂妄者ハ悉ク公教ヲ排斥スル能ハ  
スシテ彌撒、聖體ノ秘跡及ヒ煉獄等ヲ信用ス又ウイクレフイト派ハ  
人ハ唯知ラス識ラス罪科ベシエヲ犯スモノニシテ天主ハ其罪科ベシエヲ許容セ  
ラル、教師、裁判官ハ重罪ベシエヲ犯サバ其權ヲ失フモノトシ而シテ己レ等  
ハ總テ罪科ベシエナケレバ其權ヲ失フヲナシト宣言セリ彼ノヒユシト  
派ノ教ユル所ハウイクレフイトト同一ノ主旨ナリ

問 リユテ爾及其他ノ改教者ハ基督教會ニ於テ教ユル所ノ真理ノ一

二條ハ之ヲ保守セサリシヤ

答 然リ真理ノ一二條ヲ保守セルモノ、如シト雖モ思フニ改教者中  
基督教ノ信スヘキ真理ヲ共ニ保守スルハ僅カニ一條項ニモ過ザル  
ベシ

問 リユテ爾ハ何ノ年ヲ以テ何ノ國ニ生レシヤ



答 リユテールハ千四百八十三年普國サキス、エイスルベンニ生レタ

問 其兩親ノ信奉セシ宗教ハ如何

答 其兩親ハ祖先ヨリ傳來ノ公教人ナリ

問 リユテールノ生レシ頃歐洲全土ノ宗教ハ如何

答 公教ナリ

問 リユテールモ其始亦公教人ナラザリシヤ

答 然リ年齢三十五歳迄公教ヲ守リシモノニシテ剩ヘオীগスチノ

會ノ一修道士タリシ

問 然レバ彼亦三誓願ヲ契了シタルニアラズヤ

答 然リ年齢二十三歳ニシテ不犯、貧、從順ノ三誓願ヲ契結セリ

問 然レバ其誓願ハ之ヲ固守セザルヲ得ザルニアラズヤ

答 然リ彼ハ熟思ノ末一ノ妨害ナク自己ノ覺悟ヲ以テ此誓願ヲナセ

リ豫言者ノ言ニ汝天主ニ對シ汝ノ誓願ヲ全フセヨト(詩篇四十九章

十四節)又天主モ(民數記三十章三節)人ニシテ主ニ誓願ヲナシ或ハ誓

約ヲナスアラバ其言ニ違背スルコトナク其契約ヲ全フスベシトイヒ

タマヒシヲ以テナリ

問 リユテールハ其誓願ヲ守リテ以テ此天主ノ命令ニ從ヒシヤ

答 否三ノ誓願ハ總テ之ヲ違背干犯シ漫然背教者トナリ誓願ヲ契結

セル修道女カトリナド、ポーラヲ娶リ教會ノ司權者ニ背キタリ

問 リユテールハ眞ニプロテスタン宗ノ創立者ニシテ世ニ顯ハレタ

ル該宗ノ嚆矢ナリヤ

答 然リ彼レカ主唱セル以前ハプロテスタン教ヲ傳播スル教師ノ類

ナク之ヲ遵奉スル信徒ナク又之ヲ教ユル神學校ノ如キモノアラサ



レハナリ

問 然ラハ足下ハ此數問題ヲ如何カ論決セラル、ヤ

答 余ハ斷シテイフ「プロテスタン」宗ハ耶穌基督ノ教ニアラズ果シテ耶穌基利斯督ノ教會ガ改革ヲ要セントスルモ至聖潔白ナル天主ハ其改革者ヲ撰拔スルニ當テリユテールノ如キ誓願ニ違背干犯シ人ヲ誑惑シ至聖ヲ侮辱シ道德ヲ修メザル者ニ之ヲ命シ給フノ理ハ萬々アラザルヲ以テナリ

第二項

問 リユテールガ公教ヲ攻撃シ新タナル一教ヲ創設シタル原因ハ如何

答 我慢嫉妬ヲ以テ其原因トス蓋リユテールハ教皇十世レオンガ大赦ノ布告ヲドミンゴ會ニ委托シタルヲ憤リシニ因ルナリ

問 彼ハ我慢嫉妬ヲ以テ如何ナル行爲ヲ働ラキシヤ

答 痛ク大赦ニ係ル教理ヲ攻撃セリ

問 公教會ハリユテールガ單ニ公教人中二三ノ放恣亂逸及貪慾者ヲ攻撃セシノミナルモ之レヲ譴斥スルヤ

答 否此ノ如キ所爲ノミニ止マラハ敢テ之レヲ譴斥スルコトナシト雖モ彼レハ放恣亂逸等ノ攻撃ヲ名トシ大赦ニ係ル眞誠ナル教理ヲ攻撃シタルヲ以テナリ

問 其攻撃ニ亞キタル所爲ハ如何

答 教會ノ教理ニ對シ背反シタル論旨九十五ヶ條ヲ記シテ之ヲウユルタンベートルノ寺院ノ門扉ニ貼示セリ

問 其條項ヲ論駁セシモノアリヤ

答 アリ公教ノ神學者中巧妙ナル辨明ヲ以テ之レヲ論駁シタルモノ



アリシモリユテイルハ却テ奉教人ノナスベカラザル傲慢ノ語言ニ依リ答辨ヲナセリ

問 リユテイルハ此答辨ヲナスニ偽善假徳ヲ虚装シタル所爲ヲ以テセザリシヤ

答 然リ虚装ノ所爲アリ彼レハ千五百十七年ニ於テ宣言シテイヘラク聖書、聖教父ノ教ニ基ヅキ羅馬教皇ノ允准ヲ經タルニアラザレバ教エズト又書ヲブランプトールノ司教ニ贈リ宗教ニ關シテハ何等ヲ論セズ其私意ヲ放棄シ一ニ教會ノ審判ニ從フベシト明記セリ且千五百十八年教皇十世レオンニ對シ總テ決定スベキ事項ハ耶穌基督ノ口ヨリ發シタル言ノ如ク教皇ノ命令ニ順從スベシト明言シ其上位ノ修道者ニ苟モ論駁者ニシテ鎮靜セバ余ハ必ス口ヲ噤シテ黙止スベシト盟約セリ然レモ其盟約ハ一モ之ヲ履行セザリシ

問 足下ハ此數段ニ於テ如何ナル論ヲ下スヤ

答 彼果シテ其約ヲ履行スルノ意ナキ虚装者タル歟或ハ眞實其上位者ノ命ニ從ヒ口ヲ噤シテ黙止スルノ約ヲナシタルヲ見レバ己レカ攻撃セシ公教ノ眞誠ナルニ心服スルノ決意ナリシヤノ兩般ニアリ

問 然レハ足下ハ此兩般ヲ何レニ決斷スルヤ

答 余ハ斷シテイフ、リユテイルハ其心中我慢怨恨嫉妬ノ充滿シタル虚装者ナリ假リニ教會中二三ノ放恣亂逸者アリトスルモ天主ハ之レヲ改教セシムルニ斯クノ如キ虚装者ヲ撰拔スルノ理アラザルナリト

第三項

問 オグスブールニ於テ「カルヂナール」大司教カゼタントリユテイルトノ問ニ如何ナルヲアリシヤ



因ニ曰クカゼヤン大司教ハ千六百年代ノ有名ナル神學者ニシテ  
リユテールガ迷夢ヲ覺醒セシムルタメ教皇十世レオンヨリ派遣  
サレシ人ナリ

答 大司教ハリユテールニ其迷夢ヲ覺醒セリト公言スベキヲ勸告  
セシト雖モリユテールハ之ヲ拒ミ且同時ニ獨逸國ノ重大ナル大  
學林及佛蘭西國巴里府ノ大學校ニ質問シ一々其裁定ニ從フベキヲ  
ヲ約セリ

問 彼其約ヲ守リシヤ

答 否後教皇ノ裁定ヲ請ヒ尙心服セズ遂ニ之ヲ教理審査ノ大會ニ附  
シタリ

問 彼果シテ教理審査大會ノ裁定ニ心服セシヤ

答 否啻ニ心服セサルノミナラズウオルム府ノ小會ニ於テ余ハ如何

ナル審査大會ニ於ケルモ斷然其審判ヲ拒絕スベシト主張セリ

問 足下ハ之ヲ如何ニ論評スルヤ

答 リユテールハ斯ノ如ク數多ノ審判ヲ仰キテ其裁決ニ服セザルハ  
最モ浮燥剛復ニシテ彼其自ラ主唱スル教ノ偽惡ナルヲ知ルモ特  
ニ我慢増長シテ心ニ反ル能ハズ自己ノ意見ヲ取り誤謬ナキ衆評ヲ  
捨テ顧ミザルハ眞ニ自說ヲ偏信スルモノトイフベシ

問 リユテールハ誰人ニテモ聖書ニ由リテ其教ノ偽ナルヲ証明ス  
ルモノアレバ其教ヲ放棄スル旨ヲ約セザリシヤ

答 然リ其約タルヤ單ニ其教ヲ自由ニ擴張セシムルノ計策ナリ何ソ  
トナレバ聖書ノ説明ハ利己ノ陋見ヲ揣摩シテ恣ニ之カ解釋ヲ下ス  
ヲ得ルヲ知レバナリ恰モ現今此法ヲ用ユル彼ノモルモン派メト  
ヂスト派ノ如シ



問 リユテールカ此計策ヲ設ケタル目的ハ如何

答 其目的ハ聖書ノ貴重ナル權ヲ借リテ其誤謬ノ說ヲ眞誠ナル教トシテ人民ニ守ラシムルニアリ若シリユテールニシテ良心ヲ有スルモノナリセバ自ラ其傳播セント欲スル教ハ眞ニ聖書ニ適合スルヤ否ヤノ決定ヲ教會ニ請ハザルヲ得ザルベシ

問 各大學林ハリユテールガ主張スル教旨ヲ如何ニ裁定セシヤ

答 レフヂツク府コロニーニユ府及ヒ巴里府ノ三大學林ニ於テハ之レヲ僞且邪教ナリト裁定セリ

問 然ラバリユテールハ其始ノ言ノ如ク大學ノ裁定ニ服セシヤ

答 否啻ニ服セサルノミナラズ却テ之レヲ罵詈訾巴里ノ大學ヲ呼テ迷夢ノ母基督ニ敵スル者ノ子地獄ノ門トイヘリ

問 リユテールハ曩ニ教皇ノ裁定ヲ請フキハ耶穌基督ノ口ヨリ發シ

タルモノ、如クシ必ス其裁定ニ服スベシト明言セリ然ルニ教皇ノ裁定ハ如何

答 教皇ハ勅諭ヲ發シリユテール教ノ内四十一ヶ條ヲ指斥シ且其勅諭中ニリユテールノ心ヲ挽回セシムル爲メ幾多ノ手段ヲ用ヒシモ其懇篤ナル教諭忠告ハ遂ニ一ノ好結果ヲ得ズト記シリユテールノ迷夢ヲ感醒スル爲メ六十日ノ期限ヲ與ヘ此期限ヲ經過シテ尙改心セサレバ其邪書ハ悉ク燒棄スベシト裁定セリ

問 リユテールハ其勅諭裁定ニ服セシヤ

答 否敢テ服従スルコトナク却テ教皇ノ勅諭ハ基督ニ敵スルモノ、裁定トナシ勅諭ヲ取テ公然之ヲ燒棄セリ

問 リユテールハ是レヨリ先キ恭敬ヲ盡シタル書ヲ教皇ニ贈リ其膝下ニ身ヲ投シ憐ヲ請フベキ旨ヲ公言セザリシヤ



答 然リ然レニ彼ハ教皇カ其誤謬ノ教ヲ准許セザリシヲ以テ忽然其言ヲ食ミ教皇ノ勅論文ヲ燒棄スルニ止マラズ合セテ教皇ヲモ猛火ニ投スベシト公言セリ

問 リユテールハ是レヨリ先キ其救靈ヲ得ルト得ザルトハ全ク教皇ノ許スト許サマルトニ因ル旨ノ書ヲ贈ラザリシヤ

答 然リ然ルニ彼一旦教皇ノ譴斥ヲ受クルニ及テ怒ヲ發シ宣言シテ何故ニ我等ハ力ヲ協セ心ヲ同フシ迷蒙ノ師タル教皇大司教司教等ヲ殺滅シ其血ヲ以テ我等ノ兩手ヲ染メザルヤ若シ彼ノ禽獸(教皇ヲ指ス)ガ斃レザルニ我等死シ刃ヲ此禽獸ノ胸ニ貫カザルキハ臍ヲ嚙ムトモ何ゾ及ン之ヲ遺憾ノ一事トスルノミ又此禽獸等ノ爲メ防禦ヲナスモノハ皇帝國王ヲ論ゼズ一群ノ山賊ト見做シテ之ヲ處分スベシトイヘリ

問 リユテールハ嘗テ教皇及公教會ハ地上ニ於テ最上位ノ救靈司權者ナリト公言セザリシヤ

答 然リ然レトモ一タヒ其說ノ容レラレザルヲ憤リシヨリ却テ教皇ノ權ニ敵抗スルモノハ救靈ヲ得ルナリトイヘリ

問 然ラバ足下ハリユテールノ行爲ニ付テ如何カ判定セラレハヤ

答 余ハリユテールハ妄リニ邪道ヲ主唱シ狐疑寇讎ノ念ヲ抱キ天主ヲ慕フノ精神ヲ有スルノ効驗ナク徒ニ魔鬼ニ煽動セラレタルモノト觀破セリ

第四項

問 此邪教ヲ滅スルタメ教外者ハ如何ナル處置ヲナセシヤ

答 シヤールカイン皇帝ハリユテールヲウオルムノ小會ニ召喚シ温言ヲ以テ彼レヲ改心セシムルノ手段ヲ施セリ



問 リユテールハ小會ノ推問ニ對シ如何ナル答辨ヲナセシヤ

答 リユテールハ皇帝ハ斯ル命令ヲ出シ自ラ其愚蒙ナルヲ顯スナ  
リトイヘリ

問 然ラバリユテールカ其教ヲ以テ人心ヲ惑亂セシメ秩序ヲ破壊セ  
シムルヲ防壓スル爲メ何故ニ彼ヲ禁囚セザリシヤ

答 政府ハ彼ニ有期往來ノ權ヲ付與シタルヲ以テ其期限内ハ之レヲ  
如何ントモスル能ハザルニ因ルナリ然レモ其期ノ滿ツルヤ皇帝ハ  
リユテールヲ恣ニ宗派ヲ立ツルモノトナシ教會ヨリ之ヲ放逐セシ  
メタリ

問 リユテールハ何地ヘ退キシヤ

答 ワルトブルグ城ニ退居シ毒惡邪害ノ教書ヲ著述セリ

問 其教書ノ結果ハ如何

答 其教書ハ叛亂ヲ醸生セシガ就中農夫等ハ其教書中富者ハ決シテ  
其財産ヲ專ニスルモノニアラズ宗徒行傳第二章ニ初代ノ奉教人ハ  
財産ヲ共有ニセリトノ言アルヲ以テ必ス其財産ヲ共有物トナサ、  
ルベカラズト主唱シテ反亂ヲ起セリ

問 リユテールノ黨ハ其後分派セサリシヤ

答 然リ其門徒ハ互ニ自己ノ意見ニ任セ漫ニ聖書ヲ解釋スルノ權ア  
リトナシ就中カルロス、スタズ、ウイングル、カルワイ、ンミンセル等ノ  
如キハ此意ヲ以テ恣ニ解釋ヲ付シ遂ニ其師リユテールヲ捨テ新派  
ヲ組織シテ各自創設ノ宗長トナルニ至レリ

問 リユテールノ創設セシ邪教ノ外ニ尙ホ新宗派ヲ設立セシヤ

答 然リ毎年其數増加シ數年ヲ出ズニテ三十四ノ新派ヲ生セリ現今  
尙其増加ハ昔日ニ異ナラズ彼ノモルモン邪宗其他ノ如キハ証據ノ



尤モ著明ナルモノナリ故ニ我等一度眞道ヲ踏失セバ直ニ迷路ニ陷  
イルモノニシテ苟モ我等自己ノ臆説ヲ妄信シテ眞理ノ道ヲ棄ツル  
ルハ日夜變想ヲ抱キ朝ニ信シテ夕ニ疑ヒ冥蒙タル迷海ニ浮沈シ暗  
礁ナル邪教離教ニ衝突シ遂ニハ救靈ヲ失フニ至ルナリ

問 畢竟足下ハリユテールカ此行爲ヲ如何ニ論決セラル、ヤ

答 自己ノ妄説ヲ主唱シ政府及教會ノ上位者ニ背キ人民ノ反亂ヲ煽  
動スル目的ヲ揣摩シ恣ニ解釋ヲ下シ聖書ノ眞理ヲ攪亂シテ以テ邪  
教離教ヲ蔓延セシメントスルモノハ天主ノ使者ニアラザルナリト  
論決ス

第五項

問 リユテールハ人々ヲ其新教ニ加入セシムルガメ其教會ニ教師ヲ  
設クルニ如何ナル手段ヲナセシヤ

答 昔テ公教會ニアラザリシ一奇策ヲ設ケタリ

問 其奇策ハ如何

答 其奇策タル凡ソ基督教ヲ奉ズルモノハ男女老少ヲ問ハズ皆自カ  
ラ眞誠ナル教師タルヲ得ルトノ一事ナリ

問 彼ハ此ノ如キ新説ヲ唱フルニ如何ナル教理ニ基ツキシヤ

答 彼ハ聖「ペトロ」ノ傳中ニ爾等ハ國王ナリ祭司ナリトアルノ言ニ基  
ツキタリ然レモ國王ナリ祭司ナリトアルヨリ論ズレバ基督教者ハ  
皆當ニ自カラ祭司タルヲ得ルノミナラズ直ニ國王タルヲ得ルト説  
クモ尙可ナリ然ルニ彼此ノ如ク説カザルハ何ソツヤ蓋國王祭司ト  
アルモ各自猥リニ國王タルヲ得ザレバナリ然ラバ亦祭司タルヲ得  
ルモノニアラズ故ニリユテールカ其教ノ所謂教師ナルモノハ小徑  
ヨリ牧場ニ闖入シタル狼ニシテ徒ラニ聖書ノ眞理ヲ誤解シ以テ之



レヲ設ケタルモノナリ

問 リユテイルハ其信徒中眞誠ナル教師ノ設テ廢棄セシ後ハ如何ナル行爲アリシヤ

答 彼ノ背クベカラザルノ彌撒聖祭ヲ廢棄セリ

問 彌撒聖祭ニ對シテ如何ナルコト言シヤ

答 枚擧ニ暇アラズ就中其著書中彌撒祭ヲ排毀セル憑言ヲ掲クルニ一夜深更欺罔ノ師タル魔鬼來リテ余カ睡ヲ喚醒シ余ト彌撒祭ヲ論ス其言ニ師ヤ爾チハ十五ケ年間日ニ彌撒聖祭ヲ司ドレリ今日ヨリ之ヲ見レハ十五ケ年ノ所爲ハ單ニ異端ノ所爲ト斷念セバ如何トイヘリト

問 リユテイルハ其魔鬼ノ意見ニ從ヒシヤ

答 然リ魔鬼ノ説ハ理ナリ自己ノ説ハ邪ナリトシテ直ニ魔鬼ノ意ニ

服從シ口ニ魔鬼ヲ指シテ欺罔ノ師トスルモ其行事ハ却テ其説ニ心服シテ教會ニ違背セリ

問 然レバ足下ハ之レヲ如何カ論斷スルヤ

答 人ヲシテ最モ驚カシムルモノハリユテイルガ反復汚穢ナル言行ニアルヤ或ハ魔王「サタナ」ノ門弟ナルリユテイルヲ師トシ其説ニ心服スル者等ノ矇昧奇異ニアルヤ余之レヲ判知スルニ由ナシト論決ス

第三章 自稱改教ハ天主ノ聖意ニアラザル論

第一項

リユテイルハ天主ノ使徒ニアラザルコト

問 リユテイルノ改教ハ眞實ニ天主ノ命ズル所ナリト信ズルコトヲ得ルヤ



答 其教ノ性質及ヒ創設ノ歴史ヲ見ザルモノハ或ハ然ラント雖モ苟モ之レヲ聞知スルモノハ信ゼザルナリ

問 足下何ヲ以テ其信ゼザルヲ知ルヤ

答 第一ニ改教者ト自稱スルリユテイルハ天主ノ使命者ニアラズ第二ハ其所爲タル天主ノ命ズル所ニアラズ第三ハ其慾望ヲ達セントセシ法方ハ天主ノ示教ニアラザレバナリ

問 リユテイルハ何故ニ天主ノ使徒ニアラザルヤ

答 假令天主カ其教會ヲ改革スルコトノ有益ナルヲ視認シ給ヒシトスルモ之レカ改革ヲ任スルニリユテイルノ如キ者ヲ撰ミ給ハザルヤ明カナレバナリ

問 リユテイルノ著書中何レノ點ヲ排撃スルヤ

答 其言傲慢ニシテ卑ムベク人ヲシテ公教ヲ嘲笑蔑視スルノ心ヲ惹

起セシメ又敬スベキ上位者ニ對シテ侮辱スルノ言ヲ以テ紙上ニ充塞スルニアリ

問 リユテイルハ其身ヲ如何ニ評スルヤ

答 自ラ曰ヘラク公教人ナリシキハ戒食シ祈禱シ不犯貧從順ヲ守リシモ一旦背叛シテ改教セシ以來ハ最モ愧ヅヘキ邪慾ニ陥リ幾度其身ニ反スルモ遂ニ之レニ敵抗スル能ハズ我已ニ此極ニ至リテハ縱令國王若クハ魔鬼若クハ全世界ノモノト雖モ爲メニ一步ヲ讓ラザルナリトイヘリ

問 他ノ改教者ハリユテイルヲ指シテ如何ニ評セシヤ

答 リユテイルハ魔王ニ煽動セラレ其良心ノ咎ヲ顧ミス光明ナル真理ヲ攻撃セル我慢増長ノ一狂夫ナリト評セリ彼英國王ハンリモ尙ホリユテイルヲ評シ汝邪婦ニ陥リ魔ノ煽動ニ從ヒシ後如何ツ天主



ノ前ニ坐シ世人ニ對スルノ面目アリヤトイヘリ

問 ヲユリツクノ改教者ハリユテールヲ指シテ如何ニ評セシヤ

答 該改教者ノ言ニリユテールハ魔ニ誘引サレ其言ハ総テ魔道ノ邪  
端ナリ其教書ハ魔ノ誘引ニ依リテ著シタルモノナリト又千六百年  
代ノ有名ナル著述家エクラズームガリユテールニ贈リタル書ニ善  
良ナル人々ハ足下カ際限ヲ知ラサル欺罔倨傲ノ性情ヲ以テ組織シ  
タル離教カ全世界ヲ攪亂スルヲ歎ゼザルモノナシトアリ

問 斯クノ如キ卑劣ナル言ハ暫ラク之ヲ聞キ乞フ其書中彼カ人ニ對  
シ之ヲ卑汚シ之ヲ罵詈訛之ヲ嘲笑シタルノ例ヲ掲ゲヨ

答 リユテールハ英國王ガリユテールニ抗スル書ヲ著セシトキ其報  
讎ノ爲メ英國王ハンリヲ名ヅケテ小兒スラ尙且之ヲ敬スル能ハズ  
反テ嘲笑スル矇昧至恐ナル一個ノ痴漢ナリトイヒマイヤンノ君主

ナル大司教アルベルヲ評シテ魔ニ誑惑サレタル一醜奴ナリトイヒ  
獨逸國ブルンスウイツク公ハンリハ膳羞ニ魔鬼ヲ食フヲ以テ其吐  
ク所一ニ魔鬼ナラザルナシトイヒサキスノゼオルグ公ハ藝偶ニ等  
シク其肥大ナル腹ハ耶穌基利斯督ヲ呑ムニ足ルトイヘリ其罵詈訛  
笑此ノ如シ

問 リユテールハ皇帝或ハ教皇ヲ指ストキハ尊敬ノ語ヲ以テセシヤ

答 否其罵詈ハ異ナルヲナシ公教ヲ奉スル皇帝シヤールカインチ愚  
トシテ回々教ヲ奉スル土耳其帝ヲ道德アル賢君ナリトス又教皇ハ  
一ノ猙獰ニシテ恐ルベキ虎狼ナレバ宜シク歐洲各國ヲ舉リ武ヲ以  
テ之ヲ斃スベシトイヘリ

問 足下ハリユテールカ斯ノ如ク傲慢卑劣ニシテ至愚ナル言語及ヒ  
其自評并ニ他ノ改教黨カ彼ヲ評シタルヲニ付テハ如何論評セラル



ハヤ  
 答 彼ハ天主ヨリ宗教改革ノ爲メニ撰拔サレタルモノニアラズ其言ハ則チ天主ノ靈ニ獎勵セラレズシテ寧ロ魔ヨリ激動サレタルノ証ナリト論評ス

問 其教徒言ハザリシヤ若シリユテールガ布ク所ノ教理ヲシテ眞誠ヲラシムレバリユテールニ關スル所ナク寧ロ直ニ天主ノ言ニ倚ラント

答 「プロテスタント」宗ヲシテ果シテ眞教ナラシメバ宗教改革ノ爲メ其機關トシテリユテールヲ撰擢セシヤ必セリト雖モ道理ヲ備フル人ハ豈ニリユテールガ天主ヨリ撰擢セラレタル人ナリト信認スルモノアラフヤ故ニ其「プロテスタント」教ハ眞誠ナルモノニアラザルヲナ観破スルニ足レリ

問 公教會中リユテールノ如ク其名ニ背キタル牧師アリヤ

答 其名ニ背ク者ハ甚タ稀少ナリ或ハ之レアリト雖モ善師百人中僅カ一人ナルベシ然ルニリユテールハ其頃名ニ背キタル初發ノ教師ナリシ耶穌基督或ル難問ニ答ヘ給ヒシ言ニ士子及フヤリゼオ人ハモイゼスノ位ニ座セリ依テ彼レ等カ言フ所ヲ守リ其爲ス所ニ倣フ「ナカレト」(マテヤ二十三章二節)アリ加之二三ノ公教牧師カ假令善良ナラザリシト雖モ天主ヨリ遣サレタル者ニ繼續シタル眞誠ナル天主ノ使者ナリ然ルニリユテールハ其使命ノ原因タル眞誠ノ權ヲ受ケタル者ニアラズ假リニ公教牧師中二三ノ答ムベキ者アリシトスルモ其布ク所ノ教ハ他ノ至聖ナル牧師ノ教ニル所ト異ナルヲナク其道德其信ニ於ケルモ新説ヲ教訓シタル「ナシ」故ニリユテールノ如キハ曾テ世ニ知レザリシ教ヲ布タル初發ノ人ナリ



第二項

リユテールノ企圖ハ天主ノ所爲ニアラザル論

問 プロテスタン宗派ノ創立者ハ天主ヨリ遣ハサレタル人ニアラザルヲハ余ノ氷解セシ所ナリ乞フ更ニ其企圖ノ天主ノ示教ニアラザルヲ証明セラレヨ且リユテールハ何チ企圖セシヤ

答 リユテールハ教會カ迷道ニ陥リタリト揚言シ教會ヲ離レ之レニ抗スルノ一黨ヲ組織セリ

問 此ノ如キ企圖ハ天主ノ示教ナリヤ

答 否天主ハ教會ヲ可否スルヲ命シ給ハズ只尊敬ヲ以テ教會ニ從ヒ教會ニ聽クベキヲ命シ教會ニ聽ザル者ハ則チ之ヲ視ルヲ異教人ト稅吏ト（フニツカシ）ノゴトクニシテ可ナリト言ヒ給ヘリ（マテヤ十八章十七節）

問 リユテールガ迷道ニ陥リタリト暴言セシハ單ニ羅馬府ノ教會ノ

ミチ指シタルカ將タ一般ノ公教會ヲ指シタルカ

答 一般公教會ヲ指シタルモノナリ

問 何チ以テ之ヲ証明スルヤ

答 リユテールカ新教創設以前ニ於テハリユテールカ教ヘシ如キ教ヲ信シタル奉教社會ハ一モアラザリシ故ニリユテールガ攻撃シタルハ實ニ教會ノミナラズ總テ奉教人ノ信チモ攻撃シタルモノナリ

問 足下ハリユテールカ新教創設ノ以前ニ於テリユテールカ創立傳播シタルガ如キ新教ヲ信シタル奉教社會ノナキヲ確証スルヤ

答 然リ余ハ其確証トシテリユテールノ言チ掲グルニ我が良心ハ幾度カ悲歎セシチ知ラズ我心中幾度カ世間余カ如キ才學兼備ノ者有ヤ無ヤヲ推敲シ又我新教ヲシテ眞ナラシムレハ教皇黨ノ教ハ偽ナ



ラン果シテ偽ナルトキハ數百年來幾多ノ基督教信徒ハ總テ迷道ニ在シナラン余ハ尙ホ未ダ其確信ヲ得ル能ハズトイヘリ

問 リユテールカ其新教ノ設立ヲ計畫ノ際最モ彼レカ心ヲ悲酸ナラシメタルハ何ノ事項ゾ

答 其最モ心ヲ悲酸ナラシメタルハ到底抑壓スルヲ能ハザル教會ノ威權ヲ陰ニ尊敬セシノ一事ナリ今其言ヲ掲クルニ我レ種々ノ事情ヲ纒カニ抑壓シタルノ後我ヲシテ最モ大ナル困難ヲ感ゼシメタルハ我教會ニ從ハザルヲ得ストノ感念ヲ我心中ヨリ除去スルノ一事ナリ故ニ我ノ教會ニ從ハザル意向ヲ繼續スルハ天主ノ命ニ據リタルト妄言スルモノニアラズ故ニ我ハ此意向ニ於テ天主ノ指導アリシトノ志操ヲ懷キテ公審判ヲ受ルヲ欲セズトイヘリ是ニ依テ之ヲ視レバリユテールハ固ヨリ良心ハアリタルモノナレニ畢竟我慢ニ

抑壓セラレタル者ナリ

問 足下ハリユテールノ離教ヲ如何カ判斷セラル、ヤ才徳アル者ハリユテールノ離教ヲ以テ天主ノ所爲ナリト視認スルヲ得ルヤ

答 否蓋天主ハ離教ヲ以テ卑汚ナル重罪トシテ呵禁セラレタレバナリ聖保祿ノ言ニ我主耶穌基督ノ名ニ緣リ兄弟ニ請フ其宜シク同シキヲ論シ常ニ分離スルナク一心一意翕然トシテ契合センヲ望ムト(保祿歌林多人ニ達スル前書第一章十節)

問 リユテールガ狂氣ノ如ク教皇ヲ恨マザリシ以前ニ在テハ離教ニ付キ如何ナル思想ヲ抱キ居リシヤ

答 彼自ラ公言ス基督教信徒ハ實際羅馬教會ヨリ離ルベカラズト又教會トノ分離ハ誰アリテカ之ヲ善事視スルモノアラント然ルニ其身ハ教會ニ結合スルノ條緒ヲ斷チ其無智盲昧教理ノ何ニタルヲ知ラ



ザル同黨ノ一小群ヲ以テ其能力ヲ振ヒ種々ノ工夫ヲ以テ教會ヨリ分離セリ

問 基督教創起以來リユテールノ如キ背反ヲナシタル者ハ如何ナル  
トニ遭遇セシヤ

答 何ノ時ヲ論セス眞誠ナル教會ヨリ分離シタル宗派ハ逐次迷道ニ陥リ遂ニ頽敗消滅スルニ至ルヲハ其例枚擧スベカラズ彼ノリユテール黨及ヒカルワイン黨ハ他ノ離教者ノ終極ト異ナルヲナク教會ヲ離レ唯一ノ信ヲ放擲シタルモノ、跡ヲ踏ムモノナリ畢竟昔時ノ離教背教黨カ末路ニ異ナラザル運命ヲ頼ムノ外他ニ望ム所アラザルベシ

第三項

リユテールカ新教傳播ノ爲メニ要セシ手段

問 何故足下ハリユテールガ其布教ニ要シタル手段ハ果シテ天主ノ默示ニアラズトイフカ其手段ハ如何

答 彼其黨派ヲ收攬センヲテ圖リ人心ノ情慾ヲ煽動スベキ手段ヲ用ヒ天堂ノ道ヲ蔽フニ耶穌基督ノ如ク荆棘ヲ以テセズ魔鬼ノ如ク美花ヲ以テシ耶穌基督カ曾テ人々ノ肩ニ擔ハシメタル十字架ヲ除去シ耶穌基督カ狭小且嶮巖トナシ給ヒシ道ヲ廣大且容易ナル道トナセリ然ルニ天堂ハ豈斯ノ如ク容易ニ昇ルヲ得ルノ道ナランヤ

問 敢テ請フ耶穌基督ノ宗教ニ對スルリユテールカ改良ノ一二ヲ示セヨ

答 リユテールハ既ニ不犯ノ誓願ヲナシタル者ニ其誓願ヲ破リ結婚スルヲ許シ國王等カ恣ニ教會ノ財産ヲ掠奪スルヲ許シ告解戒食及責身痛悔ノ所爲ヲ廢止セリ



問 彼ハ其不正邪曲ナル新教ヲ布設スルニ如何ナル法方ヲ以テ其狂瀾沸騰ノ如キ良心ヲ靜メシヤ

答 彼ハ一事ヲ創設シ之ヲ善視ノ教ト名ヅケ從來公教ニ於テ定メタル勞苦ノ規課ニ代フルニ一ノ創設ヲ以テセリ其創設ハ總テ吾人ノ責ヲ耶穌基督ニ負ハシムルノ一事ナリ之ヲ略言セバ耶穌基督ノ功カハ全ク吾人ニ代リテ吾人ノ責ヲ負擔消滅スルモノナレハ吾人ヲシテ其行爲ヲ恣ニシ假令如何ナル醜汚ナル情慾モ之ヲ慚愧スルコトナク放心セヨトイフニアリ

問 リユテールハ如何ナル手段ヲ以テ上等社會ノ人々ヲ新教ノ信徒タラシメシヤ

答 リユテールニ加擔セシ才能アル人々ハ皆我慢放蕩ニシテ其心頭ノ端正ナル本原ヲ喪失セル者等ナリリユテールハ是等ノ人々ヲ誘

導スルニ宗教上ニ於テ各自恣ニ裁斷ヲ下スノ榮譽ヲ付與シテ以テ其情慾及我慢ノ放心ヲ喜バシメタリ又聖書ヲ取リ誰人ニテモ識者旨者ヲ論ゼス聖教ノ條項ハ隨意ニ其說ヲ牽強附會スルモ妨ゲナシト斷言セリ

問 リユテールハヘース小邦ノ君主フイリツプノ保護ヲ得ンガタメニ如何ナル諂諛嬌媚ヲナセシヤ

答 彼ハフイリツプニ許スニ同時ニ二妻ヲ蓄フルコトヲ以テセリ其副妻ハ正妻キリスチイヤンドサキスノ官女タリシマルゲリツトドサールナル一嬢ナリシ斯ク天主ノ公法ニ背キ禽獸ト等シキ破廉恥ノ所爲ヲ許可シタルハ獨リユテールノミナラズプロテスタン黨中最モ有名ナル首領八人モ此ノ如ク瞬時モ默止スベカラザル醜汚邪淫ノ許諾書ニ手記シタリ



問 教會歴史中教會司權者ヨリ此破廉恥ノ所爲ヲ許容セシ事跡アリヤ

答 否アルコトナシ聖書ニ於テ之レヲ阿禁嚴制セルヲ見ズヤ聖書中夫ハ一婦モ一ト教ヘ一夫一婦兩體ヲ合シテ一トナス(創世記二章二十四節マテヤ十九章五節マルク十章八節)トアリ然ルニリユテール及其黨ハ聖書ニ背キ頽敗セル情慾蕩逸セル邪念ノ傾向渴望ヲ其指導者トナシ其新説ヲ信スル者ニハ之レカ報酬トシテ情慾邪念ヲ満足セシムベキ自由ヲ付與セリ

第四項

カルウインノコト

問 余ハ足下ノ明示ニ依テリユテールガ教會ヲ改革スル爲メ天主ヨリ使遣サレタル者ニアラザルコトヲ了解セリ然ルニ他ノ改教黨モ之

ト同一ナリト明言スルヲ得ルヤ否乞フ彼ノカルウインノ行爲ヲ聞

答 ルウソノ言ニ誰人カカルウインノ如ク其邪智ニ甘シ善良ナル諫メヲモ容レザル傲慢ノモノアラシヤ彼ニ敵對スル者アレバ魔王「サタナ」ノ所爲トナシ火刑ニ行フベキ大罪人ナリトナセリト又他ノ「プロテスタン」宗主唱者ガカルウインヲ評シタル言ニ曰ク我レ知ルカルウインハ惡逆無道ノ人ナリ此惡逆無道ノ人アリ然ル後我等カ目的ヲ達スルコトヲ得カルウインノ如キ者眞ニ要用適應ノ人ナリトイヘリ

問 カルウインハ自カラ如何ニ評セシヤ

答 カルウインノ言ニ誰人コトモ人民ヲシテ我等ニ向ツテ敵抗スルコトヲ懲慝スルモノアレバ直ニ其國ヨリ放逐スベシ放逐トハ單ニ此



等ノ奴輩ヲ界外ニ驅却スルニ非ス曾テ余カミカヘル、セルウエトヲ  
處シタル如ク暴殺スルノ一點ニアルノミト以テ其人トナリヲ知ル  
ベシ(此言ハカルワインカボエ侯爵夫人ニ贈リタル書翰中ニアリ)

因ニ曰クミカヘル、セルウエトハ西班牙國ノ醫ニシテ「プロテスタン  
教ニ歸依シタルヲ以テ其生國ヨリ放逐サレカルワインノ住地ナ  
ルゼチーウ府ニ至リシガ宗教上カルワイント説協ハズ遂ニカル  
ワインノ爲メ焚殺サレタルモノナリ

問 他ノ「プロテスタン」徒ハ如何ナル評ヲ下セシヤ

答 或人言アリカルワイン汝ヲシテアリユスノ如ク天主ノ聖子ニ敵  
セシメタルハ如何ナル魔鬼ヅ汝カ拜スルモノハ彼ノ北國ノ「アンテ  
キリスト」ニアラズヤ衆人決シテカルワインノ著書ヲ讀ム勿レ彼レ  
カ書ハ基督ニ對シ汚辱罵詈ヲモツテ充塞シタルモノニシテ恰カモ

セルウエトノ幽魂ガ火刑場ヨリ飛來シカルワインニ憑着セルモノ  
、如シト

逸獨國リユテール派ノ「プロテスタン」徒ハカルワインガ天主ヲ指シ  
テ罪科ノ造爲者トナス説ヲ以テ世人ノ爲メ實ニ危険ニシテ近ヅク  
可カラザル茶毒ノ説ナリ狂人ノ説ナリ汚辱ノ罵詈ナリト評セリ  
「アングリカン」派教會ノ司教等ハカルワイン及其徒ハ實ニゼチーウ  
府ニ於テ聖書ノ主旨ヲ顛敗セシムルモノナリト天主ヲ証引シテ之  
ヲ公言セリ

獨逸國ノ改教徒「カルロスタート」  
及「ツウイングル」

問 「メランクトン」ハカルロスタードヲ如何ニ評セシヤ

答 彼レカ評シタル言ニカルロスタードハ才能ナク智識ナク禽獸ニ



等シキ者ナリ天主ノ欽仰スルノ良心ヲ放擲シ開明ノ道ニ於テ指示  
スル所ノ義務ヲ知ラザルモノニシテ確然信向心ヲ放擲シ唯タ「モイ  
ゼ」ス」ノ法ヲ採テ唯一ノ法トナシニコラストルクガ「アナバチスト」  
譯者曰幼者少者ニ論ナク事物ノ是非ヲ辨明スルコトノ一派ヲ創設セシキ直  
ヲ得ルニ至リ始メテ洗禮ヲ授クル式ヲ行フワイフノ一之ニ加入シ曾テ契盟シタル不犯ノ誓願ヲ破リリユテールノ轍ヲ  
踏ミ至聖ヲ蔑視シテ婚姻ヲ結ヘリトイヘリ

問 リユテールノ徒ハカルロスタードヲ如何ニ評スルヤ

答 リユテールノ徒ノ言ニ彼ハ數多ノ証據人カ明言スル如ク又數多  
ノ著書家カ記載セシ如ク魔鬼ニ絞殺サレタルヲ疑ナシト其子ハカ  
ルロスタードノ死後聖教會ニ歸服セリ

問 ヅウイングルハ自ラ如何ニ評セシヤ

答 彼自ラ言フ邪嬖ノ熱火ニ薰蒸セラレ教會ノ咎メヲ受クルニ至レ

リト

問 リユテールハヅウイングル及其著書ヲ如何ニ評セシヤ

答 リユテールノ言ニ余ハ此人ノ書ヲ讀ム能ハズ何ントナレバ其著  
書タル明カニ教會ニ反對シ實ニ人々カ永苦ノ起因トナルモノナレ  
バナリ且ヅウイングルハ已ニ死シテ永苦ヲ受クトリユテールノ徒  
ハヅウイングルノ徒ヲ斥ゲテ曰ク我等ハ彼徒ト交通スル者ニアラ  
ズ彼徒ハ欺罔ノ靈ニ激衝セラレ天主ノ聖子ニ向ツテ罵詈ヲナセバ  
ナリト

英國改 者クランノール

問 我已ニ知ル獨逸國ノ改教徒ハ天主ノ使者ニアラザルヲ今英國  
及蘇國ノ改教者モ亦同一ノ者トイフヲ得ルカ彼ノクランノールハ  
如何



答 クランメールハ當時ノ國王八世ハンリーノ重臣ニシテ曾テ彼カ  
 如ク基督教ヲ蹂躪セシ大猛獸ハアラザルベシ人其名ヲ聞クモ尙毛  
 髮ヲ堅シム實ニ暴惡奸佞不信罵詈ニ充塞サレタル無道ノ奴ニシテ  
 自ヲ燃焚シタル火中ニ其身ヲ爛カセシモノナリ(コベツト第二ノ書  
 第六十四號)

問 大司教タリシクランメールガ背教起因ハ如何

答 偽誓ナリ彼レ教皇ニ從順スルヲ誓約スル爲メ例ニ從ヒ香蠟ノ  
 前ニ登ラントスルニ先ヲチ小寺院ニ至リ教皇ニ爲スベキ誓約ガ若  
 シ國王改教ノ妨害トナラバ假令一旦教皇ニ誓約スルモ其誓約ハ守  
 ラサルベシト契盟セリ(コベツト第二ノ書第六十五號)

問 クランメールハ八世ハンリー王離婚ニ付キ如何ナル所行ヲナセシ  
 ヤ

答 クランメールハ已ニ國王八世ハンリーガアンヌ、ボレイヌ女トノ密  
 通ヲ知ルモ其邪嬖ノ行爲ヲ制セズ反テ女后カタリナノ離婚ヲ公認  
 シ救靈ハ心事ヲ慰ム爲メ國王ヲシテ邪嬖ノ罪窩ニ安息セシメタリ  
 問 其後クランメールハ如何ナル所爲アリシヤ

答 再タヒアンヌボレイヌ離婚ニ當リ基督ノ名ニ依リ天主ノ榮福ノ  
 爲メ此結婚ハ功ナキモノトセリ

問 此ノ如ク頽敗シタル人ハ其始公教ノ司祭職ナラザリシヤ

答 然リ司祭職ナリ而シテ當時已ニ兩婦ヲ蓄ヘ一人ハ英國一人ハ獨  
 逸國ニ置ケリ(コベツト第三ノ書第百〇四號)

問 クランメールハ教會ヲ窘責シタルヤ

答 然リ彼ハ國王八世ハンリーガ殘殺掠奪ヲ援ケタリコベツトカ其第  
 三ノ書翰第九十八號ニ斯ニ言フニ忍ヒザル屠牛場ハクランメール



及トマースクロンウエル兩人ノ主唱ニ依リテ施行サレタルモノナ  
リ而シテトマースクロンウエルハ克蘭メールト共ニ教會ノ財産  
ヲ掠奪シ又共ニ後年恥ツベキ死ヲ遂ケタリトアリ

問 クランメールハ國王八世ハンリノ爲メ又更ニ離婚ヲ公認セザリ  
シヤ

答 然リ國王ハンリカアンナドクレウヲ娶リシ後之ヲ厭嫌シ更ニカ  
タリナホワイルドヲ娶ランヲ欲スルノ際克蘭メールハ又國王  
ガ救靈ハ心事ヲ慰ム爲メ其離婚ヲ公認シ國王女后ノ隨意ニ放任セ  
リ

問 其後克蘭メールノ身上ニ如何ナルヲアリシヤ

答 八世ハンリ死シ其嗣子エツアールノ朝ニ於テモ克蘭メールハ  
依然プロテスタマンノ保護ニ力ヲ盡セリ其後ジャンヌグレイヲ封ス

ルタメ公教信奉者ナル蘇國女王マリヤノ王位ヲ褫奪スルノ陰謀ニ  
黨シテ事發覺シマリヤノ命令ニ依リ法庭ニ於テ死刑ノ宣告ヲ受ケ  
シカ從來其迷道ヲ脱シテ改心センヲ企望スト稱シ六回ノ改心書  
ヲ作テ之レニ手記セリ然ルニ彼ハプロテスタマンノ一派ヲ創設シ其  
巨魁ナルニ今ヤ改心書中ニ「プロテスタマン」ハ偽教ナリ公教ハ唯一ノ  
眞教ナルヲ信ズト頌揚シ且我聖教ヲ罵詈シタル罪ノ赦宥ヲ受ク  
ルノ功ナキヲ以テ教皇及ヒマリヤ女王并ニ國民等ニ其不幸ナル靈  
魂ヲ憐ミ爲メニ祈禱センヲ請ヘリ克蘭メールハ改心書ヲ作り  
シモ其真心更ニ罪科ヲ恐レズ又其赦宥ヲ得ントスルノ望ミナク唯  
僅カニ其良心ヲ一時安息セシムルヲ求ムルノミ是ニ於テ克蘭  
メールハ其罪ヲ免ルヲ得ザリシ蓋其教會ニ對シ至聖ヲ蔑視シ其  
財産ヲ掠奪シ或ハ偽誓ヲナシ或ハ殘殺反謀ヲナス等惡逆無道ノ者



ト宿怨ヲ解クハ教會ノ榮譽ヲ毀損スルモノナリトシ之ヲ宥恕セサルナリクランメールハ已ニ死刑ノ免ル可ラザルヲ知り其頽敗ノ情念ヲ斷セシモ尙ホ未タ全ク消滅セズ漫ニ改心書中ニ於テ已レカ確信スル公教コソ眞教ナリト公言シ遂ニ公教人タルヲ得ズシテ死セリ

問 足下ハ此問題ヲ如何カ結了スルヤ

答 英國初回ノ「プロテスタント」創立者モ亦タ獨逸國及ヒゼ「子」ウ府ト同一ノ運命ナリ茲ニ公教信奉人カ深ク痛歎スベキハ往昔ニアリテ信心深キ評ヲ得タル英國ノ貴族學士等カ迷道ニ陥リタルノ一事ナリ蓋天主教カ其教會ヲ改革セント欲シ給ハ、クランメールノ如キ信向心ヲ失ヒタル惡逆無道ナル者ヲ撰擢セザルベシ

「プロテスタント」ノ一派「プロテスタント」司教ノ權理ヲ

認メサル派ノ創立者ナルクノース

問 「プロテスタント」派ノ創立者タルクノースチ足下ハ如何論評セラル、ヤ乞フ其概略ヲ聞カム

答 蘇國ニ於テ「プロテスタント」ヲ奉スル最終ノ歴史家ノ説ニ依レバクノースハ總テノ不徳ヲ充積シタル人ナリトクノースハ原來天主教ノ神父ナリシモ一旦背教説ヲ以テ其位階ヲ褫奪サレタルモノナリ又サンアンドレヤノ大司教ベアトソノ暴殺ニ與セシハ是レ其本心ヲ顯ハスノ緒端ナリシ年齢四十ニシテ改教ヲ主唱シ其暴戻ノ爲メ自國ニ安スル能ハズゼ「子」ウ府ニ遁逃潜伏セリ後蘇國ニ歸リ依然改教ノ主意ヲ唱ヘ公教ニ敵スル暴説ヲ主張セリ而シテ己レガ所爲ハ一モ顧ミル所ナク他人ヲ虐待シ彌撤聖祭ヲ拜聽スル者ヲ暴戻ニ處シ人民ヲ煽動シテ其君主公教ノ信奉者ナルマリースチユアール



ニ背叛スルヲ謀リ其開創ノ邪教ニ勝利ヲ得セシメノガ爲メ英國女王エリザベツトノ保護ヲ請求セリ又自カラ書チエリザベツト女王ノ宰相タルセシールニ贈リ惑ハ其根ヲ斷ツベシト懇懇セリ即チマリヤ女王ヲ弑スベシトノ意ナリ且其君主ヲ弑スルヲ共謀スル者ニ智能ヲ付與セラレノヲ天主ニ願ヘリ

問 クノースカ一身ノ最後ハ如何

答 「プロテスタント」ノ創立者ニシテ數多ノ殘虐ニ與ミシ又公教人ヲ窘責シ至聖ヲ蔑視シ君主ノ弑虐ヲ陰謀シ教會ノ財産ヲ掠奪シ人民ヲ暴殺シタルクノースハ天主ノ嚴罰ニ陥リ死刑ニ處セラルハニ臨ミ尙ホ本心ヲ粧飾スル平常ノ僞想ヲ變ゼズ口ニ欺罔ヲ唱ヘテ余ハ天主ニ代リ衆人ヲ處置シタルハ特ニ其罪ヲ惡ミ其人ヲ怨ミシルニアラズ此心ハ天主ノ知り給フ處ナリ余ハ唯其人々カ基督ニ心

服スル爲メ盡力セシノミナリト揚言セリトクノースノ心頭ヲシテ果シテ其言ニ違ハサラシメハ豈ニ此ノ如ク殘虐ヲ行フニ忍ンヤ

佛國ノ改教徒

問 佛國ニ於ケル「プロテスタント」宗ノ結果ハ如何

答 「プロテスタント」ハ佛國ニ於テ學者ノ傲慢貴族ノ貪慾及ヒ人々ノ恣慾ヲ喜ハシメタリ故ニ此新設ノ一朝佛國ニ傳來スルヤ恰モ新設ヲ欣仰スル學士等カ從來厭フ所ノ公教ノ真理ヲ保持スル能ハス又貴族等ハ漸ク封建ノ權力衰微ノ運ニ際會シ漫ニ其恢復ヲ得ベシト忘信シ又教會ノ教師等ニシテ唯財産ノ保有ヲ主眼トスル者ハ徒ラニ教會ノ嚴令ヲ規避セラルヘシト豫想シ先テ爭テ「プロテスタント」徒トナリ其新説ヲ播布セシトニ盡力セリ

問 「プロテスタント」徒ハ他ニ又保護ヲ仰カザリシヤ



答 「プロテスタント」徒ハ二人ノ保護者ヲ得タリ此保護者ハ兩婦人ニシテ「プロテスタント」徒偏頗ノ歴史ハ此兩婦人ヲ頌賛スルモ公平ナル歴史ハ之ヲ耻辱トス此兩婦人一世「フランセスコ王ノ妹ナワール」ノマルゲリット及ヒ王妃エスタンプ大公爵夫人トス蓋兩婦人無道ニシテ其黨ヲ誘惑沈溺セシムルニ勢位ノ赫奕タルト容貌ノ婀娜タルトヲ以テシ加之彌撒聖祭ヲ改革シ其聖體ノ手捧敬拜ヲ廢シ聖體聖血ノ受領ヲ許シ聖母聖人ヲ頌揚スルヲ禁セリ

問 國民中當初此新教ニ服センモノアラザリシヤ

答 コレアリ然レモ新教ノ最モ蔓延セル南方ニ於テ尙人民ハ擧テ之レニ心服セス其僅カニ服スル所ノ者ハ上位者若クハ改教ニ托言シテ内亂ヲ起サントスル貧窶無頼ノ徒ニ指揮セラル、無智ノ頑民等ナリ而シテ南方北方ノ細民等ハ堅ク眞教ヲ守テ其心ヲ動かサザリ

シ

問 新教徒ハ其教ヲ蔓延セシムルニ法律ニ觸レザル手段ノミヲ用ヒシヤ

答 當初ヨリ教師及修道士ヲ罵詈シ寺院ノ財産ヲ掠奪シ之ヲ寛假セハ益其惡意ヲ逞フシ力ヲ以テ路人ヲ強迫シ寺院ヲ毀テ公教信徒ヲ逐ヒ其所禱ヲ妨害セリ或ル歴史家ハ恰モ「ワンドンダール」人カ再度ノ侵入トモイフベキ強暴ナリシトイヘリ

問 佛國ニ於テ公教人モ亦同シク「プロテスタント」徒ニ暴戻ヲ加ヘシニアラズヤ

答 コレアリ我等ハ公教信奉者ノ爲メニ之レテ蔭蔽スルヲ欲セズ然レモ已ニ陳述セシ「プロテスタント」徒ガ所爲ニ依テ公教人ノ怒リヲ惹起セシモノ、如シ故ニ彼ノ宗教戰爭ト名ツケタル戦端ノ双方ニ



破裂セシモ驚クベキニアラズ畢竟プロテスタン徒カ其新説ヲ布クニ當リ宗徒及其信徒ノ如ク温厚篤實ナル手段ニ出テシムレハ公教信奉者モ斯ク抗敵ハナサ、リシナラン

問 天主ハ其教會ヲ改革スル爲メ新教創立者等ノ如キ景辰人ヲ撰擢セラレシヤ又其撰擢ヲ眞實ト見做スヲ得ルヤ

答 天主カ衆庶ニ其愛憐ヲ垂レ給フ時之レカ使者ニ充テラレシ彼ノモイセスア、ロン及先知者宗徒等ハ其初メハ一凡人ナリシモ一タヒ天主ノ使命ヲ帶テヨリ温和至聖ニシテ愛憐深ク至大ナル慈仁ト合シタル熱心充滿シタルヲ想思セバクノース及ヒ其他改教主唱者ノ如キヲ天主ハ其教會改良ノ機關ト爲シ給ハサルヲ明カナリ此等ノ説ヲ信スル者ハ所謂道理ヲ失フタル者トイフベシ

問 「プロテスタン」宗ノ創立者及其所爲若クハ其布教ニ用ユル手段ハ

天主ノ示教ヲ受ケタルコアラサレバ其信徒ハ何ヲナスベキヤ

答 其爲スベキヲハリユテール其他ノ改教徒ニ誘導セラレタル新教ヲ放棄シ眞誠ナル公教ニ歸服スルニアリ若シ眞心ヲ以テ眞理ヲ求ムレバ天主ハ必ス助力シ給フベシ之レヲ求ムルヲナサス徒ニ改教ニ醉迷セハ遂ニ永苦ヲ受クルヤ必然ナリ

問 異教ニ沈溺シテ公教ニ復歸セサル者ハ之ヲ何ト謂ハソカ

答 異教ニ沈溺スルモノハ背教若クハ離教ノ徒ト謂ハソノミ

問 然レバ公教ノ眞誠ナルヲ衷心ニ確信スルモ公然之レヲ固守スルヲ恐懼スル數多ノ公教信奉者ハ如何

答 我主ノ言ニ我及ヒ我道ニ恥ル者ハ人ノ子其榮ヲ以テ臨ムキ亦其人ニ恥スト曰ヘリ(路加傳九章二十六節)

問 親族ノ厭忌若クハ世人ノ誹笑ヲ恐レ公教ヲ奉スルヲ恥ツル者



ハ如何

答 我救世主ノ言ニ父母ヲ愛スル天主ニ過クル者ハ我レニ宜カラズ  
トイヘリ(馬太傳十章三十七節)

問 此世ニ在テ名利ヲ求ムル爲メ「プロテスタン」宗ヲ固守シ若クハ「プロ  
テスタン」徒トナル者ハ如何

答 我救世主ノ言ニ天下ヲ利シ盡スモ而モ靈魂ヲ失ナハ、何ノ益カ  
コレ有ラントアリ(馬可傳八章三十六節)

第四章 信ノコ

第一項

基礎タル信及基礎カラサル信

問 何ヲ信トイフカ

答 信トハ天主ガ我等ノ靈魂ニ配賦シ堅ク天主ヲ信シ其默示ヲ垂レ

給ヒシ事項ニシテ假令我等ノ智能ク解識スル能ハサルノ事項ヲモ  
悉ク信セシムル光耀聖寵ナリ

問 何ヲ以テ解識シ難キ事項ヲ信スルヤ

答 天主ノ唯一三位ノ「救世主」ノ降臨及開闢等ノ如キ默示ヲ垂レ給  
ヒシ誠ハ我等カ智ノ悉ク解識スルヲ得ルトコロニアラザレバ其誠  
タル眞信確實ナルモ之ヲ明言スル能ハズ蓋無量ノ善徳無限ノ智能  
ヲ具備シ我ヲ欺カス人ニ欺カレサル天主カ默示ヲ垂レ給ヒシ事項  
ナレハナリ是ヲ以テ耶穌基督ノ聖ト「マールス」ニ曰ヒシ言ニ見スシテ  
信スル者ハ福ナリトアルニアラズヤ

問 人ハ默示サレタル誠ヲ自カラ知ル能ハサルヤ

答 聖書ニ曰ク我等地上ノ「<sup>サビイエ</sup>」ヲ僅カニ知ルヲ得ルノミ尙何ソ天上ノ

「<sup>サビイエ</sup>」ヲ究ムルヲ得ンヤト  
九章十六節



問 我等ハ天主カ默示シ給ヒシ事項ハ悉ク信ゼサルヲ得サルヤ  
 答 固ヨリ確信セサルベカラズ若シ之レヲ信ゼズ其格言ヲ疑ハ、罪  
 天主ヲ侮辱スルニアリ信セサル者ハ天主ヲ以テ欺罔者トナス(宗徒  
 約翰第一書五章十節)トアリ

問 我等ハ耶穌基督及其教旨ヲ信セサルベカラザルヤ

答 然天主ハ我等ガ其子耶穌基督ノ名ニ依テ信スベキヲ命シ給ヘ  
 リ(約翰第一書三章二十三節)天主ノ子ヲ信セサル者ハ生キスト(約翰  
 三章三十六節)耶穌基督ノ教ニ關シ聖馬太及聖馬可傳ノ卒章ニ曰ク  
 信シテ而シテ洗ヲ受クル者ハ救靈ヲ得信セサル者ハ罪定ルト(馬可  
 十六章十六節)聖保祿ノ書ニ苟モ信ヲ有セザレハ天主ノ悦フ所トナ  
 ル能ハズト(エブレヤ人ニ達スルノ書十一章六節)而シテ聖保祿ハ信  
 ナキ者ノ運命ハ人ヲ殺シタル者ノ運命ニ等シトイヘリ

問 天主ノ示教シ給ヒシ信ノ目的ハ如何

答 聖書若ハ遺傳ニ係ル默示ノ誠ナリ余次章ニ於テ之ヲ詳説スベシ

問 改教徒ハ其派數箇ニシテ單一ナラズ同一ナル默示ノ誠ヲ信スル  
 モノハ終ニ一二人ニ過キザルヲ知リテ之ヲ蔽ハン爲メ如何ナル遺  
 辭ヲ用ヒシヤ

答 彼等ハ總テ默示ノ誠ヲ悉ク信スルハ必用ニアラズト公言シ各派  
 ニ於テ一般信スル所ノ事項ハ之ヲ信スルモ其意見ヲ異ニスル事項  
 ハ之レヲ信セズ又救靈ノ爲メ之ヲ信スルハ必用ナラズトイヘリ彼  
 徒ハ一般ニ信スル誠ヲ基礎ノ誠トイヒ意見ヲ異ニスル誠ヲ基礎ナ  
 ラサル誠トイヘリ

問 然レバ此唯一ニ擬シテ巧ニ人ヲ瞞スル手段ヲ足下ハ如何論セラ  
 ル、ヤ



答 總テノ默示ハ天主ノ聖言ナレバ若シ一毫ダモ放棄セバ是天主テ  
 誣テ欺罔者トナスナリ蓋シ天主カ默示ヲ垂レ給ヒシハ之レヲ信セ  
 シムルカ爲メナレバナリ故ニ我救世主ハ其宗徒ニ唯基礎タル二三  
 ノ誠ヲ教エヨトハイヒ給ハズ總テ萬般ノ事項ハ悉ク之レヲ教エヨ  
 トイヒ給ヘリ

問 眞誠ナル信ハ人ノ救靈ノ爲メ欠クベカラサルモノナルガユヘニ  
 余ハ彼ノ基礎タルノ信ト基礎タラサルノ信アリトイフ者ノ言ニ就  
 キ以爲ク其基礎タルノ信ハ如何ナルモノニシテ其基礎タラサル信  
 ハ又如何ナルモノナルカヲ明言セサルベカラズト如何

答 固ヨリ明言セサルヘカラス然レモ彼徒ハ其點ニ至テ口ヲ噤シテ  
 之ヲ論セス彼ノモセイムブユデシンメルマン等ハ其基礎タル信ハ  
 容易ニ之ヲ唱フルヲ得ルモ何ノ條項ヲ以テ基礎タル信トナスニ

至テハ我カ不學無識ヲ掩フ能ハズト明言セリ故ニ此信ヲ判明區別  
 スルハ愚ノ極ト云フベシ何ントナレバ之レヲ實施スルノ甚々難ク  
 レバナリ

問 果シテ基礎タラサル信アリトセバ「プロテスタン」徒ハ尙ホ他ニ困  
 難アラザルヤ

答 之レアリ聖保祿ハ信ナケレバ天主ノ悦ヒヲ受ケズトイヒタレバ  
 ナリ彼ノ「プロテスタン」徒ハ何ノ條項カ便チ基礎タルノ信ナルヤヲ  
 知ラサレバ其眞誠ナル信ヲ有スルモノニアラサルハ明ケシ故ニ知  
 ル「プロテスタン」徒カ其基礎タルノ條項ヲ悉ク信スルノ確心ナキヲ  
 果シテ此確信ナキモノナレバ則チ自ラ其眞誠ナル信ヲ有スルヤ否  
 ヤヲ判知スル能ハサルヤ亦明カナリ

問 然ラハ基礎タル條項アリト教ユルハ亦愚痴ナラズヤ



答 固ヨリ然リ眞誠ナル信ハ單一ナリ而シテ彼等ハ其基礎タルノ條  
 項ヲ信スルノ確心ナクシテ漫然基礎タル信ト基礎タラサル信アリ  
 ト教ユルモ明瞭ニ之ヲ區別スル能ハサルヲ以テ甲ハ基礎タルノ信  
 ナ固執シ乙ハ基礎タラサルノ信ヲ固執スト明言スルヲ得サルナ  
 リ故ニ其主義ヲ論究セバ或ハ聖書ヲ廢棄スル所ノ「デイスム」派(天主  
 アルヲ信スルモ默示等ヲ廢棄スル宗派)ヲ尊奉スルカ或ハ耶穌基利  
 斯督スラ天主ニアラズト唱フル彼ノ「ユニタリヤニスム」派(天主聖父  
 ナ信シテ聖子聖神ヲ信セザル宗派)ヲ尊奉セサルヲ得サルニ至ルヘ  
 シ

問 「プロテスタント」徒カ公教ニ反對ヲ唱フル説ハ尙他ニアリヤ

答 「プロテスタント」徒ハ曰ク公教人ハ常ニ基礎タルノ條項ヲ悉ク確信  
 スト果シテ其言ノ如クナラシメハ彼等ハ何カ故ニ公教會ヨリ分離

シテ戰ヲ起シ歐洲全土ニ血ヲ流カサシメタルヤ况ンヤ彼ノ徒ノ説  
 ニ救靈ニ必用ナルハ基礎タルノ條項ヲ確信スルヲ以テ足レリトナ  
 ストイフニ於テオヤ

問 彼等ヲシテ道理ハ則チ吾人カ心頭ニ基礎タルノ條項ヲ了解セシ  
 ムト云ハシムルモ妨ケナキヤ

答 否此言ヲナサシムヘカラズ夫レ自ラ見ル所ノ道理ハ吾人各異ナ  
 ルモノナレバ其基礎タルノ信トスル所ノ信ヲ區別スルモ亦各異ナ  
 ルアリテ遂ニ信ニ一定ナカラシム加之其道理ナルモノハ尤モ心頭  
 ナ變化セシムル指導者ナルヲ以テ救靈ニ必用ナル基礎タル條項ニ  
 關シ吾人ヲシテ遂ニ迷途ニ陷ラシムルニ至ルベシ

問 基礎タル條項ヲ發見スル指導トシテ心理ヲ用ユル亦愚ノ至リナ  
 ラズヤ



答 心理ヲ用ユルハ道理ヲ用ユルヨリ尙愚ニシテ單一ナル信ニ代フ  
 ルニ許多ノ反對說ヲ生セシム則チデイスム徒ハ一天主アルヲ信ス  
 レル默示アルヲ信セズアルメニヤン徒荷蘭國ニ蔓延ノ「プロテスタ  
 ン」徒ハ聖寵ノ必用ナルヲ認メスリユテールハ聖躰ノ眞誠ニ座スチ  
 信スルモカルワインハ之レヲ信ゼザルカ如シ

問 聖神ハ乃チ我等ニ基礎タル條項ヲ明示スト云フ者アルニアラズ  
 ヤ

答 此ハ則チ痴漢驟者ノ說ナリ果シテ其說ヲシテ眞正ナラシメバリ  
 ユテールニ一信ヲ教ヘ又カルワインニ之ト異ナルニ信ヲ教ヘタル  
 ハ天主ノ聖神ナリトイハサルヲ得サルベシ

問 此諸說ヲ足下ハ如何ニ論定セラル、ヤ

答 余ハ斷シテ言フ彼等カ基礎タル信ト基礎タラサル信トチ區別ス

ルハ尤モ至愚ノ遁辭ナリ須ラク天主ノ默示ニ係ハル眞理ヲ區別セ  
 ズシテ悉ク信用セヨト教ユル公教ハ乃チ正理ニ基ク所ノ單一ナル  
 信ヲ保有スルモノナリト

第二項

「プロテスタン」徒ハ天主ノ信ヲ有セサル論

問 「プロテスタン」徒ハ天主ノ信ヲ有スルヤ

答 否有ヘス天主ノ信ニ疑團ナシ「プロテスタン」ノ信ハ常ニ疑團アリ

問 天主ノ信トハ如何ナル性質ヲ有スルヤ

答 其信タルハ確乎トシテ變動セザルモノナリ此性質ニ伴フニ小心  
 ナ要ス

問 何故ニ確乎トシテ變動セザルモノナルヤ

答 動搖變化スルハ天主ノ信ニアラズシテ即チ凡人ノ夢想說ナレバ



ナリ故ニ天主ノ信ハ疑問ト并行スルモノニアラズ我等ハ此信ニ於テ寧ロ疑フヨリ直ニ身ヲ殺スベシ蓋信ノ造者タル天主ハ我等ヲ欺罔スル能ハザレバナリ

問 何故ニ確乎タル信ニ伴フニ小心ヲ要ストイフヤ

答 假令我等心頭ヲシテ如何ニ堅確ニシテ轉卷スヘカラサルモノトスルモ眞誠ナル木原基ツカザレバ以テ徳ト稱スベカラス寧ロ執拗固陋ノ罪スベキ自説トナラシ恰モ回々教徒異教徒ノ信ノ如シ

問 然ラハ足下カ明言スル所ノ天主ノ信ハ何レニアリヤ

答 公教人等ハ此信ヲ有ス蓋シ公教人ノミ能ク此信ノ規程ヲ遵奉スレバナリ

問 何ヲ信ノ規程トイフヤ

答 天主カ默示且命シ給ヒシ所ノ條項ヲ悉ク信シテ實行セシムルモ

ノヲ信ノ規程トイフ

問 公教人ノ信ノ規程ハ如何

答 眞誠ナル道理ヲ含ミ變動セサル天主ノ諸言ヲイフ

問 聖書ノ言ハ十全ナル信ノ規程ナリヤ

答 否然ラズ聖書ノ言ハ吾人種々ノ解釋ヲ付會スルヲ得且眞誠ナラサル解釋ヲ以テ誤解スルヲ得ルカ故ニ我等ノ爲メ動カサル所ノ信ノ規程トナルハ直ニ眞誠ナル解釋ヲ聽聞スルニアルナリ

問 公教人ハ此點ニ於テ確乎タル信ヲ有スルヤ

答 公教人ハ動カサル教會ヨリ聖書ノ解釋ヲ受クルヲ以テ其信ハ確乎タルモノナリ

問 「プロテスタント」徒モ亦公教人ト同ク動カサルノ確信アリヤ

答 否「プロテスタント」徒ハ各自其見ル所ヲ付會シ自カラ好ム所ノ説ヲ



主張スルヲ以テ彼徒ハ眞誠ナル眞理ヲ解釋シ得ルト自カラ保証スルヲ能ハズ又其解釋方ニ於テ決シテ誤謬ヲ免レズト斷言スル能ハズ此點ニ至テハ後章信ノ規程ヲ論スルニ尙詳細述スベシ

第三項

聖書ノ至聖ナルヲ論ス

問 何故公教人ニアラサルモノハ變易且不定ナル信ヲ有スルヤ

答 彼等ハ聖書ヲ以テ其信ノ基礎トナスモ聖書ノ解釋ニ於テ正確ノ心ヲ得サルガユヘニ其解釋ニ基ツクトコロノ徒ハ變易且ツ不定ノモノトスルナリ

問 何故ニ「プロテスタン」徒ハ如何ナル聖書カ確然至聖ニシテ天主ノ聖言ナリト知ル能ハサルヤ

答 彼徒ハ單ニ聖書ニ記載スル事項ノミヲ信スルヲ以テ其職トスル

モ聖書ハ如何ナル書カ至聖即チ天主ノ聖言ヲ含メルヤナ明記セズ又明記スル能ハズ「プロテスタン」徒中最モ有識ナル者モ亦此ノ説ヲ唱フ抑モ確然タル信ノ規程トナスニハ如何ナル聖書カ正確ニシテ變セサル聖言ノ寫シナルヤナ明示セサルベカラズ聖書中最終ノ書ハ凡二千年前ニ書シタルモノニシテ「コリント」復法ノ最終ノ一章ハモイゼスノ死後追加シ尙後年變更セシ所アリ聖書中此變更ハ欺罔者ニアラズシテ天主ノ默示且命令ヲ受ケタル者カ變更セシナリト明言スル條項アルヤ否我等此點ニ於テ確乎タル心ヲ有セサレバ我等ハ聖書ヲ以テ正確ナル信ノ規程トスル能ハサルナリ

問 彼ノ徒ハ其美麗且高尚其温和且至味ナル書法ニ依テ眞正ナル天主ノ聖書ナルヲ知ル能ハサルヤ

答 果シテ「プロテスタン」徒カ此ノ如ク知ルヲ得ルモノトセバ各派



宜ク同一ニ其書ヲ至聖ナリト見做スベキニ各其説ヲ異ニシ一致セサルヲ見レバ之ヲ知ル能ハサルヤ明カナリ初代ノ「プロテスタン」徒ハ聖保祿カヘブレヤ人ニ達スル書及聖約翰黙示祿ヲ廢棄セシニ近年ノ「プロテスタン」徒ハ此書ヲ以テ天主ノ書ナリトスカルワインハ聖シヤコボノ書ヲ寶玉ノ書翰トナセシモリユテールハ之ヲ草藪ノ書翰トナセリ其異ルコト此ノ如シ以テ其知ル能ハサルコト徴スベシ

問 彼等ハ其至聖ナル書ハ其書名ニ因リテ知ルコト得ルトイフヲ得サルヤ

答 イフ能ハサルナリ假令宗徒ノ名アリト雖モ衆擧テ之ヲ廢棄スル福音書アレバナリ

問 然レバ彼等ハ遺傳ノ力ニ依テ眞誠ナル聖書ヲ受クルトイフヲ得サルヤ

答 然リ然レバ彼等ハ遺傳ヲ悉ク廢棄シテ之ヲ不定ナル眞理ノ源トナスガユヘニ遺傳ニ頼ル所ノ教旨ハ彼等ノ爲メニハ悉ク不定ナル教旨ナリトイハサルヲ得ズ彼徒ハ天主ノ信ハ遺傳ニ頼ルベカラズトイフモ遺傳ニ依ラサレバ聖書中如何ナル書ガ天主ノ書ナルヤ知ルコト能ハズ故ニ彼等ハ遺傳ヲ廢棄スルヲ以テ何レカ眞誠ナル聖書何レカ眞誠ナラサル聖書ト明言スルコトヲ得サルナリ

問 足下ハ之ヲ如何ニ論定スルヤ

答 「プロテスタン」徒ハ完全無疵精金美玉ノ如キ聖書ニ於テスラ尙且其蘊奧妙味ヲ誤解シタルモノナレバ其他ノ事項ニ於テ認見ナキヲ保シ難シ况ヤ其信ハ確乎タル正理ニ基ツカズ單ニ凡人カ自己ノ管見ニ因ルト同一ニシテ純然タル謹慎アルニアラサルニ於テチヤ乃チ知ル天主ノ信ニアラザルチ



聖書ノ反譯ヲ論ス

問 足下ハ何ヲ以テ公教人ニアラサル者ノ反譯シタル聖書ハ確實穩當ナラズシテ信ヲ置クニ足ラズトイフヤ

答 彼徒ハ啻ニ原語ヲ解釋スルヲ得ル者僅少ナルノミナラズ其反譯ニ於テ原書ニ適切確實スルヤ否ヤヲ判知スルノ能力ヲ有セザレバナリ

問 彼等ハ其徒中ノ反譯者カ希臘及ヘブレヤノ兩語ヲ充分會得スルヲ以テ其反譯ハ決シテ原書ノ旨義ニ違フコトナシト答フルヲ得ルヤ

答 否能ハサルナリ其反譯者タルヤ啻ニ誤リタル譯ヲナセシノミナラス尙反對ノ譯ヲ下シタレバナリ元來死シタル國語ヲ反譯スルハ尤モ至難ノコトニシテ况ヤ聖書ノ語ハ已ニ二千年前ノ語ナルニ於テ

テヤ二千年以後ノ人ヲ以テ二千年以前ノ書ヲ反譯ス其誤リ多キハ固ヨリナリ故ニヅウイングルハリユテールノ反譯ヲ評シテ實ニ天主ノ言ヲ牽強付會シテ腐敗セシメタリトイヒシニリユテールモ亦ヅウイングルノ譯書ニ對シテ同シ答禮ヲナセリベイズハエコランバードノ反譯ヲ駁セシニ輪轉シテ亦カスタリオノ駁スル所トナリ「プロテスタン」徒ノ司教トンスタールハ當初ノ英文反譯中二千ノ誤謬アリトイヒ「ブルウグトン」ハ英國ノ聖書ハ實ニ腐敗シタルモノニシテ數万ノ人々ガ永苦ノ猛火ニ陷ル原因ナリトイヘリ某反譯者ハ自カラ其譯書ヲ評シテ曰ク吾天主ノ言ヲ一々眞誠ニ反譯シタルヤ否ヤヲ保スル能ハス徒ニ其善ナリト見認ムル事項ノミヲ譯セリト夫レ「プロテスタン」カ信ノ規程トスル所ハ此ノ如ク「プロテスタン」徒ガ其救靈ノ頼ミトナス基礎ハ此ノ如シ其誤謬アルニ怪マンヤ



問 リユテールハ其反譯ニ係ル聖書ニ就キ自カラ如何ナルヲ陳述セシヤ

答 聖保祿ノ言ニ一語ヲ加ヘタリトイヘリ則チ我等思フ人ハ信ニ仍テ義者トナルヲ(保祿羅馬人ニ達スル書第三章二十七節)トアル語ニ一字ヲ加ヘ我等思フ人ハ單ニ信ニ依テ義者トナルヲト更メリ

問 然レバリユテールハ此點ニ於テ人ノ諫メニ如何ナル抵抗ヲナセシヤ

答 彼ノ言ニ我ハ知ル單ノ一字ハ聖保祿ノ書中ニアラザルヲ然レニ若シ此點ニ於テ教皇黨(公教人ヲ指ス)ノ攻撃ヲ受クルアラバ此ハマルタイン、リユテールノ望ニ依テ加ヘタルナリト答ヘンノミ教皇黨ト驢馬トハ同一單一ナルモノトイフベシ我ハ他ノ字ヲ換川セサリシチ悔ユルナリ然レニ此單ノ字ハ教皇黨カ舉テ切齒扼腕慷慨悲

憤ニ堪ヘサルニ至ラサレハ余ハ新約書中ヨリ除去セサルベシト問 足下ハ之ヲ如何ニ論定スルヤ

答 道理ヲ辨明スル人ハ「プロテスタン」ノ聖書ニ依頼セス何ントナレバ其反譯ハ果シテ正當ノモノト確信スルヲ得ス且「プロテスタン」徒ノ佛蘭西文ノ反譯ハ亦英文獨逸文ヨリ正確ノモノトイフ能ハザレバナリ

問 足下ハ尙他ニ如何ナル論定ヲ下スヤ

答 「プロテスタン」徒ノ所謂信ハ正實ナラザル反譯聖書ニ基ツキタルモノナレバ謹慎モナク又確乎タルモノニモアラズ故ニ天主ノ信ニアラサルナリトス

問 然レバ公教ヲ奉スル者ハ聖書ノ數ト反譯ノ適實ナルトニ就キ之ヲ保証スルヲ得ルヤ



答 然リ公教人ハ此兩點ニ於テ實ニ保証スルヲ得教會ハ至聖ナル書ヲ明示シ又其書ノ正實ナル反譯ヲ明示ス夫レ公教ノ基礎タル條項ハ即チ教會ガ變動セサルノ一事ナリ耶穌基督ハ地獄ノ門ハ教會ニ勝ツ能ハズ我レ常モ教會ト共ニアリ我レノ聖神ハ常モ總テノ真理ヲ教會ニ教ユベシト曰ヘリ依テ知ル公教人ハ其信ヲ確乎タル天主ノ聖言ニ置クヲ故ニ其信ヤ實ニ天主ノ信ナリ

第五項

聖書ノ真理ヲ論ス

問 足下ハ何故「プロテスタン」徒ハ決シテ聖書ノ真理ニ付テ確心ナシトイヒシヤ

答 聖書中異見アル點ニ於テ、啻ニ兩様ニ解釋スルヲ得ルノミナラズ尙反對說ヲ付會スルヲ得然ルニ聖書ハ其真理ニ於テ何レカ眞

誠ナルヤヲ明言スル能ハズ聖書ハ自ラ言フモノニアラサレハ之カ解釋ヲ下ス能ハス加之聖ペトロノ言ニ(後書第三章十六節)聖書中了解シ難キ點アリテ不學且不堅ナル人ハ其真理ニ反シ自カラ敗亡ヲ取ルトアリ聖書ハ自カラ其天主ノ聖言ナルヲ証スル能ハズ「プロテスタ」徒亦此言ヲ信用スシリングウオルツ及ホーケル(「プロテスタ」一派ノ創設者)其他ノ者モ此言ヲ保証セリ然ルニ其徒ノ一人アリ曰ク我等カ天主ノ言ト見做ス真理ヲ有スルトイフヲ我等ニ保証スル所ノ者ハ天主ニアラズト故ニ聖書ハ自カラ言フテ聖書ハ天主ノ眞誠ナル言ナルヤ將タ何ヲ以テ天主ノ眞理トスルヤノ二要點ヲ我等ニ教ユル能ハザレバナリ

問 「プロテスタン」徒ハ各人聖書ノ真理ヲ悉ク了解スルヲ得ル默示ヲ天主ヨリ付與セラルト自稱スルニアラズヤ



答 然リ彼ノ徒ハ多ク聞クニ堪ヘ難キ罵詈ノ説ヲ發セリ此罵詈ニ充満シタル説ニ基クキハリユテールニ基督ハ聖骸ノ現ニ在マスト教ヘシハ天主ニシテカルワイノニ基督ハ聖骸ノ現ニ在マスヲハ譬論ナリト教エシモ亦天主ナリ又英國ノ教會ニ司教ヲ置カシメ蘇國ニ之ヲ置カシメザルモ亦天主ナリ甲ノ派ニ慈善ノ所爲ハ救靈ニ必用ナリト教ヘ乙ノ派ニ之レヲ廢棄セヨト教ヘ丙ニ洗禮ハ救靈ニ必用ナリト教ヘ丁ニ之レハ普通ノ禮式ナリト教ヘシモ亦タ天主ナリトナサバルヲ得ズ果シテ彼等ノ言ノ如ク天主各人ニ默示ヲ垂レ給フモノトセバ悉ク同一ノ教ヲ信ズベクシテ斯ノ如ク齟齬スルノ理ナシ

問 彼徒ハ暗キ點ハ明カナル點ニ依テ解釋スルヲ容易ナリトイフヲヲ得ザルヤ

答 然リ之ヲイフモ妨ケナシト雖モ各自漫リニ其意見ヲ信ゼシメ眞誠ノ理ヲ解セズ己ガ説ヲ付會シテ明瞭ナリト妄信スルモノアリ乃チ耶穌基督ハ天主ニアラザルトノ説ヲ確實ナラシムル爲メユニタリヤニスム徒(天主聖父ノミヲ信スル徒)ハ我父ハ我レヨリ至大ナリト(約翰傳十四章二十八節)ノ言ヲ引キ又基督ハ諸受造物ノ初生ナリト(保祿コロシイヤンニ達スル書一章十五節)ノ言ヲ引テ漫リニ之レヲ証明セントス此言ヤ一目瞭然亦辨テ用ヒサルベシ且、プレスビイアリヤン徒ハ聖骸ノ秘跡ハ單ニ酵餅及酒ナルトノ説ヲ証明セントシテ肉ハ何ノ益スル所ゾ我レ汝等ニ云フ所ノ言ハ神ナリ生ナリト(約翰六章六十四節)ノ言ヲ以テス此言ハ恰モ天主ノ性ヲ有シ世ノ罪ヲ贖フタル耶穌基督ノ肉ハ一モ益スル所ナシト信シテ可ナリトイフニアリアナバチスト徒ハ(第三章五項ニ解釋ヲ下セリ依テ茲ニ畧



ス小兒ニ授洗スベカラサルノ説ヲ確實ナラシメント總テノ國民ヲ  
教ヘ洗ヲ授ケヨト(マテヤ二十八章十九節)ノ言及信シテ洗ヲ受クル  
者ハ救ヲ得ルト(マルク十六章十六節)ノ言ヲ以テ其証トス此解釋ニ  
因ルキハ信ハ洗禮ヨリ前進スベキモノ、如シ

問 他ノ基督教徒モ亦等シク此等ノ言ヲ明瞭ナルモノトスルヤ

答 然リ反對ノ教ヲ証明スル爲メニ甚明瞭ナル言ナリトスル者アリ

又聖書中ノ最モ解シ難キ點ナリトスル者アリ

問 然レバ足下ハ之ヲ如何ニ論定スルヤ

答 萬能ヲ備具スル天主ハ其教會ノ内ニ宗教上ノ是非ヲ裁定スルノ  
權力及能力ヲ有スル審判者ヲ置キ確然聖書ノ真理ヲ明示セシメラ  
ル、ナリ

問 請フ一ノ比例ヲ以テ之ヲ説明セラレヨ

答 夫レ代言士ニ許スニ唯法律書ノミニ依ル者トスルキハ訴訟ノ局  
ヲ結ブノ期ハ豫定スベカラズ之ト同シク宗教上ノ論ニ於ケルモ單  
ニ聖書ノミニ依ルキハ決シテ其局ヲ結ブコトナシ彼ノ訴訟ヲ裁定ス  
ルニ眞誠ナル裁判官ヲ要スルカ如ク宗教上ノ最モ明メ難ク最モ必  
用ナル事項ヲ裁定スルニハ天主ヨリ確定サレタル審判者ヲ要スル  
ナリ

問 然ラバ其審判者ハ果シテ誰ナルヤ

答 耶穌基督カ諸ノ國民ニ福音ヲ布教スルコト命ジ且世ノ終リマデ  
聖神ノ助力ヲ付與スベシト約シ給ヒシ教會ノ教父等是ナリ

問 其教父タルモノハ誰ヲ指スヤ

答 教父タル者ハ單ニ教皇ノミニアラス又教皇ト共ニ公會スル所ノ  
司教ヲイフナリ



第五章 「プロテスタント」徒ノ信ノ三

規程

第一項

ソシニヤン徒ノ信ノ規程譯者曰ソシニヤン徒ハソシニヤンナル人ノ創立ニ係リ耶穌基督ノ神聖ナルヲ見認メザル一派

問 ソシニヤン徒ノ採用スル信ノ規程ハ如何

答 彼徒ハ聖書ハ天主ノ示ス所ナリトイフト雖モ唯智能善ク其默示ヲ了解スルモノナリ故ニ人ハ唯智能ヲ以テ了解スルヲ得ル事項ノミヲ信ズベシトイフニアリ

問 足下ハ此規程ヲ如何ニ思考セラル、ヤ

答 先ッ其深思熟考スベキハ天主ノ限りナキ智能ト我等ノ限りアル智能トヲ辨知スルニアリ夫レ天主ハ我等ニ我了解スル能ハザル多

クノ默示ヲ垂レ給フモノニシテ所謂天主ノ三位一體創世聖子降臨等ノ如キハ我等カ尤モ了解スルヲ得ザル所ナリ然ルニ我等カ智能ヲ以テ其智能ノ解シ得ザル事項ノ指導者トナスハ愚ノ至リニシテ限アル我等ノ智能ヲ以テ限りナキ天主ノ智能ニ較ベントスルハ多ク其量ヲ知ラザルノ所爲トイフベシ且我等ガ智能ノ解シ得ル事項ノミヲ信シ眞誠ナル天主ノ聖言中其解シ得ザル事項ヲ不問ニ付スルガ如キハ天主ニ對シテ至大ナル不敬トイハザルヲ得ザルナリ

問 人ノ智能ハ變動シ易キモノニアラズヤ

答 然リ人ノ智能ハ確然不動ナル信ノ基礎トナスヲ得ズ唯僅カニ自說ノ基礎タルヲ得ルノミ夫レ人一生ノ歴史ヲ閱シ往昔羅馬ノ偶像大古埃及國ノ諸神ヲ見且人ノ智能ノミヲ以テ指導スル外教者及基督教徒ノ學校ヲ一見セバ歩テ正道ニ失ヒ冥路ニ迷ハザルナレニ



由テ之ヲ觀レバ人ノ智能コソ眞ニ笑フベク恥ヅベキ至愚ノモノナルヲ了知スベシ故ニ人ノ智能ハ決シテ確然不動ナル信ノ規程ニハアラザルナリ

問 ヲシニヤン徒ノ規程ハ確然タルモノナルヤ

答 否ソシニヤン派ノ説ハ世ニ基督教ヲ信奉スル宗教ノ一致シテ排斥スル所ナリ故ニ基督教徒ノ名ヲ有セザル僅々ノ小黨派カ信スル所ノ教ニ從ヒ救靈ノ道ヲ失ハンヨリ寧ロ多數ナル基督教ノ説ニ服スルノ確然タルニ如カズ蓋シソシニヤン徒ハ基督教ノ唯一ナル基礎タル基督ヲ神聖ナラズト見認ムル一派ナレバナリ

問 足下ハソシニヤン徒ノ規程ニ就キ尙他ニ答ムル所アリヤ

答 然リ數多アリ夫レ人ノ智能ハ其面ノ異レルガ如ク各自異ナルモノナレバ唯タ智能ノミニニ因ルキハ無數ノ宗教ヲ現出スベシ足下彼

ノ醫學哲學政治學農學等ニ於ケル幾多ノ學術上其論說ヲ異ニスルヲ見ズヤ世ノ學術上ニ於ケル此ノ如ク其レ多シ宗教ニ於テモ亦然リ然ラバ我等ガ信モ人ノ數ニ應シテ増殖シ宗教ノ種類モ亦人ノ上智ト下愚トニ隨テ無數ナルベシ

問 基督教徒ノ信ノ規程ハ最モ正當ナル理ニ基ヅクニアラズヤ

答 然リ天主ガ垂レ給フ默示ノ内秘密ナルモノ數多アリ然ルニソシニヤン徒ハ我が智能ヲ以テ了解ヲ得ル事項ハ之ヲ信シ智能ヲ以テ解シ得ザル事項ハ之ヲ廢棄ストイフニ至テハ愚ノ極點ナリ夫レ天主ヨリ受造シ世ニ生出シ其目前ニアル秘密ヲ解シ得ザル人ニシテ天主ガ一々其聖言ノ講義ヲナシテ説明セザル問ハ其聖言ヲ信ゼザルト云フハ實ニ傲慢ナルモノニシテ正理ニ戻レル言行ト云フベシ我が基督信徒ノ如キハ之ニ反シ秘密ヲ示サル、キハ其默示ニ對シ



充分ナル証ヲ索メ一旦確信セバ益ス之ヲ信ジテ曰ヘラク天主ハ無量ノ善徳ヲ備ヘ給フモノナレバ我レヲ欺クヲナサズ天主ハ無限ノ智徳ヲ備ヘ給フモノナレバ自カラ迷ヒ給ハズ其垂レ給フ所ノ默示ハ悉ク眞誠ナラザルハナシ故ニ假令我が智能ヲ以テ之ヲ解シ得ザルモ我レハ之ヲ信ズト世ノ學術上ニ於テ飽迄其奧義ヲ探究スルヲ得ルト雖モ宗教上ニ於テハ我等ガ越ニベカラザル境界アリ聖書ニ曰ク汝ヲ那ノ邊迄進歩セヨ謹テ其先ニ歩ヲ進ムベカラズト

第二項

天主ハ人毎ニ默示ヲ垂レ給フトノ説ヲ論ズ

問 天主ハ人毎ニ默示ヲ垂レ給フト假定スルアナバチスト派クアケル派メトヂスト派及モラウ教兄弟ト稱スル派等ガ教ユル所ノ信ノ規程ニ就テ足下ハ如何ニ論ゼラル、ヤ

答 此迷道ヲ妄信ズル者等ノ言行ハ則チ巧妙ナル駭撃ノ手段トナルナリ蓋シ當初ノ異教徒モンタン及マキシミリヤノ兩人ハ最初ニ此説ヲ唱ヘテ遂ニ縊死セリカルロスタード(リュテール)ノ門弟ノ門弟等ハ天主ヨリ諸惡人(公教信徒ヲ指ス)ノ財産ヲ掠奪シ之ヲ殺スノ默示ヲ受ケ「ジャン、ボツクフオールド」ハ「アナバチスト」派首領ノ一人ハ天主ノ默示ヲ受ケテ「シイオン」ノ國王トナリ十一人ノ婦人ヲ娶リ後其精神ノ命ヲ奉シテ十一人ノ婦人ヲ悉ク殺シタリ

ウイスレイ(メドヂスト)派創立者ノ一人ハモラウ教兄弟ト唱フル派ヲ評シテ曰ヘラク彼等ノ黨中聖書ヲ讀マズ祈禱ヲナサズ聖牀ヲ受領セザル者多シ蓋シ然ル所以ノモノハ此ノ如キハ所爲ヲ以テ救靈ヲ求ムルニ似タリトイフヲ以テナリト又曰ク我が英國ニ在ル彼教兄等ハ公教會ト其秘跡トヲ放棄セザレバ信ヲ有スル能ハズトイヒ



又祈禱ハ盜倫ト同シク多クノ人ヲ永苦ニ陷ラシムル本原ナリトイ  
ヘリ夫レ天主ガ各人ニ垂レ給フ默示ト名ヅクル不正ナル信ノ結果  
ハ皆此ノ如キモノナリ

問 余ハ已ニ此等信ノ規程タル説ノ偽ナルヲ明知セリ足下尙ホ他  
ニ言フ所アリヤ

答 眞誠ナル信ノ規程ハ總テ我人ノ爲メ有益ナラザルヲ得ザルモノ  
ナリ然ルニ自説ニ偏倚スル一二ノ「プロテスタン」徒ヲ除キ總テノ基  
利斯督教徒ハ天主ガ人毎ニ默示ヲ垂レ給フト云フ「ハ曾テ思ハザ  
ルナリ故ニ基利斯督教徒中十二八九ハ彼等ガイフ所ノ信ノ規程ナ  
ルモノヲ有セザルナリ

問 此等信ノ規程ナルモノヲ妄信スルハ聖書ニ反スルニアラズヤ  
答 然リ聖書ニ反スルモノニシテ彼等ノ精神ハ殺セト教ユルモ聖書

ハ汝ヲ殺ス勿レト誠ム彼等ノ精神ハ天主ヨリ受クル所ノ聖寵ヲシ  
テ益ス充滿セシムルタメ罪科ヲ犯セヨト教ユルモ聖書ハ罪科ヲ犯  
ス「ヲ禁ス加之已ニ論述セシ如ク彼ノ徒ハ相互ニ異論ヲ唱フルナ  
リ

自説ニ執拗ナル此徒ノ言ニ天主聖神ハ我等ガ信スベク且實行スベ  
キ事項ヲ教ヘ給フト然ルニ其聖神ハ果シテ眞誠ノ聖神ナルヤ將タ  
迷ヒノ精神ナルヤヲ証明スル「ヲ得ルヤ否余ハ斷シテ之ヲ証明ス  
ル「能ハズト信ズルナリ何ントナレバ之レヲ証明スルニハ顯明ナ  
ル奇跡ヲ現示セザルベカラズ然ルニ彼等ハ毫モ之ヲ現示スルノ能  
力ナシ故ニ聖書遺傳公教會ヲ放棄シ瞑頑愚痴ニ充滿シタル各人默  
示ヲ受クルノ説ヲ唱フル黨ニ風靡スル者ハ實ニ精神ノ微弱ナルモ  
ノニシテ聖神ニ指導セラルト陽言スト雖モ其聖神ハ天主ノ聖神ニ



アラズシテ自説ヲ執拗シ迷道ヲ歩ム暗愚ノ精神ナリ故ニ之ヲ聖書ニ反スルモノトイフ

第三項

聖書ヲ論ズ

問 信ノ規程ノ第三ハ如何

答 第三ノ規程トハ彼等ガ所謂聖書ニシテ至善至智ナル天主ヨリ人ニ授與セラレタル信ノ規程トナスモ其所謂聖書ナルモノハ有識ノ學者ガ講義スル所ノ聖書ニアラズシテ不學無識ナル彼ノ徒ガ各自牽強付會ノ解釋ヲ爲シタル聖書ヲイフナリ

問 彼等ガ所謂信ノ規程ニ對シテ答ムベキ事項尙ホ夥多ナルヤ

答 アリ先ツ「プロテスタント」宗ノ信ノ規程ト公教人ノ信ノ規程トヲ比較スルニアリ

問 公教人ノ信ノ規程ハ如何

答 無學ナル信徒ニアラズ亦普通ノ學者ニアラズ天主ヨリ使遣サレ天主ノ教會ヨリ命ゼラレタル所ノ牧師ガ解釋シタル眞誠ナル默示ノ聖書及遺傳等ヲ以テ信ノ規程トナスナリ

問 公教ノ信ノ規程ト「プロテスタント」ノ信ノ規程トヲ比較シテ足下ハ何ヲ以テ公教ヲ善視スルヤ

答 其比較ハ公教人七名ニ「プロテスタント」徒一人ニシテ乃チ公教ノ信ノ規程ヲ信向スル者七人ニ之ヲ廢棄スル者一人ノ割合ナリ加之リユテールヨリ以前千五百年間世ニハ同一ノ規程ヲ信ズルモノ、ミナリシ又公教人ハ時ト場合トヲ論ゼズ常ニ一致シテ同一ナル信ノ規程ヲ遵守スルモ「プロテスタント」徒中同一ナル解釋ヲ付シテ信向スル派ニ人ナシ「プロテスタント」徒ハ其教ノ爲メ各自其解釋ヲナスモ公教



人ハ天主ノ聖教會中最モ有智有學有徳ナル者ガ解釋シタルヲ尊奉ス「プロテスタン」徒ハ自己ノ裁定ヲ以テスルモ公教人ハ聖教會ノ裁定ヲ以テス故ニ余ハ公教人ノ信ノ規程ヲ善トスルナリ

問 「プロテスタン」徒ガ唱フル所ノ宗教中愚痴ナル事項アラザルヤ

答 之アリ眼ニ一丁字ヲ知ラザル農夫ニシテ我ハ聖會ノ牧師ニ比スレバ善ク聖書ヲ了解々釋スルト誇稱スルヨリ甚シキ愚ハアラザルベシ

問 若シ「プロテスタン」徒中學者アリ獨リ聖書ノ解釋ヲ下セバ其愚蒙ハ甚シキニ至ラザルベキヤ

答 否公教會ノ學者ト比較セバ「プロテスタン」徒ノ學者ハ其數甚ダ僅少ナリ聖書ノ言ノ如ク智能ハ多數ノ議者ニアリトセバ公教會ニ學者アリトナサザルカヲ得ズ何ントナレバ公教人ハ千八百年來言行ノ

實踐智識ノ研究アリ「プロテスタン」徒ハ僅カニ三百年ニ過ギザレバナリ

問 尙他ニ排斥スベキ事項アリヤ

答 之アリ「プロテスタン」徒ハ三百年間一凡人ガ私擅ニ解釋ヲ附會シタル聖書ヲ以テ其信ノ規程トナセリ若シ其聖書ガ天主ヨリ命ジタル規程ナリトセバ「プロテスタン」徒ハ舉テ同一ナル信ヲ有シ聖書ニ同一ナル解釋ヲ下スベキニ各自皆異ナルモノアリテリユテールハ聖書ニ基ヅキ聖體ノ現ニ座スヲ教ヘヅウイングルハ同シ聖書ニ基ヅキ之レガ反對ヲ教ヘタル事項等ナリ然ルニ尙自ラ覺知セズ漫ニ聖書ヲ頼ミ自教ニ方便ヲ與フル爲メ各自恣ニ牽強ノ解釋ヲ下シ遂ニ其解釋スル聖書ハ迷誤ナル離教邪教ノ本原タルヲ自カラ証明スルニ至レリ



問 主ハ一洗禮ハ一又單純ナル真理ヲ含有スル默示ハ一ナルガ如ク  
眞誠ナル信モ亦單一ナルニアラズヤ

答 固ヨリ然リ然ルニ「プロテスタン」徒ハ此信ノ單一ナルヲ廢棄シ  
各自私擅ニ執拗ノ迷説ヲ以テ聖書ノ解釋ヲ下セリ此ノ如キ「プロテ  
スタン」徒ハ現今數派アリ後年ニ至レバ人口ノ増殖ニ隨テ其宗教ノ  
數モ亦計ルベカラザルニ至ルベシ

問 「プロテスタン」徒ノ教ヘハ其信徒ヲシテ自己ノ解釋ヲ尊奉セシメ  
宗派ノ數ヲ減省スルヲ能ハザルヤ

答 否能ハザルベシ斯クノ如クセバ其教ノ本原即チ聖書ニ對シ各自  
私擅ニ解釋ヲ下スノ權ヲ烏有ニ属セシムレバナリ

問 「プロテスタン」徒ノ信ノ規程アルトノ教旨ニ隨フキハ迷誤ノ嚮ニ  
便路ヲ開キ之レガ改良ノ法方ヲ益ス消滅スルニ至ラシムルニアラ

ズヤ

答 然リ一例ヲ舉クレバ彼ノユニタリヤニスムノ無學ナル徒ハ我主  
ガ父ハ我ヨリ大ナリト曰ヒシ言ニ基ヅキ漫リニ耶穌ハ天主ニアラズ  
ト唱フルガ故ニ「プロテスタン」ノ教士ハ他ノ聖言ニ父ト我ハ一ナリ  
トアル言ヲ以テ之ヲ攻撃スルモ無學ノ徒ハ之ニ答テ父ト我ハ一ナ  
リトアルハ唯愛ノ一點ヨリ論ジタルモノニシテ其性ノ異レルハ父  
ハ我ヨリ大ナリトアルノ言ニテ明カナリトイフニ至テハ教士モ口  
ヲ閉ヂ無學ノ徒ノ隨意ニ放任セザルヲ得ズ何ントナレバ彼レ必ズ  
イハン吾ハ聖書ヲ適宜ニ解釋スルノ權アリ信ノ一點ニ至テハ教士  
ニ劣ラザル裁定者ナリト

問 聖書ヲシテ信ノ規程タラシメバ其聖書ヲ組織セル書名ハ何ナル  
ヤテ明示セヨトイハバ「プロテスタン」徒ハ之ニ確實ナル答辨ヲナシ



得ルヤ

答 否能ハザルベシ此點ニ於テ彼徒ハ曾テ一致セシコナク公教人が尊信スル書中九乃至十種ノ書ヲ廢棄シ聖保祿ガヘブレヤト人ニ達スル書聖シヤコブノ書聖「ベトロ」ノ後書聖約翰ノ第三書聖シニドノ書及約翰黙示錄等ノ如キ或ハ取り或ハ捨テ其存廢幾回ナルヲ知ラズ是ニ由テ之ヲ觀ルニ彼徒ハ何ノ書ガ聖書ヲ組織スルヤヲ知ラザレバ之ニ問フモ確實ナル答辨ヲナス能ハズ故ニ聖書ハ彼徒ノ信ノ規程トナル能ハザルヤ明カナリ

問 已ニ消滅シタル聖書ニ對シテ足下ハ如何ニ論ゼラル、ヤ

答 「プロテスタン」徒ガ信ノ單一ナル規程トナス所ノ聖書ハ已ニ烏有ニ屬シテ消滅シタル聖書ヲ指スカ將々目今現存スル所ノ聖書ヲ指スカ若シ消滅シタル聖書ヲ指ストセバ信ノ規程ハ不完全ナルモノ

ナリ果シテ現存セル聖書ヲ指ストキハ其現存セル聖書中何レノ條項ヲ以テ信ノ規程トナスニ足ルトノ確証ヲ明示シ且已ニ消滅シタル聖書ノ要用ナラザル點ヲモ論表セザルベカラズ

問 足下ハ耶穌基督ガ其教會ニ於テ布教セシムル爲メ牧師ヲ設定シ給ヒシ事項ヲ提出シテ以テ「プロテスタン」徒ノ信ノ規程ニ對スル駁撃ヲナシ得ルヤ

答 「プロテスタン」徒ノ信ノ規程ナル者ハ耶穌基督ガ設定セシ牧師ヲ無益ニ屬セシムルモノナリ何ントナレバ牧師ニシテ信徒ト一致共同シ隨意ニ聖書ノ解釋ヲナストセバ信徒ヲ教化スル牧師ハ益ナキモノナリ假令聖書ヲ信徒ニ放任シ各自私擅ニ其解釋ヲ下スヲ得セシメ牧師ト一致セズ解釋ノ意見ヲ異ニスルハ其眞理ハ牧師ニアルカ將々信徒ニアルヤノ裁定ニ苦シムベシ若シ牧師ニシテ強テ信



徒ヲ其解釋ニ服セシメントセバ「プロテスタン」徒ガ各自適宜ニ解釋  
ヲ下スヲ得ルトノ說ノ秩序ヲ亂ラスモノナリ若シ牧師ニシテ自己  
ノ意見ヲ棄テ一ニ信徒ノ解釋ニ放任セシメバ是牧師ナル者ハ有名  
無實ニ屬スルナリ若シ信徒ニシテ自說ヲ棄テ單ニ牧師ノ說ニ傾ク  
キハ其牧師ト雖モ一個ノ人ナルヲ以テ必シモ天主ノ聖言ノミニ賴  
ラズ變動シ易キ解釋ノ言ヲ以テ信徒ヲ教化スベシ此ノ如キ牧師ニ  
其救靈ノ道ヲ委ヌルニ至テハ豈ニ危カラズヤ

問 耶穌基督ガ庶人ノ爲メ唯聖書ノミヲ以テ信ノ指導者トナスヲ  
望ミ給ヒシトセバ親カラ之ヲ書シ若クハ筆記スルヲ命ジ給ヒシ  
ナラン如何

答 足下ノ說近シト雖モ耶穌基督ハ其宗徒ニ命ズルニ聖書ヲ編成ス  
ルヲ命ジ以テセズシテ只福音ヲ布クベキヲ命ジ以テセリ

問 「尚」プロテスタンニ詰問スルノ事項アリヤ

答 之アリ眞誠ナル信ノ規程ヲ能ク知得シタル宗徒等ハ何ヲ以テ全  
世界ニ周布スルヲメ數百万ノ聖書ヲ編成シ且衆人ニ之ヲ讀ムベシ  
ト命ゼザリシヤ又何ヲ以テ衆人ニ讀書ヲ教ユルヲメ學校ヲ設置セ  
ザリシヤ又何ヲ以テ數多ノ宗徒中教旨ヲ書シタル者ハ僅々ニ過ギ  
ザルヤ又何ヲ以テ聖書中最終ノ書ヲ編成スル迄凡ソ百年間ヲ經過  
セシヤ又聖書ノ不完全ナリシ初代ノ奉教人ハ如何ナル信ノ規程ヲ  
遵守セシヤ世ハ聖書ニ因ラズシテ宗徒及ヒ他ノ牧師ニ因リテ教ヲ  
奉ズルニ至リシニアラズヤ又何ヲ以テ宗徒ハ聖書ヲ著述シ之ヲ反  
譯スルニ其教ヲ布ク所ノ國語ヲ以テセザリシヤ又聖「ペトロ」聖保錄  
ノ兩宗徒ハ身羅馬ニアリナガラ何ユヘニ羅甸ノ語ヲ以テ其書翰ヲ  
反譯セザリシヤ又何ヲ以テ聖保錄ハ羅馬人ニ達スル書ヲ當時唯學



者ニアラザレバ了解スルヲ得ザル希臘語ヲ以テ書シタルヤ等ノ  
事項ナリ

問 聖書ノミチ以テ我等ノ信ノ規程トナスル能ハザルヲ証スル確  
憑アリヤ

答 之アリ紀元ノ初代及ビ四百年代ニ至ルマデ聖書ノ寫ハ實ニ僅少  
ナリ加之ナラズ其聖書ノ寫ハ肉筆ニシテ一ハ聖殿ニアリ一ハ他ニ  
アリテ全備シタルモノニアラズ又單ニ一國ノ語ヲ以テ書シタルモ  
ノ、ミコシテ未ダ數國ノ語ヲ以テ譯シタル聖書アラザルノ時ニ當  
リ已ニ教ヲ奉ズル者ハ世ニ無數ナリ故ニ余ハ以爲テク聖書ヲ以テ  
信ノ規程トナス能ザルヤ萬々明ナリト是ニ由テ之ヲ觀レバ「プロテ  
スタン」徒ノ奉教人ハ千四百年間即チ活版發明ノ時ニ至ル迄ハ信ノ  
規程ヲ有セザリシト言ハザルヲ得ザルベシ此年間讀書ヲ知ル者ハ

甚ダ僅少ニシテ問々書ヲ讀ムヲ知ル者アルモ其價ノ低カラザル  
ニ障碍セラレ其志ヲ達スル能ハザリシ又目今ト雖モ聖書ノ數ヲ全  
世界ノ人口ニ比スレバ十人ニ一部ノ割合ニ至ラザルベシ然レバ之  
ヲ讀ムノ便ヲ得ザル者ハ如何ナル信ノ規程ヲ遵守スベキヤ

問 各人自己ノ見解ニヨリ註釋ヲ付シタル聖書ヲ以テ信ノ單一ナル  
裁定者トナストセバ天主ハ恰モ適宜ニ裁判ヲ下ス權ヲ各人ニ付與  
スル愚痴ナル立法官ニ髣髴タルモノトイハザルヲ得ズ如何

答 此問題ヲ熟考スルトキハ「プロテスタン」徒ガ漫ニ稱説スル信ノ規  
程ハ則チ名アリテ實ナキモノナルコトヲ知ルベシ若シモ一國中ノ  
庶民ニシテ裁判官ト同一ニ各自恣擅ノ裁判ヲ下ス權ヲ有スルトキ  
ハ社會ノ秩序ヲ亂スハ論ヲ竣タズ故ニ政府ガ法律ヲ施行スルニ當  
テハ庶民ノ上ニ位セル裁判官ヲ設ケテ之ヲ實行セシムベカラズ



此ト等シク天主亦其法度ヲ親設スルニ當テ其法度ノ解釋者裁定者  
ヲ設置セルヤ明カナリシカラバ單ニ信徒ニ一法ヲ授ケ各自適宜ニ  
解釋セシムトイフガゴトキ「プロテスタン」徒ノ言ハ如何ニ論斷セバ  
可ナランヤ斯クノゴトキ教ハ即ハチ無數ノ邪教離教ヲ生出スル本  
原トイフベシ試ミニ見ヨリ「ユテール」ノ教派ノゴトキ當時創設ノ際  
ハ僅カニ一派ナリシモ各自前迹ノ主旨ヲ尊奉セシヨリ遂ニ無數ノ  
支派ヲ生ズルノ源トナリ其論旨區々ニシテ信ノ一點ニ於テ同一ノ  
信ヲ遵守スル「プロテスタン」徒ハ僅カニ二人アルヤ否知ルベカラザ  
ルナリ

問 「ストラスブール」府ノ「プロテスタン」教士ガピトン其他ノ教士ハ此  
點ニ於テ如何ナル評ヲ下セシヤ

答 余ハ今其言ヲ枚舉センニカピトンガ曰ク我國民ノ言ニ我等ハ既

ニ已ニ福音ヲ知得ス我自テ之ヲ讀ムヲ得又何ゾ足下ノ示教ヲ用  
ヒンヤト或ル「プロテスタン」ノ教士ガベーズニ語レル言ニ我國民ハ  
宗教ノ威風ニ簸揚セラレ今日守ル所ノ教旨ヲ明日放棄シ徒ラニ其  
教旨ヲ變シ如何ナル點ニ於テ互ニ一致スルヤ知ルベカラズト又カ  
ル「ウインガメラ」ノクトンニ對シタル言ニ目今我宗派ニ於テ斯ノ如  
ク數派ヲ生シタルヲ後世ニ知ラシメザルヲ要スト

第四項

信ノ規程及聖書ヲ論ズ

問 聖書中舊約書若クハ新約書等ヲ天主ノ聖言トナシ之ヲ信ノ單一  
ナル規程トナセシマアリヤ

答 否モイセスノ時ニ至ル迄天主ノ默示ヲ記載シタル書ハアラザル  
ナリ彼ノセツト「アブラハム」「イザイク」「メルキセデツク」等ハ皆單一



遺傳ニ基ヅキ教ノ眞理ヲ信シテ以テ救靈ヲ得タルモノナリ

問 モイセスハ天主ノ授與ニヨリ自カラ筆記セシ當初ノ默示ニ係ル  
法度ニ付テ如何ナル處置ヲナセシヤ

答 モイセスハ此書ヲ約束ノ櫃ニ秘藏シ七ケ年ヲ經テイツラエール  
衆民ノ目前ニ於テ聽聞セシムルタメ之ヲ誦讀スベキヲレウイト  
ニ命シタリ(復法三十一章十四節)此聖言ヲ七ケ年ニ唯一度誦讀スル  
ヲレウイトニ命ゼシハ果シテ民ノ爲メ信ノ規程トナスガ爲メナ  
リシヤ否

問 天主ハ復法デウテロニムニ於テ何ヲ曰ヒシヤ

答 天主ハ復法デウテロニムニ於テ命シ給フニイツラエールノ民相互ニ解ケザル  
困難ノ争訟ニ際シレウイト祭司ニ就キ其争狀ヲ提出シテ之ガ裁定  
ヲ請フトキハ祭司ハ何レガ眞誠ナルヤヲ汝等ニ明示スベシ汝等ハ

乃チ其命ニ從ヒ其言フ所ヲ行ヒ其教ユル所ヲ守ルベシ若シ祭司ノ  
命令ニ從ハザル傲慢者ハ死ナムト夫レモイセスハ法度ヲ書シタル  
モ之ヲ衆民ニ付與シ其訴訟ヲ適宜ニ裁定セシメズ反テ其裁定ヲ祭  
司ニ請フベキヲ命シ背ク者ハ死刑ニ處スルノ制ヲ定メタリレバラ  
リボメーヌ後書及マラキノ書中ニイハルアリ祭司ノ唇ハ智慧アリ  
民ハ其口ヨリ法度ヲ受クベシト

問 新約書モ亦此點ニ於テハ明瞭ナラザルヤ

答 明瞭ナリ耶穌基督ハ親カラ筆ヲ執リ給ハス又其宗徒ニ筆記スル  
ヲチモ命シ給ハズ保録ハヘブレヤ人ニ達スル書中ニ天主ハ其子ヲ  
シテ我等ニイハシムト記シ書セシムト記セズ又耶穌基督モ其宗徒  
ニ往テ萬民ニ教ヘヨ(馬太傳二十八章十九節)ト命シ往テ萬民ノ爲メ  
聖書ヲ書セヨト命ゼズ又聖書ヲ讀或ハ聽クモノハ我レニ聽クト曰



ハズ汝ニ聽ク者ハ即チ我ニ聽ク(路加傳十章十六節)ト曰ヘリ又教會ニ聽サル者ハ之ヲ視ル異邦人トフネリアリカン稅吏ノ如クシテ可ナリ(馬太傳十八章十七節)ト曰ヒ聖書ヲ聽カザル者ハ云々ト曰ハズ

問 宗徒等ハ如何ナル言ヲナセシヤ

答 聖バトロハ其後書(第三章十六節)ニ於テ聖書中明カニシ難キ點アリ不學不堅者ハ之ヲ強解シテ自カラ敗亡ヲ取ルト之ニ由テ之ヲ觀レバ不學不堅者ノ多キ世人ガ斯クモ容易ニ誤解シテ自カラ敗亡ヲ取ル所ノ聖書ヲ以テ豈天主ガ信ノ規程トナサシメ給フノ理アラシヤ又ベローロハ同書(第一章二十節)ニ云ヘタク聖書ノ諸預言ハ一毫モ拘泥シテ之ヲ解スルコト勿レト然ルニ此明文アルニモ係ラズ(プロテスタン)徒ハ聖書ハ各人私擅ニ解釋ヲ付スコト得ルトイヘリ

聖保錄ハテサロニシイヤンニ達スル後書(第二章十四節)ニ云ヘタク奮ニ聖書ノミヲ守ラズ尙我ガイフ所書シタル所ノ遺傳ヲ守レト又同宗徒ハチモテニ我ヨリ聽キ得タル所ノ事ヲ忠信ニシテ他ニ教ユルノ能力アル人ニ轉託セヨ(保錄提摩太ニ達スル後書五章二節)ト命シ讀ミ得タル所ノ事ヲ云々ト命ゼズ

第五項

救靈ニ必用ナル真理ノ遺傳ヲ論ズ

問 聖書ニ記載セザルモ救靈ニ必用ナル真理ハ尙數多アリヤ

答 之アリ其概略ヲ擧ゲンニ誰ヲ以テ眞誠ナル天主ノ教會ノ牧師トスルヤ牧羊場ニ侵入スル狼ハ誰ヲ指スヤ何レヲ以テ諸宗教ノ内眞誠ナル基督ノ教會トスルヤ其教會ノ權力ハ幾許ナルヤ其教會ノ首長ハ地上ニアリヤ教會々議ノ議長ハ誰ナルヤ如何ナル法方ヲ以テ



衆論ヲ裁定スベキヤ何ヲ以テ教會ノ公ナル教務トスルヤ聖書ハ如何ナル書ガ即チ眞誠ナル書ナルヤチ明示セズ現ニ我等ガ有スル所ノ書籍ハ果シテ完全純粹ナル天主ノ聖言ヲ記載セルヤ我等ガ救靈ノ頼トシテ有スル所ノ解釋ハ全ク確實正當ナルモノナルヤ等ノ數件ナリ然ルニ聖書中此數件ノ内一チモ記セザルヲ以テ我等ハ聖書ヲ以テ信ノ規程トナス能ハザルナリ

問 足下ハ猶太人が數代ノ間其用スル所ノ語ヲ以テ書シタル聖書ヲ有セザリシコトニ付キ如何ニ論セラル、ヤ

答 猶太人民ハ數代ノ間「プロテスタン」徒ガ信ノ規程トナス所ノ聖書ヲ有セザリシ天主ノ撰民等ハ「バビロン」ニ生擒トナリ同地ニ住居セシ間ハ其故國ヘブレヤノ言語ヲ忘失シテ用ヒザリシカ其後十四代ノ間ハシリヤノ語ヲ使用セリ「プロテスタン」徒モ耶穌基督ノ時迄

リヤ語ニ譯シタル聖書ナキコトヲ信ゼリ(千八百五十五年英京倫敦ニ於テライコフトナル人が著述セシ「エヂシイヨン、オフ、バイブル」ト名ヅクル書中ニアリ)

問 聖書中明記セザルモ他ニ必用ナル眞理ハ尙アルニアラズヤ

答 救靈ニ最モ必用ニシテ欠クベカラザル三位一體ノ教旨ハ聖書中明瞭正當ノ文ナシ

問 小兒ノ洗禮ニ就テ足下ハ如何ニ論ゼラル、ヤ

答 人ノ年齢未ダ七才ニ達セズシテ死没スル者三分一ノ割合ナリ故ニ小兒ガ洗禮ヲ受クベキヤ否ヤノ問題ハ實ニ貴重ナルモノトイフベシ况ンヤ聖書ニモ洗禮ハ救靈ニ必用ナルト明記セルニ於テオヤ然レモ聖書中耶穌基督ハ小兒等ガ洗禮ヲ受クルコト望ムト曰ヒシ明文ナシ果シテ耶穌基督ガ此洗ヲ行ヒ給ヒシトセバ「アナバチスト」



派ハ何故ニ此真理ヲ守ラザルヤ是ハ則チ人三分一ノ救靈ニ係ル所ニシテ聖書ニ明記セザル真理ノ一ナリ

問 「プロテスタン」徒ガ瞻禮第七日ニ業ヲ營ムハ是レ則チ聖書ヲ以テ信ノ規程トナスニ因レルカ

答 否聖書ニ基ヅクモノニアラズ遺傳ニ假托スルヨリ他ニ遁辭ナカルベシ第七日ニ營業スルキハ天主ガ明カニ廢シ給ハザル誠ヲ破ルモノナリ誠ニ曰ク第七日ヲ遵守スルヲ忘ル、勿レト

問 聖書中主日ヲ以テ安息ノ日トスル明文アリヤ

答 否此アルヲ見ザルナリ然レモ「プロテスタン」徒ハ此特別ナル日ヲ遵守スルハ救靈ニ必用ナルモノ、如ク見倣セリ蓋主日ヲ遵守スルハ耶穌基督ガ復甦シタルヲ以テ爾イフハ恰モ聖書ニ基ヅカズシテ之ヲ遵守スルトイフガ如シ然レバ瞻禮第五ノ日ハ耶穌基督ガ贖罪

ノ大業ヲ卒ヘ昇天シタル日ナルヲ以テ此日ヲ遵守スルトイフモ亦可ナリ

問 聖約翰默示録ニ聖約翰ハ主日即チ瞻禮第一日ニ示默ヲ受ケタリトノ明文ニ依レバ此日ニ遵守スベキ日ナリト新約書ヨリ引証シタル確實ノ一憑據ナラズヤ

答 聖約翰ガ此日默示ヲ受ケタリトスルハ固ヨリ疑フベキニアラズ然レモ余ハ未ダ嘗テ此日ヲ遵守セザルヲ得ザルトノ明文且誠ヲ見ザルナリ

問 足下見ズヤ該書ニ主日ノ明文アルヲ

答 然リ然レモ瞻禮第一日ノミヲ以テ主日ト爲スヲ得ズ第一ヨリ第七ニ至ル迄悉ク主日ニ屬セザルナシ知ラズ主日トアル文意ハ此日營業スル勿レ瞻禮第七ノ日ハ之ヲ廢棄ストノ文意ナルヤ將タ吾主



復活ノ日ナルヤ或ハ昇天ノ日ヲ以テ主日ト名クルナリトノ文意ナ  
ルヤ否

問 宗徒行傳(第二十章七節)ニ七日節ノ首日ニ諸ノ門徒集リテ餅ヲ擘  
ク保祿翌日ニ於テ出發セント欲シ衆ト共ニ講論ストアリ此聖書ノ  
文ハ七日節ノ首日ヲ遵守スルヲ許スノ証ナラズヤ

答 此文意ハ第七日ノ遵守ヲ廢シ或ハ「プロテスタン」徒ニ此日業ヲ營  
ムヲ許ストノ文意ナルヤ予ハ決シテ其然ラザルヲ知ル此文意ハ聖  
保祿ガ七日節ノ毎首日ニ於テ故ラニ教ヲ講フ又ハ人民ガ此日集會  
セシトイフニアラズ唯偶然此日ヲ以テ講論セシハ翌日他ニ出發セ  
ントスルガ故ナリ而シテ人民ガ瞻禮第七日ニ集會セシハ疑フベキ  
コトニアラズ何ントナレバ宗徒行傳ニ曰ク聖保祿ハ第七日毎ニ會  
堂ニ於テ教ヲ講シ猶太人及希臘人ヲ教化セリト殊ニ七日節ノ首日

ニ門徒等ガ集會セシハ更ニ驚クニ足ラザルナリ宗徒行傳ニ據レバ  
門徒等ハ毎日擘餅ノ爲メ聖堂ニ集會ストアルヲ以テナリ

問 聖保祿ハガラト人及コライニチイヤン人ニ命ズルニ七日節ノ首  
日ニ施財スベキヲ以テセザリシヤ

答 然リ然レモ是レ瞻禮第七日ノ遵守ヲ廢止スルトイフ義ニアラズ  
聖保祿ハ七日節ノ首日ニ於テ信徒悉ク會堂ニ來集シ此日ヲ遵守ス  
ベシトイハズ又施財ハ會堂ニ於テスベシトモイハズ只此日各自賽  
錢函ニ多少ノ施財ヲナスベシトイヒシナリ

問 此等ノ條件ヲ足下ハ如何ニ論定スルヤ

答 「プロテスタン」徒ガ其安息ノ日ヲ確定スル條項ハ聖書ニ記載セル  
モノニアラズ又彼徒ハ聖書ニ基ヅカズシテ第七日ノ遵守ヲ廢止シ  
代フルニ現今ノ日曜日ヲ以テセリ果シテ知ル此所爲ハ遺傳ニ係リ



シトナ然レモ「プロテスタン」徒ハ日曜日ニ營業スル人若クハ第七日  
ヲ遵守シテ七日節ノ首日ニ營業スル者アレバ永苦ヲ免レザルモノ  
トナスナラン依テ余ハ論定スルニ聖書ハ此等ノ事項ヲ明記セザル  
ヲ以テ救靈ニ必用ナル真理ヲ悉ク記述セザルガユヘ聖書ヲ以テ信  
ノ規程トナス能ハザルナリト

第六項

「プロテスタン」徒ハ其唱フル所ノ信ノ規程ヲ毫モ遵守セザル  
トナ証明スル學問上及實施上ノ論

問 足下ハ「プロテスタン」徒ハ聖書ヲ以テ信ノ規程トスルモノト信ズ  
ルヤ

答 否ナ其反對ヲ信ズルナリ

問 天主ノ誠ニ係ル「プロテスタン」徒ノ教旨ハ如何

答 此誠ハ到底之ヲ遵守スルヲ難シトシテ信徒ニ教ニテ曰ク「アダ  
ム」エハガ一タビ罪科ヲ犯セシ以來天主ノ誠ヲ全ク遵守スルノ能力ア  
ル者ハアラザルナリト

問 我主ハ此點ニ於テハ如何ニ曰ヒ給ヒシヤ

答 我輒ハ易ク我負モノハ輕キナリト曰ヘリ(馬太傳十一章三十節)

問 聖路加ハザカリヤ及エリザベツトヲ如何ニ評セシヤ

答 其書ニ曰ク二人ハ神前ニ在ルノ義者ナリ主ノ誠命禮義ニ遵テ行  
フ誰人モ之ヲ間然スル者ナシト(一章六節)聖約翰ハ其前書第五章第  
三節ニ曰ク神ノ誠ヲ守ルハ是レ乃チ神ヲ愛スルナリ其誠ハ難カラ  
ズト復法(第三十章十一節)ニ曰ク我レ今日汝ニ授クル所ノ誠ハ汝  
ノ力ニ超過セズ汝テ口ニ依リ心ノ内ニテ之レヲ守リ果ステ得ベシ  
ト



問 智能アル天主ハ其信徒ニ授クルニ守リ難キノ誠ヲ以テスルヲ得ルヤ

答 決シテ然ラズ何ソトナレバ一主人ニシテ其下僕ニ負ハシムルニ下僕ノ力ニ超過スル重荷ヲ以テスルコトアラハ人誰ガ其主人ノ痴漢ヲ笑ハザルモノアラシヤ福音ニ掲グル壯者ハ耶穌基督ニ對シ我レハ幼年ヨリ悉ク誠ヲ守レリト云ヒタルニ其心底ヲ洞見スル耶穌基督ハ敢テ之ヲ難セズ懲慙スルニ益々一層至大ナル慈善ノ所爲ヲナスベキヲ以テセシニアラズヤ

問 前條項中足下ハ天主ノ誠ハ守リ難キトスルカ

答 否守リ易シトス然レモ「プロテスタン」徒ハ此點ニ於テハ聖書ニ基ヅカズシテ他ニ基ヅクモノナリ

問 信ノ一點ニ於ケル「プロテスタン」徒ノ教旨ハ如何

答 唯信ニ由リテ罪人モ義者トナルコト得ルト教ニ

問 聖シヤコブハ此點ニ於テ如何ニ論ゼシヤ

答 曰ク信アルモ行ヒナケレバ何ノ益ガ之レ有ラン群魔亦之ヲ信シテ戰慄ス我等ノ祖アブラハムハ其子イザークヲ壇上ニ獻シ行ニ由リテ其義ヲ明カスニアラズヤ人ハ行ニ由テ義ト稱スルヲ得獨リ信ノミニ由ルニアラズト(宗徒雅各傳二章十四節ヨリ二十四節ニ至ル)聖保祿モ我レ能ク山ヲモ移スベキ堅キ信ヲ有スルモ若シ愛ナケレバ無爲ナリトイヘリ(コラインチイヤンニ達スル前書十三章二節)我主マクダレナニ向ヒ汝ガ罪多ク赦サル汝ガ多ク愛シタルヲ以テナリト(路加傳七章四十七節)曰ヒシニアラズヤ

問 此數個ノ聖言ハ何ヲ証スルヤ

答 「プロテスタン」徒ノ教旨ハ偽ナリ其信スル所ハ其唱フル所ノ信ノ



規程ニ相反スルコトヲ証スルモノナリ

問 善行ニ係ル「プロテスタン」徒ノ教旨ハ如何

答 「プロテスタン」徒ハ善行ヲ以テ救靈ニ毫モ必用ナラズト教ユ

問 善行ニ對スル我主ノ教ハ如何

答 我主曰ク汝等生ニ入ラント欲セバ當ニ誠ヲ守ルベシト(馬太傳十  
九章十七節)聖雅各ノ言ニ行ナキ信ハ其功ナシト聖保祿曰ク律法ヲ  
聞ク者ヲ神前ニ於テ義トナスニアラズ乃律法ヲ守ル者ヲ義トナス  
ナリト(羅馬人ニ達スル書二章十三節)聖「ペトロ」ノ言ニ我が兄弟ヨ汝  
善行ニ由リテ召テ蒙リ撰テ蒙ル「」ヲ堅固ナラシムル爲メ益々宜シ  
ク殷勤ナルベシト(「ペトロ」後書一章十節)我主耶穌基督ノ言ニ我ニ對  
シテ主ヤ主ヤトイフ者アルモ必シモ天國ニ入ラズ唯我が天父ノ旨  
ニ遵フ者ハ天國ニ入ルベシト

問 耶穌基督ガ公審判ニ於テ惡人ニ宣告シ給フ永罰ノ原因ハ如何蓋

惡人等信ナカリシヲ以テ永罰ヲ受クルモノナリヤ

答 否信ナキヲ以テ之ヲ罰スルニアラズ愛ナキヲ以テ罰スルナリ其  
証ヲ掲ゲンニ我主公審判ニ於テ其左ニ在ル者等曰ハシ汝ヲ詛ヲ  
受クル者行テ永火ニ入レ蓋シ我飢タルモ汝ヲ我ニ食ヲ與エズ我渴  
シタルモ汝ヲ我ニ飲ヲ與エズ我ノ旅スルニ汝ヲ我ニ館セズ我  
レ裸タリシモ汝ヲ我ニ衣セズ我ノ病或ハ獄ニ在リシモ汝ヲ我ヲ  
顧問セズト(馬太傳二十五章四十一節)

問 足下ハ善行ニ係ル「プロテスタン」徒ノ教ハ聖書ニ適應スルモノト  
ナスカ

答 否「プロテスタン」教ハ之ニ反シ聖書及眞理ヲ毀損スルタメ發見設  
置シタルモノ、如シ



第七項

我等ヲ義者トナラシムルノ論及「プロテスタン」徒ノ教旨

問 我等ガ義者トナル確心上ニ於ケル「プロテスタン」徒ノ教旨ハ如何

答 彼徒ハ妄言シテ曰ラク我等ハ耶穌基督ニ信ヲ置クガユヘニ聖寵

ヲ蒙ルヤ確實ナリト

問 此點ニ於テ聖書ノ論ズル所ハ如何

答 聖書ハ之ガ反對ヲ論ズ傳道ニ曰ク義人ノ爲ス所ハ天主ノ掌中ニ

在リ人ハ天主ノ眷顧ヲ受クルト否ラザルトチ知ラズ未タ來ラザル

事項ハ悉ク逆シメ料リ難シ人ハ己ノ終リチ知ラズト(傳道九章一

節)「サロモン」箴言ニ云ラク誰ガ能ク自カラ我が心ハ清シ我身ハ潔シ

トイフモノアラント(箴言二十章九節)聖保祿ノ言ニ我が愛スル所ノ

汝等ヨ宜シク畏懼戰慄ヲ以テ汝ガ救ヲ成セト「フィリピイ」ヤン人ニ

達スル書二章十二節又曰ク我レ内ニ省ミテ疚シカラズ但シ之ヲ以

テ義ト稱スルヲ得ス我ヲ評スル者ハ乃チ主ナリ(「コライ」ンチイ)ヤン

ニ達スル前書四章四節)トアルヲ見テ知ルベシ

問 公教人ハ我等ガ天主ノ聖寵ヲ荷フヤ否ヤ自カラ其確心ナキヲ信

ズルニアラズヤ

答 公教人ノ天主ヲ恐敬スル者ハ其胸中暗ニ聖寵ヲ荷フノ確心ヲ有

スト雖モ「プロテスタン」徒ガ評スル如ク敢テ公然之ヲ口外ニ發シテ

確心ヲ有スルトイハバ則チ只人心ヲ洞見スル所ノ天主ノミ全キ確

心ヲ授與シ給フナリトイフノミ

問 痛悔ニ係ル「プロテスタン」徒ノ教旨ハ如何

答 「プロテスタン」徒ハ耶穌基督ガ我等ノ罪科ヲ全ク贖フタルヲ以テ

別ニ戒食其他痛悔ノ爲所ヲ行フハ無益ナリトイフニアリ



問 「プロテスタント」徒ハ此ノ如キ簡便ニシテ奉シ易キ教ヲナスガ故ニ其黨與ノ増殖スルハ亦怪ムニ足ラザルベシ如何

答 然リ固ヨリ怪ムニ足ラズ此ノ如キ教ハ悔改ヲモナサズ道德ヲモ修メザル基督敎徒ノ爲メ天國ノ道ニ艷花ヲ散布シ之ヲ廣濶ニシ攀昇ニ容易ナラシム知ルベシ此教ニ從フハ天主ニ仕事シ魔鬼ニ伴隨スルモ大差ナキヲ

問 聖書ハ此ノ如キ恣慾ヲ悦バシムルヲ教ユルヤ

答 否決シテ教ヘズ豫言者シヨエル曰ク汝今禁食、號哭、悲哀ヲ以テ一心誠ヲ守リ我ニ歸スベシト(シヨエル二章十二節)洗者約翰ノ言ニ悔改ニ符合スル結果ヲ致セザレバ皆亡ビント(路加傳十三章三節)又悔改ニ符合スル結果ヲ致ササル者ニ就テ曰ハク禍ナルカナコロザイン禍ナルカナベツ

ザイド蓋シ爾ガ中ニ在リテ顯シタル所ノ奇特ヲチール又ハシイ  
ドニ於テ施セバ彼レ早ク麻ヲ衣トシ灰ヲ蒙リテ悔改セシナラント(路加傳十章十三節)又耶穌基督ハ我が門徒トナルヲ欲セバ十字架ヲ負フテ其跡ヲ從フベシト曰ヘリ聖保錄ノ言ニ我レハ乃ハ己ノ軀ニ克テ而シテ之ヲシテ服セシムト(コラインチイヤンニ達スル書九章二十七節)又曰ク我等若シ肉ニ從ツテ生テ度レハ必ズ死ナン唯々若シ聖靈及責身ノ諸行ニ由ルハ必ズ生ント(羅馬人ニ達スル書八章十三節)是ニ由テ之ヲ觀レバ耶穌基督ガ全ク我等ノ罪科ヲ贖フタリト託言シテ十字架責身苦痛悔改ノ所爲ヲ免レシムル教ヲ如何ニ評シテ可ナランヤ

問 教會ノ一點ニ於テハ「プロテスタント」徒ハ如何ニ教ユルヤ

答 彼徒ハ教會ヲ以テ邪惡ナル迷道ニ陥リ福音敎旨ノ清潔ナルヲ



汚穢ニセリト教ニ

問 此教旨ハ明カニ聖書ノ旨ニ背反スルモノニアラズヤ

答 然リ背反スルモノナリ福音ニ教會ハ迷道ニ陷ル能ハザルテイフ  
今其言ヲ掲ゲンニ我レ我ガ會ヲ此磐上ニ建ツ地獄ノ門ハ之ニ勝ツ  
能ハズト(馬太傳十六章十八節)依テ知ル教會ハ則チ是レ權カヲ以テ  
之ヲ保持シ給フ基督ガ建テラシモノナリ基督ノ言ニ教會ニ聽サ  
ル者ハ之ヲ異邦人ト稅吏ト(マタリカ)ノ如ク視做シテ可ナリト(馬太傳十八章  
十七節)又其門徒ノ相續者ヲ指シテ曰ハク我レ世ノ末ニ至ル迄常ニ  
汝等ト共ニ在ルベシト(馬太傳十八章二十節)而シテ聖保祿ハ教會ヲ  
名ツケテ眞理ノ柱基ナリト云ヘリ(チモテニ達スル前書三章十五節)

問 教會ニ就テ「プロテスタン」徒ハ尙ホ教ユル所アリヤ

答 之アリ彼徒ハ曰ク教會ハ凡ソ一千年間糺糊タル雲霧ノ中ニ在リ

シト又曰ク其中各其信スル所ヲ密ニ守ルモ公然之ヲ口外ニ發スル  
能ハザル怯懦ノ者等ハ斷ヘザリシト

問 此ノ如ク畏懼怯懦ノ者等ハ耶穌基督ノ會トスルヲ得ルヤ

答 否基督ノ教會ニアラズ何ントナレバ基督ノ民ハ管ニ心ニ信ズル  
ノミナラズ尙公然口舌ヲ以テ其教ヲ奉ズレバナリ聖保祿ノ言ニ人  
ハ心信ヲ以テ義ヲ稱シ口認ヲ以テ救ヲ得ルト(羅馬人ニ達スル書十  
章十節)アリ

問 基督ハ教會ヲ以テ何物ニ比スルヤ

答 之ヲ衆人望テ隱藏スル能ハザル山上ノ邑ニ比ス(馬太傳五章十四  
節)

問 救世主ガ彼レ之ヲ聞カザレバ之ヲ會ニ告グヨト曰ヒシ言ノ眞理  
ハ如何



答 教會ハ毎ニ望テ明カニ見ヘザルコトナシトノ意ナリ若シ「プロテスタント」徒ノ言ノ如ク千年間教會ガ糺糊タル雲霧ノ中ニ在リシモノトセバ其間此聖言ハ行ハレザリシモノナラン又果シテ教會ハ明カニ見ヘザリシモノトセバ誰人モ告ゲント欲スルコト其教會ニ告グル能ハザルヤ贅言ヲ要セザルナリ

第八項

聖書ニ對スル「プロテスタント」徒ノ異說ヲ論ズ

問 「プロテスタント」徒ハ聖書ニ就テ何ヲ教ユルヤ

答 聖書ハ固ヨリ明瞭ナル文意ナレバ如何ニ無學ノ徒ト雖モ容易ニ之ヲ解釋スルコトヲ得ルトイヘリ

問 聖「ペトロ」ノ言ハ此點ニ於テ「プロテスタント」徒ノ說ト符合スルヤ

答 否聖「ペトロ」ハ其後書第三章十六節ニ於テ聖保祿ノ書翰ノ中ニハ

明ニシ難キ點アリ而シテ不學ノ徒ハ拘泥シテ之レガ解釋ヲナシ自カテ敗亡ヲ取ルナリトイヘリ

問 「プロテスタント」徒ハ聖書ニ對シ尙他ニ至愚ナル說ヲ唱フルヤ

答 「プロテスタント」徒ハ其黨ニ聖書ハ總テ天主ノ聖言ヲ記シタル書ナレハ書中其明瞭ナル事項ノミヲ信シテ之ヲ行フベシト教ユ

問 其教ハ聖書ノ旨ニ適當スルヤ

答 其教ハ直接ニ聖保祿ノ言ニ背反スルモノナリ乃チ聖保祿ノ言ヲ掲グルニ我が兄弟ヨ宜シク堅立セヨ或ハ言ニ或ハ我儕ノ書ニ由リテ教ヲ受クル所ノ遺傳ヲ固守セヨト(テサロニシイヤンニ達スル後書二章十四節)

問 「プロテスタント」徒ハ聖跡ニ就テ何ヲ教ユルヤ

答 此問題ニ答フルハ難キニアラズ此ハ乃チ我が身ナリトノ聖言ニ



付テ「プロテスタン」徒ハ各自其説ヲ異ニス甲ハ基督ノ身ハ餅ノ内ニ  
アリトイヒ乙ハ餅ノ下ニアリトイヒ丙ハ餅ト共ニアリトイヒ丁ハ  
餅ト身トハ毫モ關係ナシ唯餅ヲ食スルト身ヲ受クトイヒ戊ハ基督  
ノ身ハ如何ナル考案テ下スモ現存スルモノニアラズ聖骸ハ唯簡單  
ナル紀念ナリトイフ

問 「プロテスタン」徒ガ主旨ハ此論ニ於テ聖書ニ適當スルヤ

答 否其教ハ尤モ聖書ニ背反スルモノナリ蓋基督ハ此ハ乃チ我身ナ  
リトイヒ給シモ此レハ乃チ我身ニアラズトハイヒ給ハザルナリ

問 聖書中聖骸ノ現在スルコトヲ証明スル條項アリヤ

答 此條項ハ十四箇ノ明文アリ即チ馬太傳二十六章二十六節二十八  
節馬可傳十四章二十二節二十四節路加傳二十二章十九節二十節哥  
林多人ニ達スル前書十一章二十四節二十五節約翰六章五十節五十

二節五十四節哥林多人ニ達スル前書十章十六節同十一章二十七節  
二十九節等ニ就テ参照スベシ

問 聖書中ニ聖骸ハ單ニ餅ト酒トニ過キズトノ文意アリヤ

答 否此點ニ於ケル「プロテスタン」徒ノ教ハ眞ニ聖書ニ背反スルモノ  
ナリ

問 「プロテスタン」徒ハ告解ニ對シ如何ニ論ズルヤ

答 彼徒ノ説ニ告解ハ聖書ニ背反セル教皇黨公教ヲ奉ズル者ヲ指ス  
ノ所爲ナリトイヘリ

問 然ラバ告解ハ眞ニ聖書ノ旨ニ背反スルヤ

答 否聖雅各ノ言ニ爾宜シク彼此自カラ過チテ相認ムベシト(五章十  
六節)初代ノ奉教人ハ宗徒ノ指揮ヲ受ケ告解ヲ行ヘリ宗徒行傳ニ曰  
ク信シタル者ノ中多ク來テ其罪ヲ告白シ其行フタル所ヲ自訴セリ



ト(行傳十九章十八節)

又民數紀五章六七八節及レウイト十二章十五節馬太傳三章五六節  
ヲ參觀スベシ

問 何故ニ其罪ヲ訴フルヤ

答 人罪ヲ犯シ基督ノ設定シタル法度ニ從ヒ其罪ヲ悔改スルキハ眞  
實正當ナル使命ヲ受ケタル聖會ノ祭司ヨリ其赦宥ヲ得ルガタメナ  
リ

問 聖書中此ノ如キ權利ヲ祭司ニ授與スル文意アリヤ

答 最モ明瞭ナル文意アリ基督ハ其親カラ撰定シタル牧師ニ謂テ曰  
ク父我レヲ遣スガ如ク我亦爾ヲ遣スト(約翰傳二十章二十一節)又曰  
ク爾ガ我ヲ遣シテ世ニ入ラシムルガ如ク我亦彼等ヲ遣シテ世ニ入  
ラシムト(約翰傳十七章十八節)夫レ基督ハ罪ヲ釋スノ權ヲ以テ世ニ

遣ハサレ其教會初代ノ牧師ニ同一ノ權ヲ授與シ給ヒシノミナラズ  
尙罪ヲ定ムルノ權ヲモ授與シ給ヘリ其明言ヲ掲グルニ凡ソ爾曹ガ  
其罪ヲ釋ス所ノ者ハ則チ之ヲ釋シ爾曹ガ其罪ヲ定ムル所ノ者則チ  
之ヲ定ムト(約翰傳二十章二十三節)又曰ク爾ガ地ニ繫ク所ノモノ亦  
天ニ繫ガレ爾ガ地ニ釋ス所ノモノ亦天ニ釋サルト(馬太傳十六章十  
九節)トアルヲ見ルベシ

問 アロテスタン徒ガ他ノ秘跡ニ於ケル教旨モ亦聖書ニ背反スルヤ

答 聖書中秘跡ヲ論ズル條項ヲ讀ムキハ「アロテスタン徒ガ聖書ノ旨  
ニ背反スル事ヲ教ユルヲ知ルニ足ル彼徒ガ口ヲ開ケバ乃ハチ聖書  
聖書ト唱フルハ單ニ不學ノ徒ヲ眩惑シ思慮ナキ者ヲ詐欺スルノ狡  
獪術ナリ

問 尙他ニ「アロテスタン徒ガ聖書ノ主旨ニ從ハザル証跡アリヤ



答 其証跡夥多ニシテ屈指スルニ暇アラザルヲ以テ今其大概ヲ舉グ  
ンハ彼徒ハ聖書中明瞭ナル條項ヲ放棄シ徒ラニ聖書ヲ取リ幾回カ  
披開スルモ發見セザル事項ヲ架空シテ妄信ズルノミ

問 請フ其例ノ一二ヲ聞カン

答 若シ聖書ヲシテ其單一ナル規程トセバ基督ノ命令ニ從ツテ彼此  
相互ニ其足ヲ洗ハザルヲ得ズ(約翰傳十三章十四節)又彼徒が秘跡ト  
名クル所ノモノヲ晚餐後ニ受領シテ朝ニ受領スベキモノニアラズ  
何ントナレバ基督ハ此ノ秘跡ヲ夕ニ創設シテ宗徒ハ之ヲ晚餐後ニ  
受ケタルヲ以テナリ又々勒死シタル肉血ヲ食スベカラズ何ントナ  
レバ宗徒行傳ニ於テ之ヲ禁ズレバナリ又小兒ニ洗ヲ授クベカラズ  
何ントナレバ聖書中之ヲ証明スル條項ヲケレバナリ

問 前數項ノ論ヲ足下ハ如何ニ判定セラレハヤ

答 「プロテスタント」徒ハ自カラ稱シテ福音ニ適スル宗教ナリトイフモ  
余ハ之ヲ福音ニ反スル宗教ナリト名ヅク何ントナレバ其教旨ハ福  
音ニ適當セズシテ全ク背反スルヲ以テナリ

第六章 眞誠ナル信ノ規程

第一項

信ノ規程ノ性質ヲ論ズ

問 公教人が守ル所ノ信ノ規程ハ如何ナル性質ヲ有スルヤ

答 公教人ノ信ノ規程ハ公ニシテ確實ナリ明カニシテ容易ナリ

問 何ヲ以テ之ヲ公ニイフヤ

答 有學者無學者ヲ問ハズ一般ノ人ニ適切ナルヲ以テナリ有學者ニ  
ハ其疑ヲ去ラシメ無學者ニハ其智識ノ及バザル困難ノ點ニ對シテ  
無益ノ勞ヲ減除セシムレバナリ



問 何キ以テ之ヲ確實ト明言ナルモノトイフヤ

答 余ガ之ヲ確實ト明言スルハ蓋天主ニ撰定サレタル人々ガ聖神ノ意ニ叶合シテ下セル真理ノ解釋ナレバナリ况ンヤ天主ハ欺クモノニアラズ又欺カル、モノニアラザルニ於テオヤ

問 何キ以テ明瞭ナルモノトイフカ

答 天主ノ聖言ヲ一々明瞭ニ指示シテ了解セシムルヲ以テナリ

問 公教人ノ信ノ規程ノ特別ナル功德ハ如何

答 先ツ総テノ疑念ヲ除去シ次ニ異論アル點ヲ一々明瞭ニ了解セシメ又單一ヲ保有スルニ在リ恰モ賢明ナル裁判官ガ確實ナル裁斷ヲ宣告シタルハ後ハ再タヒ疑問ヲ懷キ若シクハ異論ヲ唱フルコト能ハザルガ如キナリ

問 宗教ニ對スル異論ノ點ニ於テ私擅ニ解釋ヲ付シ聖書ガ之ヲ教ユ

ルト妄信スルモノヲ足下ハ如何ニ思考セラル、ヤ

答 此輩ハ世ノ人十中八九ハ行ヒ難キ信ノ規程ヲ信用スルモノナリ然ルニ異論ノ點ヲ聖書ニ基ヒテ裁定スルニハ先ツ聖書中其異論ノ點ニ適當スルヤ若クハ背反スルヤノ條項ヲ知ラザルベカラズ次ニ其條項ヲ一々審査比較シ明ラカナル點ヲ以テ暗キ點ニ對照シテ其條項ノ真理ニ就キ確心ヲ要スルニ在リト雖モ斯ノ如キハ世ノ人十中八九ハ爲シ得ザル所ナリ

問 學者ハ此審査上ニ於テ不學ノ徒ニ力ヲ添ヘテ之ヲ教示スルコトヲ得ルニアラズヤ

答 是ハ乃ハチ實ニ迷道ノ本源ト謂フベシ何トナレバ聖會ノ決定及ビ教皇ヲ棟梁トナス教會ノ尤モ有識ナル牧師即チ宗教上ノ疑問ヲ教外人ニ對シ明カニ裁定スルヲ得ル人々ノ裁定ヲ乞ハズシテ自己



ノ管見ヲ以テ妄リニ之ヲ審査シ其眞理ヲ明示スル能ハザル教外人  
若クバカルワイン徒或ハリユテール徒ノ教士ノ裁定ヲ乞フハ恰モ  
群盲ガ器ヲ品スルニ等シキ所爲ナレバナリ

第二項

遺傳ヲ論ズ

問 公教人ハ遺傳ニ依ルヲ猶聖書ニ依ルガ如クナルヤ

答 然リ耶穌基督及ビ其宗徒ガイヒタルヲハ其書シタルト同一ニ  
眞心之ヲ信ズルナリ聖書ニ記載セザル數多ノ眞理ヲ遺傳ニ依テ之  
ヲ授クルハ尤トモ確實ナルヲニシテ奉教人ガ常ニ此眞理ヲ信ズル  
ヲハ確實ナルヲ以テ公教人ハ之ヲ眞誠且至聖ナルモノト信奉ス

問 聖書中此遺傳ヲ信ズルヲ明許スルノ文意アリヤ

答 之アリ聖保錄テサロニシイヤン人ニ達スルノ後書第二章十四節

ニ曰ク汝等或ハ言ニ或ハ我等ノ書ニ因テ教ヲ受クル所ノ遺傳ヲ固  
ク守レト又コラインチイヤン人ニ曰ク汝等ハ墨ヲ以テヒズ活神ノ  
靈ヲ以テ書シタル基督ノ書タリト(哥林多人ニ達スル後書第三章三  
節)活神ノ靈ヲ以テ心ニ書シタル基督ノ書ト名ヅクルモノハ則チ書  
シタル言ト等シク眞誠ナル遺傳ト見做スベキ文意ナリ

問 然ラバ聖書ニ遺傳ヲ信ズルヲ明許スルノ証跡アリヤ

答 之アリ聖保錄ノ言ニ汝等我等ヨリ受ケタル遺傳ヲ守ラザル不正  
ノ兄弟ヲ遠ケヨ(テサロニシイヤン人ニ達スル後書三章六節)又曰ク  
汝チ我ニ聞ク所ノ正言ノ楷模ヲ守レ(提摩太後書一章三節)又曰ク汝  
等我儕ヨリ聞タル所ノ神ノ言ヲ受タルトハ之ヲ人ノ言トセズ乃チ  
神ノ言トセヨト(テサロニシイヤン前書二章十三節)

問 眞誠ナル遺傳ト眞誠ナラザル遺傳トチ如何ニ區別スルヤ



答 之ヲ區別スルハ猶真誠ナル聖書ヲ以テ真誠ナラザル聖書ト對照  
 辨別スルガ如シ到底一致且ツ公正ナル証據ニ依ラザルベカラズ思  
 フニ足下モ亦聖書ハ常ニ基督教徒タル國民ガ信奉スル所ナルヲ以  
 テ天主ノ聖言ナリト信ズルナラフ然レバ遺傳亦公會ニ依テ至聖  
 ト視認サレタルモノナレバ之ヲ以テ証據トシテ可ナリ我等ハ四種  
 ノ福音書ノ真誠且ツ至誠ナル真理ヲ確信ズルガ如ク一般ニ信奉ス  
 ル遺傳ノ真誠ナルヲモ確信セザルヲ得ズ

問 我救世主ガ汝聖書ヲ探索セヨ蓋シ其中永生ヲ得ルト思フヲ以テ  
 ナリト(約翰傳五章三十九節)曰ヒシ聖言ハ如何

答 救世主ハ聖書中確然永生ヲ得ルト曰マハズ抑此言ヲ發シ給ヒシ  
 時代ハ未ダ世ニ新約書ナクシテ舊約書ノミアリシヲ以テナリ故ニ  
 聖保錄曰ク凡テノ聖書ハ要川ニシテ救靈ニ係ハル事項ヲ知ラシム

ト(提摩太ニ達スル後書三章十六節)公教人ハ聖保錄ノ言ヲ以テ格言  
 トシテ敢テ放棄セザルモ此言ハ聖書ノミ總テ必用ナル事項ヲ知ラ  
 シムルトイフ意ニアラズ故ニ救世主ノ聖言ハ確然永生ヲ得ルトノ  
 意ニアラザルヲ知ルナリ

問 <sup>プロテスタン</sup>復法ニ我汝ニ謂フトコロノ詞ニ何等ヲモ加ハヘズ又何等ヲモ  
 削除セザルベシトアル言ニ對シ足下ハ如何説明セラル、ヤ

答 當時モイゼースノ法度ノ外他ニ書シタルモノナカリシ「プロテス  
 タン」徒ハ此法度ヲ以テ充分ナル信ノ規程ト見做スト稱スルナラシ  
 然レバ聖書ニ舊約書ノ殘餘ヲ加ヘタル豫言者及ビ新約書ニ加ヘタ  
 ル宗徒ヲ「プロテスタン」徒ハ如何ニ評スルヤ天主ハ其默示ヲ受ケタ  
 ル人ガ之ヲ加ヘタルヲ罰シ給ハズ只其默示ニ反對シタル事項ヲ  
 罰シ給フナリ蓋天主ハ人ノ創設ニ係ハル事項ト雖モ善良ナル事項



ハ之ヲ罰シ給ハズ「バラリボメーヌ」第二書ニ曰ク(三十章二十一節)「イ  
ヅラエール」ノ民ハ法度ニ基キ七日間除酵餅節ノ祭ヲ施行シタル後  
衆議ニヨリ尙ホ七日間之ヲ施行セリト是ハ則チ人ノ創設ニ係ルモ  
其願意ハ至聖ナル天國ニ達シタルナリ耶穌基督モ自ラマカベ一第  
一章ニ記載アル<sup>テザカス</sup>開堂式ヲ施行シ給ヘリ(約翰傳十章二十二節)然ルニ  
「プロテスタン」徒ハマカベ一ノ書ヲ聖書中ニ編入セズ

問 聖約翰ハ聖書中最終ノ書ナル其黙示録ノ終ニ於テ若シ此事ニ加  
フルモノアラバ神將ニ此書ニ錄スル所ノ諸當ヲ以テ彼ニ加ント(二  
十二章十八節)イヒシハ如何

答 黙示録ハ聖書中最終ニ位セルモ其最終ニ書シタルモノニアラズ  
蓋聖約翰ハ<sup>バツモース</sup>嶋ニ在リシキ黙示録ヲ編成シ該嶋ヲ去リ二  
三ヶ年ヲ經テ其福音書ヲ著述セリ「プロテスタン」徒ガ聖約翰ノ言ニ

付スル所ノ解釋ヲ以テ考フルキハ聖約翰ハ其身已ニ詛ヲ受ケタル  
モノ、如クナルモ余ハ決シテ其然ラザルヲ知ル何トナレバ聖約翰  
ハ誰人ニテモ其編成シタル書ニ増加若クハ削除シテ真理ヲ亂ス者  
ハ詛ヲ招クト之ヲ誡シメタルノミナレバナリ又聖約翰ハ其福音書  
ノ結尾ニ於テ我主ノ言ニシテ書セザルモノ尙ホ數多アリトイヘリ  
假令耶穌基督ノ言行ヲ書セザルモ之ヲ視之ヲ聽テ以テ之ヲ信シ人  
ニ教誨スルノ先覺者ニシテ豈ニ詛ヲ受クルノ理アラシヤ夫レテサ  
<sup>ニニシイヤン</sup>人ハ遺傳ヲ堅守シチモテハ正言ノ全軀ヲ受ケタリ而  
シテ我等亦等シク聖保祿ノ命ニ從ヒ天主ガ書スルヲ命シ給ヒ  
タル事項ニ加ヘシ遺傳ヲ信用スルヲ以テ彼ノ聖約翰ガイフ所ノ諸  
當ヲ受クベキモノナルヤ否蓋シ此文意ハ單ニ書シタル事項ノミチ  
信用スルニアリト云フガ如キハ「プロテスタン」ノ説ニシテ眞誠ナル



意ニ背反スルモノナリ

第三項

教會ノ變動セザルコト及豫言ノコトヲ論ズ

問 公教人が信奉スル信ノ規程ハ如何

答 公教人が信奉スル所ノ信ノ規程ハ教會ノ教父即チ耶穌基督ヨリ遺ハサレテ國民ヲ教ヘヨトノ命ヲ受ケタル牧師ガ解釋ニ係ル眞實ナル默示ノ聖書及正實神聖ノ遺傳ヲイフ此教父ガ集合ノ教皇ヲ其司サトナシタル教旨ニ於テ公教人ハ決シテ其誤謬ナキコトヲ信ズルナリ此基礎タル眞理ハ聖書中ニ明記アルヲ以テ公教人ハ其教父ノ教ニ從ヒ確心ヲ有ス故ニ教父ハ信徒ノ爲メニハ變動セザル信ノ規程ナリ然レドモ公教人ハ此教父等ガ自力ニ依テ變動セザルモノトイハズシテ天主ガ其信民ノ爲メニ之ヲ變動セザルモノトナシコトヲカテ之

ヲ教エ給フヲ以テ變動セザルトイフナリ

問 耶穌基督ガ自カラ教エ給フトノ確証ハ如何

答 イザヤ書中ニ其訓迪ヲ受ケテ其道ニ遵從スルナリト(イザヤ二章三節)ノ金言ニ依レバ耶穌基督ヲ教訓ノ指導者トナシ其信徒等ヲシテ救世主ノ道ヲ歩マシムル教會コソ變動セザルモノトイフベシ

問 イザヤハ尙他ニイフ所アリシヤ

答 然リイザヤノ言ニ耶穌基督ノ教會ニ敵シテ有罪ナル謀叛ヲ行フ可ラズ假令其謀ヲ成スモ教會ハ己レニ敵スル者ノ舌ヲ悉ク罰ストイヘリ是ニ由テ之ヲ觀レバ教會ハ其敵ヲ挫クヲ以テ變動サレザルモノニシテ其裁定ニ敵スル舌ヲ悉ク罰スルナリイザヤ又曰ク教會ニ從ハザル民若クハ國ハ死ナント(六十章十二節)然ルニ人民ヲシテ強イテ迷道ニ陷イレ其身ヲ亡サシムニ至ル教會ニ服從スルハ知ラ



ズ天理ノ許ス所ナルヤ否ヤ

問 エゼシイエールノ書中尙確乎タル証據アリヤ

答 アリ其書中ニ曰ク彼等ハ(祭司ヲ指ス)我が民ニ聖ト不聖ト潔ト不潔トノ區別ヲ教ヘ訟事アラバ之ガ審査ヲナシ我が法度ニ因リテ裁定スベシト(四十四章二十三節)是ニ由テ之ヲ觀レバ祭司ノ裁定ハ天主ノ裁定ト符合スルヲ以テ變動セザルモノナリ

問 詩第三百三十一篇十三章ニ如何ナル言アリヤ

答 詩篇ニ曰ク主ハシイヨシヲ撰ミ以テ其住トナセリシイナンハ常ニ我が安息ノ所タリ我之ヲ撰ヒタルヲ以テ之ニ住スベシト又聖保祿ノ言ニ依レバ耶穌基督ノ住ハ其教會ナリ(テモテ前書三章十五節)依テ知ル耶穌基督ノ教會ハ潔白ナルモノニシテ迷誤ナキヲ若シ教會ヲシテ欺罔ノ母タラシメバ天主ハ其住宅ノ爲メ撰定シ給ハザリ

シヤ明カナリ

問 請フイザヤノ言ヲ舉ゲテ余ニ示セ

答 イザヤノ言ニ主其教會ニ曰マハク汝恐ル勿レ汝凌辱ヲ受ケズ愧チズ忤チズ榮譽ヲ毀損セラル所ナシト(イザヤ五十四章四節)若シプロアスタノ徒ガ言フ如ク教會ハ異端ニ陥リシトセバ即チ凌辱ヲ受ケタルモノナリ豈天主ガ凌辱ヲ受ケズトイハンヤ余ハ則チ之ヲ信ゼズ

問 イザヤハ基督教會ノ變動セザルコトニ對シ尙一層確乎タル証據ヲ舉ゲシヤ

答 然其言ニ天主ハ我レ汝ヲシテ煌耀タル榮福ヲ與ヘ歴世替ラザラシメント曰マヘリトアリ然ルニプロテスタント徒ハ教會ヲ以テ迷道ニ陥タリトス果シテ然ラハ豈天主ガ歴世替ラザル榮福ヲ與ヘ給フ



ノ理アラシヤイザヤ又曰ク汝ノ城壁ヲ福趾ト稱シ主ハ汝等ノ永光ナリ汝ノ日ハ下墜セズ汝ノ月ハ晦暝ナラズト而シテ彼等ハ以テ異端ノ教會ナリトス果シテ然ラハ豈城壁ヲ福趾ト稱シ天主ヲ其永光トナシ其日ハ下墜セズ其月ハ晦暝ナラズト云フヲ得ンヤ此文意ニ依テ見ルキハ教會ハ永續シ潔白ニシテ變動セザルモノナリ若シ然ラズトセバ天主ハ一欺罔者ニ過ギザルナリイザヤハ其書六十二章三節ニ於テ教會ヲ稱シテ榮福ノ花冠天主ノ喜樂トイヒ又同章十二節ニ探ムル所ノ都府遺棄サレザル都府トイヘリ此ノ如ク明瞭ナル証言アリト雖モ「プロテスタン」徒ハ尙ホ且教會ハ異端ノ迷道ニ陥リタリトスルカ

問 エゼシイエールハ其書第三十四章二十二節ニ於テ何チイヒシヤ  
答 其書ニ曰ク我レ必ズ我ガ群羊ヲ救ヒ以來苛虐ニ遭ハシメズト然

ルニ「プロテスタン」徒ノ説ノ如ク群羊ヲ教ユル教會ハ一千年以來迷道ニ陥リ異端ニ沈溺セシモノトセバ豈ニ群羊ハ救テ得ルノ理アラシヤ故ニ知ル天主ガ群羊ヲ苛虐ニ遭ハシメズ救ヒ給フ所ノ教會ハ確乎トシテ變動セザルモノナルナ

問 此變動セザル事項ハイザヤ書中ニ於テ明示アリヤ  
答 之アリイザヤノ書ニ主曰ク我ハ彼等ガ牧師ヲ指スノ意誠道ニ於

テ爲ス所ヲ指導シ彼等ト此ノ屈撓セザル誠道ヲ保有スル爲メ「永約」ヲナスベシト其レ此ノ如ク徹頭徹尾聖會ノ動カザル明証ハ之ニ過ルモノアラザルベシ且イザヤハ其書三十五章五節及ヒ八節ニ於テ基督ガ建ツル所ノ教會ノ世ニ至テハ盲者ノ眼開ケ公ケナル道生出ス此道ヲ至聖ノ道ト稱スベシト若シ教會ヲ迷道異端ナルモノトセバ如何デ之ヲ至聖ノ道ト稱シ盲者ハ歩ヲ迷フヲナシトイフヲ得ン



問 イザヤノ書中(第五十九章二十節二十一節)尙明瞭確然タル文意アリヤ

答 之アリ則チ天主ハ其教會ヲ給テノ疑問ヨリ除去シ動カザルモノトスル永約ヲ該教會ト結び給ヒシヲ掲グルノ文意ナリ其文ニ曰ク救世主シイオンニ降臨シテシヤコフ家ノ舊惡ヲ去ル者ヲ救ハン我レ斯ノ人ト約ヲ立ツルニ汝ニ賦スル所ノ我レノ神汝ガ口ニ傳フル所ノ我レノ言ハ汝及ビ汝ガ子孫ト歷世替ハラズ永世<sup>カクシ</sup>置カザルベシト夫レ口ニ天主ノ言テ有シ天主ノ神ヲ指導者トナシ天主ガ常ニ共ニ在ルベシト曰ヒシ教會ハ決シテ迷フモノニアラズ

問 セレミヤノ書中第三十二章三十九節ニ天主ガ基督教會ニ付キ我ハ彼等ヲシテ常ニ我ヲ恐敬セシムル爲メ同一ノ心ヲ與ヘ同一ノ道

ニ歩マシム我ハ彼等ノ心中ニ我ヲ恐敬セシメ而シテ我レヨリ遠サカラシムベシトアル言ヲ足下ハ如何ニ論ゼラル、ヤ

答 耶穌基督ノ教會ハ三四百年間繼續セシ後迷道ニ陥リシトイフプロテスタン徒ノ説ノ如キハ實ニ論ズルニ足ラザル架空ナリ何ントナレバエゼシイエールノ書ニモ言ヘルガ如ク教會ハ常モ天主ヲ恐敬シ遠サカラザルモノナンバナリ又エゼシイエール三十七章二十四節及二十六節ニ天主ノ言アリ曰ク彼レ我ガ法度ニ遵ヒ我ガ禮儀ヲ守リ我レ彼レト平康ノ約ヲ立テ永世之ヲ廢ヒズ我ガ聖所ヲ彼ノ中ニ置カント故ニ余ガ善良ナルプロテスタン徒ニ問ハント欲スル事項ハ即チ異端ニ陥リタル教會ハ天主ノ法度禮儀ヲ守ルヲ得ルヤ天主ハ異端ニ陥リタル教會ト永世ノ約ヲ立テ給フヤ天主ハ其聖所ヲ異端ノ迷道ニ沈溺セル教會ノ中ニ置給フト思フヲ得ルヤノ數



語アリ

第四項

教會ノ變動セザルヲ及福音書ヲ論ズ

問 新約書中教會ノ變動セザルヲ証スル文意アリヤ

答 數多アリ

問 然ラハ馬太傳十八章十七節ニ教會ニ聽カザル者ハ之ヲ視ル異邦人ト稅吏トノ如クセヨトアル文意ハ如何

答 此點ニ於テ尤モ注意スベキ事項アリ誠チ教ニ之ガ信ニ依テ人ニ救ヲ得セシムル爲メ降臨シ給ヒシ善良ナル天主ノ創建ニ係ル教會ヲ以テ欺罔スルモノトセバ焉ンゾ斯ノ如キ命令ヲ下シ給フノ理アラシヤ假リニ教會ハ欺罔スルモノトシテ論ズルモ天主ガ斯ノ如キ言ヲ發シ給ヒシハ恰モ救ノ道ナカラシムル爲メ此ノ迷道ヲ信ゼヨ

否ラザレバ異邦人タリ稅吏<sup>フエアリカン</sup>タリトイフニ似タリ此等ノ妄言ヲ以テ罵詈蔑聖トセザレバ他ニ罵詈蔑聖ノ言ハアラザルベシ且プロテスタント徒ガ聖會ノ教父ハ動カザルモノニアラズトナスハ是レ耶穌基督ハ其信民ニ迷道ヲ信ゼヨト教ニ給ヒシトイフモノ、如シ蓋シ彼徒ノ說ノ如クナラシメバ教會ハ耶穌基督ガ世ヲ去リ給ヒシ後幾許モナク迷道ニ陥リ迷道ヲ教ヘタリトセザルヲ得ザレバナリ

問 馬太傳十八章十八節ニ耶穌基督ガ其教會ノ牧師ニ對シ爾ガ地ニ繫ク所ハ亦天ニ繫ガレ爾ガ地ニ釋ク所ハ亦天ニ釋カルト曰ヒシ言ハ如何

答 牧師ガ或ハ繫ギ或ハ釋ク所ニ於テ迷誤アリトセバ耶穌基督ハ之ヲ審判スルノ約ヲナシ給ヒシナラン然ルニ牧師其繫ク所其釋ク所ニオイテ迷誤セザルヲ以テ耶穌基督ハ此約ヲナシタマハザリシナ



リ余ハ斷シテ言フ教會ハ迷道ヲ教ユルモノニアラズ又變動スベキモノニアラザルナリト

問 足下ハ此ノ文意上牧師ハ各其教ユル所ニ於テ迷誤スルモノニアラズトスルカ又各自ノ論ニ於テ如何ナル罪モ如何ナル迷誤ヲモナサマルモノト假想スルヤ

答 理學上ニ付テ之ヲ論ゼンニ教會ノ司教ハ各自地上ノ東西南北ニ散居シ一回モ相會シテ宗教ヲ討論ズルヲ得ザルハ言ヲ待タザル所ニシテ相識ル者甚ダ稀少ナリ然レモ現今ニ至ル迄教旨ニ於テ敢テ異說ヲ唱ヘズ各所ニ在リテ各同一ノ教ヲ布ケリ是ニ由テ之ヲ觀レバ其一致シテ同教ヲ布クハ是レ現ニ其教ノ誠確ナルヲ知ルベシ然レモ余ハ今此等ノ事項ヲ論ズルニアラズ唯教會ノ教父ハ天主ヨリ迷誤セザルモノト見ナサレタルヲ以テ迷誤スル者ニアラザルコ

トヲ論ズルノミ

問 宗徒及初代ノ奉教信徒ハ教會ノ教ユル所ヲ以テ變動セザルモノトナセシヤ否ヤ

答 宗徒行傳ニ保錄ハバルナベ其他ノ者トセリユザレームニ至リ宗徒ヲシテ異說アル論ヲ裁定セシメタリトアリ宗徒等ハ久シク其點ヲ論究シ教會ノ教父トシテ之ガ裁定ヲ下セシモ聖書ニ因ルニアラズ其裁定ハ聖神ノ裁定ナリトナセリ行傳十五章二十八節ニ曰ク聖神ト我儕ト意ヲ決スト而シテ信徒等ハ變動セザル天主ノ命令ノ如ク尊信シテ之ニ服從セリ

問 保錄ガラトト人ニ達スル書二章一節ニ依テ考フルルハ(二章一節)初代ノ信徒ハ唯一ニ教會ノ教ユル所ヲ信用シタルヲハ分明ナラズヤ



答 然リ其書中ニ聖保録ハ十四年間布教セシ後チゼリユザレームニ到リ先キニ己レガ異教人ニ布キタル福音ヲ宗徒等ニ示メセリトアリ依テ知ル聖保録ハ單ニ聖書ノミヲ以テ信ノ規程トナサズシテ其光耀ハ變動セザル教會ヨリ得タルモノナルヲチ

問 聖保録ガ其エフエシイヤン人ニ達スル書中(第四章十一節ヨリ十三節ニ至ル)ニ其賜フ所ノモノ宗徒アリ預言者アリ福音ヲ傳フル者アリ牧師アリ訓蒙者アリ聖徒ヲシテ備ハルヲ得シメ以テ服役ノ事ヲ行ヒ以テ基督ノ體ヲ建テ我が衆ヲ以テ一信ヲ共ニスルニ迫ルトアルハ是レ教會ガ其教旨ニ於テ迷誤ストイフ論ヲ擬議スルニ適切ナル文意ナラズヤ如何

答 然此文意ニ依レバ聖人ヲシテ全徳ヲ修メシメ基督ノ體ヲ建ツルモノハ聖書ニアラズシテ生存セル訓蒙者ニ在リ而シテ此訓蒙者ハ

實ニ其教ユル所ニ於テハ迷誤セザルモノトナサザルヲ得ズ否ラザレバ聖人ヲシテ全徳ヲ修メシメ基督ノ體ヲ建ツルヲ能ハザルベシ  
問 足下ハ聖馬太傳十六章十八節ニ地獄ノ門ハ教會ニ勝ツ能ハズトアルヲ如何ニ論ズルヤ

答 此文意ニ於テ耶穌基督ハ身ヲ工匠ニ譬ヘ給ヒ我ハ此磐石ノ上ニ我が會ヲ建ツトアルヲ見レバ教會ハ磐石ノ上ニ建設シタルモノニシテ地獄ハ如何ニ其權威ヲ振伸スルモ之ニ勝ツ能ハザルヲ知ルベシ誰ガ斯クノ如キ精巧ナル工匠カ確平タル基礎ニ建設且立約シタル教會ハ變動シテ迷道ニ陥リシトイフモノアラシヤ若シ變動シテ迷道ニ陥リシトセバ耶穌基督ハ其約ニ違フ所ノ無權者トイハザルヲ得ザルナリ

問 馬太傳二十八章十八節ヨリ二十節ニ至ルノ文中天ニ在リ地ニ在



ルノ諸權ハ已ニ悉ク我レニ予ヘラル爾在テ萬民ヲ招キ徒トナシ之  
ニ我ガ爾ニ命スル所ノモノヲ守ラシメヨ祝ヨ我ハ爾ガ曹ト常ニ偕  
ニ在リテ世ノ末ニ至ルベシトアリ是ハ爾ヲ教會ノ變動セザルヲ  
明示スル確證ナリヤ

答 此文ニ於テ耶穌基督ガ其宗徒ヲシテ世ノ末迄萬民ヲ教エシメ給  
フトアルハ蓋シ死スベキ肉身ヲ有スル僅々タル十二人ノ門徒ヲシ  
テ世ノ末迄萬民ヲ教エシムトノ意ニアラズ已ニ當初ノ宗徒ヲ遣シ  
又其相續者等ヲモ遣シ給フトノ意ナリ何ントナレバ我主ハ單ニ宗  
徒等ガ生存セル頃ノ人々ノ爲メノミニ變動セザル布教者ヲ設ケン  
トノ主旨ヲ以テ降臨シ給ヒタルニアラザレバナリ且天ニ在リ地ニ  
在ルノ諸權ヲ有スト曰マヒシヲ見レハ其宗徒ヲシテ迷誤セザラシ  
ムルハ論ヲ埃ズ况ンヤ眞理ノ天主ナル我主ガ豈ニ其宗徒ヲシテ迷

道ヲ萬民ニ教エシムルノ理アラソヤ又我主ガ常ニ爾ガ曹ト偕ニ在  
リト曰マヒシハ其宗徒ヲシテ些少ノ迷誤ダモ教エシメザルヲメ偕  
ニ在リトノ意ナルヤ敢テ疑ヲ容レザル所ナリ蓋耶穌基督ハ其身眞  
理ナルヲ以テ迷道ノ存ズル所ノモノト偕ニ在ルヲ能ハズ故ニ其指  
導シ給フ所ノ教會ハ決シテ變動スベキモノニアラズ

問 聖保錄ハチモテニ達スル前書ニ於テ何チイヒシヤ

答 聖保錄ハ教會ヲ明見ナル教會ト名ヅケチモテ其教會ノ牧師ト  
ナス其言ニ活神ノ會ハ眞理ノ柱石タリトチモテ先書三章十五節斯  
ノ如キ明文ハ兩様ニ解釋スルヲ得ズ宗徒ガ活神ノ會ト明言シタル  
ヲ見レハ該會ハ迷道ヲ教ユルモノニアラズ又眞理ノ柱基ナリト明  
言シタルヲ見レバ異端迷道ヲ教ユルヲ得ザルヤ論ヲ待タズ

問 「プロテスタン」徒ヲシテ教會ハ聖書ノ著述以前ニ在テハ變動セザ



ルモノナリシモ其後聖書ハ之ニ代リ變動セザル信ノ規程トナレリ  
トイハシムルモ妨ケナキヤ

答 耶穌基督ハ暫時其教會ヲ變動セザルモノトナスト曰マハズシテ  
無始無終永世變動セザルモノナリト曰ヘリ又聖保錄モ教會ハ真理  
ノ柱石クラザル時ナシトイヘリ夫レ聖書中ノ真理ハ變動セザル信  
ノ源タルモ我等が見解ヨリ論ズレバ之ヲ變動セザルモノトナスベ  
カラズ蓋我等ガ眞誠ナル解釋ヲ下シ聖書ノ旨趣ニ背反セザレバ可  
ナリト雖モ自己ノ見解ヲ下スルハ迷誤多ク免レズ現ニプロテスタ  
ン徒ガ下ス所ノ解釋ヲ以テ其明瞭ナル證據トナスヲ得プロテスタ  
ン徒ノ一教士ウイテノ言ニ天主ノ聖言ハ自カラ單一ナル真理ヲ含  
有スルモ讀者ノ見解ヲ以テ論ズルキハ恰モ千様ノ絲ノ如シ何ント  
ナレバ聖書中ノ眞理ヲ悉ク探究セズ唯其意ニ適シ其心ヲ悦バシム

ル條項ノミヲ探究スルヲ以テ自己ノ謬解ニ沈溺スルヲ免レザルナ  
リ之ヲ略言スルニ聖書中各自其欲スル所ノミヲ誦讀スルヲ以テ各  
々自著ノ聖書ヲ有スルモノ、如シト故ニ聖書ハ我等ガ眞正ナル眞  
理ヲ了解スルコアラザレバ以テ變動セザル信ノ規程トナスコト得  
ズ之ヲ要スルニ變動迷誤セザル解釋ヲ下スヲ得ル所ノ審判者アラ  
ザレバ自己ノ解釋ニ於テ確然眞誠ナルモノナルヤ否ヲ知ル能ハザ  
ルナリ是ニ由テ之ヲ觀レバ變動セザル教會アリ以テ之ガ審判ヲ下  
ササルヲ得ザルナリ

問 新約書中足下ガ前ニ論述セラレタルノ外尙ホ教會ノ變動セザル  
コトヲ証スルノ文アリヤ

答 之アリ吾主ノ言ニ爾ニ聽ク者ハ我ニ聽キ爾ヲ拒ム者ハ我ヲ拒ム  
トアリ(路加傳十章十六節)是ハ則チ欺罔スル能ハザル耶穌基督ノ教



旨ヲ聽ク者ハ變動迷誤セザル教旨ヲ聽クトノ言ニシテ即チ牧師ガ  
 教ユル所ノ旨ハ變動迷誤セザル所ノ我主ノ教旨ナリ聖保錄モ此點  
 ニ於テ明言スルアリ其言ニ假令天使ト雖モ教會牧師ガ布ク所ノ教  
 ニ背反セル旨ヲ教ユルキハ之ヲ聽クベカラズトイヘリ(ガシタ人ニ  
 達スル書一章八節聖約翰傳十四章十六節及十六章十三節ニ尙一層  
 明瞭ナル言アリ曰ク吾主ノ言ニ吾レ將ニ父ニ求ムベシ而シテ彼レ  
 他ノ垂慰ノ聖神ヲ以テ爾ニ賜ヒ永ク爾ト偕ニ居ラシム即チ眞理ノ  
 聖神是ナリ彼レ爾ト偕ニ居ルヲ以テ爾チ之ヲ識ルベシ眞理ノ聖神  
 既ニ來ラバ彼必ズ爾チ導ヒテ眞理ニ入ラシメント是ニ由テ之ヲ觀  
 レバ教會ノ牧師ハ眞理ノ聖神ニ導カレ永ク眞理ノ教ヲ受クルヲ以  
 テ即チ變動迷誤セザル指導者ナリ

問 耶穌基督ハ宗徒ヲ名ヅケテ世ノ光リトナシ給ハザリシヤ

答 然リ耶穌基督ヨリ遣ハサレタル光ハ世ヲ照ラシ人ヲ迷暗ニ沈溺  
 セシムルモノニアラズ乃チ其宗徒及其眞誠ナル相續者ハ此光ナル  
 チ以テ決シテ世ノ人ヲシテ迷道ニ陥ラシメザルナリ  
 問 「プロテスタント」徒中初代ノ宗徒ハ變動迷誤セザルモノナルモ其相  
 續者ニ至テハ變動迷誤セザルヲ信ズル能ハズトイフモノアラバ  
 如何

答 若シ此說ノ如クナラシメバ耶穌基督ハ初代ノ奉教人ノ爲メニハ  
 宗徒ヲ以テ變動迷誤セザル布教者トナシ其後世ノ信徒ハ變動迷誤  
 セル人々ノ指導ニ放任シテ以テ不幸ヲ與フルモノト云ハザルヲ得  
 ス此ノ如キハ決シテ余ノ信ズル所ニアラザルナリ耶穌基督ハ初代  
 ノ信徒ヲ愛憐シ給ヒシ如ク我等ヲモ愛憐シ給ヒ初代ノ奉教人ヲシ  
 テ迷道ニ陥ラシメザルガ如ク尙我等ヲモ迷道ニ陥ラシメズ乃チ聖



保録ノ言ニ依テ其明確タルヲ示スベシ其エフニオイヤンニ達スル  
 書(五章二十三節以下)中ニ教會ヲ耶蘇基督ノ妻ニ比シ基督ハ教會ヲ  
 聖トナシテ之ヲ愛シ瑕ナク皺ナク清潔ナル者トストノ言アリ山ヲ  
 知ル其教會ハ迷誤スルコトナク眞ニ清潔ノ者ナルコト否ラザンバ基  
 督ハ之ヲ聖トナス能ハザルナリ若シ教會ヲシテ彼ノ徒ノ言ノ如ク  
 異端ニ陥リシモノトセバ基督ハ之ヲ愛スル能ハザルベシ教會ノ至  
 聖ナルハ此レ其變動迷誤セザルノ確証ナリ聖保録云ハズヤ牧師ハ  
 爾等ノ救ト不救トニ責任アルモノトシテ注意スルガユヘニ之ニ順  
 從セヨト夫レ天主ハ此ノ如キ牧師ガ若シ迷道ヲ我等ニ教ユルモノ  
 ト知り給ヘバ豈ニ我等ニ此ノ如キ牧師ニ順從スベシト命シ給フノ  
 理アラフヤ又聖保録ハ教會ノ牧師ニ爾等爾ガ群羊ニ意ヲ注ケヨ蓋  
 シ聖神ハ天主ノ教會ヲ指導セシムル爲メ爾等ヲ司教トシテ彼等ノ

中ニ在ラシメ給ヘバナリト聖神ハ豈ニアロテスタン徒ノ言ノ如ク  
 迷道異端ヲ教ユル牧師ヲシテ世人ヲ指導セシムルノ理アラフヤ  
 問 天主ヨリ人ニ授與シ給ヒシ信ノ規程ハ奉シ易ク守リ易キモノナ  
 ラズヤ

答 然天主ヨリ授與シ給ヒシ信ノ規程ハ有學不學ヲ論セズ一般人ノ  
 爲メナラザルヲ得ザレバナリ夫レ普天率土基督教會ノアル所ハ必  
 ズ牧師アリ何ントナレバ群羊ニ牧童ノ監視セザル牧場ナケレバナ  
 リ而シテ其牧師ノ教ユル所ハ人民ニ至便ニシテ其教ユル法ハ不學  
 者モ踏迷セザル大道ナリ然ルニ聖書ハ之ト異ナリ學識高尙ナル者  
 モ其解釋ニ於テハ一致セズ紀元千四百年代ニ至ル迄未ダ活版ノ發明  
 アラザル以前ニ在テ聖書ハ天下萬人ノタメ頗ル其不便ヲ感ゼシメ  
 タリキ現今ト雖モ尙ホ讀書ヲ知ラザル徒ノ爲メニハ信ノ規程トナ



ス能ハザルナリ

問 耶穌基督ノ教會ハ天下萬民ニ其教ヲ布ク爲メ此ノ如ク其レ公ナラザルベカラザルヤ

答 然リ聖約翰ハ其默示錄七章九節ニ於テイツラエール各支派ノ人員各壹萬二千口アルヲ數ヘタル後テ其餘勝テ數フベカラザル諸國諸族諸民ノ大衆ヲ觀ルトアリ詩二篇八章ニ天主其子ニ命ズルノ詞アリ曰ク爾デ我ニ求メヨ我レ萬民ヲ汝ニ賜フ并ニ地ノ四極ヲ以テ汝ガ得ル所トナサント同二十一篇二十八章ニ地上ノ萬民天主ヲ服膺シテ歸從スベシト又其七十一篇八章ニ其統轄東海ヨリ西海ニ至リ地上ノ諸王之ヲ拜シ萬民之ニ奉事セントアリ新約書中ニ於テ教會ハ明見セル光ノ如ク山上ノ邑ニ譬ヘタルノ語アリ而シテ耶穌基督ハ其宗徒ニ萬民ヲ教ユベキヲ命ズ是ニ由テ之ヲ見レバ教會ガ教

ユル所ハ恰モ教會ガ衆人ニ明見セル如ク明瞭ニシテ至便ナルモ聖書ニ至リテハ同一ニ論ズル能ハズ基督敎創起以來數百年間信徒ハ聖書ヲ有セザリシヲ以テ知ルベシ

第五項

教會ノ變動迷誤セザルヲ証スルガメ引徴シタル聖書ノ條項ハ眞實ノ確証ナルヤヲ論ズ

問 足下ガ教會ノ變動迷誤セザルヲ証スル爲メ聖書ヨリ引徴シタル條項ノ解釋ハ眞誠ニ似タリト雖モ足下ノ解釋ヲ以テ直ニ聖書ノ眞理ニ適合スルヤ否ニ至テハ知ル能ハズ足下以テ如何トナスヤ

答 此問ヤ實ニ善信アル人ノ問ニシテ余亦樂テ之ヲ告ゲンニ先ヅ其精神ヲ照ラス爲メ天主ニ祈願スルニ當リ世ニ降臨シテ十字架ニ磔セラレ給シ天主ノ聖恩至大ナルヲ觀念シテ以テ其聖寵ヲ請ヒ多年



ノ間其精神ヲ覆ヒタル雲霧ヲ散シ其當初ニ奉シタル偽教ヲ放棄シ  
我慢心ト利己心トヲ抑制シテ前ニ掲ゲシ聖書ノ文意ヲ玩味シ一心  
不亂ニ左ノ事項ヲ省察スベキヲ以テス

第一 凡ソ解釋ナルモノ書ノ文意ヨリモ一層明瞭深切ナラザル  
ベカラザルノ論ハ固ヨリ言ヲ跋ヲザル所ナリ前ニ掲クル文意  
ハ「プロテスタン」徒モ之ヲ明言スル如ク基督教會ニ關スル意ナ  
レバ假令異論ナキモノトスルモ余ハ重複ヲ厭ハズ再ビ之ヲ論  
セザルベカラズ此文意タル基督教會ニ於テハ我主親カラ教ヘ  
給ヒ我等ガ遵歩スル所ノ道ハ實ニ平坦ニシテ不學ノ徒ト雖モ  
顛躓スルコトナク且天主ハ決シテ其教會ニ向テ怒リヲ發セズ教  
會ノ基礎ハ盡善至義ノ正道ニアレバ其信徒ハ我主ガ自カラ教  
ヘ給フト云フ意ナリ然ルニ天主ヲ牧師トシ聖神ヲ指導者トシ

天主ノ聖詞ヲ口ニシ多年繼續スル所ノ教會ガ迷道ヲ教ヘ異端  
ニ陥ラザルコトヲ証スルノ確憑ハ余ガ明示シタル論ヨリ尙ホ一  
層明瞭ナル解釋アリトスルハ余ノ信ゼザル所ナリ  
又余ガ新約書中ヨリ引證シタル憑文ハ尙ホ一層正當ナリ曰ク我  
此磐石ニ我ガ教會ヲ建ツ地獄ノ門ハ之ニ勝ツ能ハズ曰ク我レ  
爾ガ曹ト借ニ常ニ在リテ世ノ末ニ至ル曰ク教會ハ真理ノ柱石  
ナリ曰ク我聖神ハ常ニ爾等ニ總テノ真理ヲ教ユベシト此等ノ  
聖言ニ依テ眞誠ナル解釋ヲ下スルハ實ニ明瞭且適當ニシテ見  
易キ理ナリ然ルヲ教會ハ變動迷誤セルモノナリトノ考案ヲ以  
テ下セル牽強附會ノ解釋ハ尤モ文意ノ真理ニ戻レルモノナリ  
第二 第一ニ掲ケシ解釋ノ眞誠ナルハ往昔ヨリ奉教ノ諸民ガ一  
致シテ之ヲ守ルヲ見テモ一個ノ証憑トナスニ足ル此証憑ハ變



動迷誤シ易キ一個人ノ解釋ノ比ニアラザルナリ何ントナレバ「プロテスタン」徒ノ信ノ規程ハ各自其欲スル所ノ迷眼ヲ以テ解釋ヲ付スルコアレバナリ夫レ一個人ノ智能ト謹慎ナル數人ノ智能トヲ比較スルキハ數人ノ智能ハ一個人ニ勝レルハ論ヲ竣タズ况ヤ基督ヲ宗トシタル數人ノ牧師ガ會合スル所ノ公教會ノ一般ニ信シテ往昔ヨリ今ニ至ルモ敢テ變セザル解釋ハ假令如何ナル學力アル者ト雖モ一個人ノ解釋ノ優ル所ニアラザルヤ明カナリ

第三 「プロテスタン」徒ノ解釋ハ眞誠ナラザルヲ以テ之ヲ放棄スベキヲ証明シタルキハ其解釋ヲ放棄シテ公教人ノ解釋ヲ採用セザルベカラズ何ントナレバ夫レ「プロテスタン」徒ハ各自解釋スルノ權ハ福音ノ許ス所ニ因ルモノ、如ク唱說スルモ其英

國及蘇國教會ニ於テ教旨ニ對シ迷誤ヲナス者ヲ其教會ヨリ放逐スルヲ見レハ其自解ヲ許スコト適合セズ其言ニ解釋ヲ下スノ權利ハ基督ヨリ來ルヲ以テ私擅ニ之ヲ亂用スル者ハ基督ニ對シテ責アリト然ルニ「プロテスタン」徒ノ教會ハ此權利ヲ亂用スルモノアルモ果シテ之ヲ亂用シタルヤ否ヤヲ審判スル能ハザルモノナリ此等ノ審判ヲナスコト能ハズシテ漫ニ公教會ハ審判スルノ權利ヲ有セズト斷言スルハ豈愚蒙ノ至リナラズヤ此ノ如ク「プロテスタン」徒ハ一方ニ於テ各自ノ解釋ヲ下スヲ公認シ一方ニ於テハ其解釋ヲ下ス者ヲ放逐シ之ヲ學問上ニ唱ヘテ之ヲ實行上ニ放棄セリ實ニ言行背馳スル虛偽ノ教旨ト言ハザルヲ得ズ其一例ヲ見ヨ英國教派ニ於テ施用スル所ノ三十九ヶ條ノ誓約アリナスノ教旨ヲ採用スルコト其教會ニ抵抗スル者ヲ排斥シ及其教



旨ニ合ハザル教士ヲ放逐スル等ノ事項ハ如何ニ之ヲ評スベキ  
即チ「プロテスタン」徒等ガ傲然唱説スル所ノ自由解釋ノ教旨ニ  
背反セルニアラズシテ何ゾヤ

第四 夫聖書ハ宗徒等ガ確認シ初代ノ奉教人等ガ固守スル所ノ  
解釋ヲ採用セザルベカラズ而シテ此解釋ハ私擅ニ教旨ノ真理ヲ  
審判シタルニアラズ布教ヲナス教會ノ審判ニ服セルモノナリ  
試ニ見ヨアンチイヨシユニ於テ割禮ニ就キパウロ及バルナベ  
ニ向ヒ異論會アリシキ信徒ハ其異論ヲ審判スルニ自己ノ見解  
ヲ以テセズ又各人ガ解釋ヲ付シタル聖書ヲモ用ヒズ特ニ使者  
ヲ撰定シパウロバルナベノ二宗徒ニ伴隨セシメザレ  
ムニ至リ教會ノ牧師タル宗徒等ニ就テ其審判ヲ請ハシメシニ  
牧師等ハ聖神ニ指導サレテ其裁定ヲ下セリ若シ聖書ヲ以テ單

一ナル信ノ規程トセバアンチイヨシユノ信徒ハ之ニ因ラザリ  
シヲ以テ罪アルモノトナサザルヲ得ズ又宗徒等モ他ノ方法ヲ  
以テ裁定ヲ下セシユ依リ有罪者トナサザルヲ得ザルナリ

第五 「プロテスタン」徒ガ公教會ハ當初五百年間正實眞誠ニシテ  
迷誤セズ清潔ナルモノナリト明言スルモ紀元三百年代已ニ彼  
ノアリグースナル者アリ耶穌基督ハ神聖ナラズト妄言セシキ  
ニ當リ公教會ハ紀元三百二十五年ヲ以テ總會議ヲ開キ數多ノ  
牧師集合シテ之ヲ審判シ始テ其說ヲ邪曲ナリト認メタルヲ見  
レバ各自私擅ニ解釋シタル聖書ニ依テ審判セザリシヲ知ルベ  
シ

第六 以上論述セシ事項ハ悉ク當初五百年間教會ノ教父等ガ採  
用シタル所ニシテ紀元二百年代ニ生存セシ聖イレネノ言ニ天



主ハ其教會ニ宗徒預言者訓蒙者ヲ設置セリ天主ノ神聖ナル恩惠是ニアリ各人眞理ヲ學得ルモ是ニアリト又曰ク人教會神父ノ援助ヲ得意ヲ注ヒテ聖書ヲ讀ムキハ明カニ之ヲ了解ス蓋シ宗徒ノ教旨ハ神父等ノ掌中ニアレバナリト紀元三百年代ニ生存セシオリゼーヌノ言ニ基督ノ教旨ヲ信奉スルト自認スル者ハ多シトイヘ其信奉スル所ハ一致符合セズ誰人ニテモ宗徒ヨリ傳來シ目下教會内ニアル所ノ教旨ヲ公ニ奉セザルベカラズ此道ヨリ來ル所ノ眞理ノ外他ニ眞理ハアラザルナリト紀元四百年代ニ生存セシ聖ヒレールハ基督ガ説教ノ爲メ乗タル船ハ生ノ道ヲ搭載セル教會ノ譬論ナリト言ヘリ又聖オグスチノハ紀元五百年代ニ於テイヘルアリ福音タリト雖モ教會ノ權力ヲ以テ余ニ確信ヲ有セシメザレバ余ハ之ヲ信ゼズ我が聖書ノ

權力ハ宗徒ノ繼續司教及會議ノ繼續ヲ以テ確信サレタルモノナリト

第六項

教會ハ變動迷誤セザルヲ及智識ヲ論ズ

問 變動迷誤シ易キ教會ニ付キ我智識ヲ以テ論ズルキハ如何

答 變動迷誤スル所ノ教會ハ迷道ヲ教ユルヲ以テ愛憐アル天主ノ教

會ニアラザルヤ明カナリ

問 救靈ハ我が信心ノ眞誠ナルト我が行爲ノ清潔ナルトニ關係アルヤ

答 固ヨリ然リ眞誠ナル信ヲケレバ天主ノ悦ヲ蒙ラズ生ニ入ラント欲セバ誠ヲ守ラザルベカラズ然ルニ迷道ヲ教ユル所ノ變動シ易キ教會ニ指導サル、キハ如何ツ其信ノ眞誠ナルト行爲ノ清潔ナルト



ヲ知ルヲ得ンヤ

問 人ハ迷誤變動スル所ノ教會ニ其信川ヲ置クヲ得ルヤ

答 否置クヲ得ザルナリ人必ス心中ニ思ハン迷誤變動スル教會ハ亦我レニ迷誤變動ヲ教ユルナキヤト故ニ疑想ヲ置クヲ得ルモ信用ヲ置クヲ得ザルナリ

問 迷誤變動スル所ノ教會ハ天主ノ全善全智ニ背反スルニアラズヤ

答 然リ我等ヲ救ハンタメ汲々タル全善ノ天主ハ漫ニ人智ヲ以テ指導者ト頼ム教會ニ我等ヲ放任シ給ハズ限リナキ智能ヲ具備スル天主ハ救靈ノタメ我等ヲシテ此ノ如キ危險ナル道ヲ歩マシメ給ハズ  
問 迷誤變動スルノ教會ハ天主ガ我等ニ垂レ給フ所ノ愛憐ノ旨ニ背反セルニアラズヤ

答 固ヨリ然我等ノタメ其唯一ナル聖子ヲ降臨セシメ死ヲ以テ我等

ノ靈ヲ救ヒ給フ愛憐アル天主ハ我等ヲシテ迷道ヲ教ユル盲者ノ指導ニ放任シ給ハズ

問 足下ハ以上ノ論ヲ如何ニ論結セラルヤ

答 眞誠ナル信ヲ得ルニハ迷道ヲ教ヘザル者ヲ以テ師トナサザルベカラズ而シテ此師ハ即チ眞誠ナル教會ノ教父ナリ何ントナレバ耶穌基督ト宗徒ハ常ニ其聖會ノ教師ト偕ニ在テ須臾モ離レザレバナリ各人其解釋スル所ノ聖書ヲ以テ教ユルモハ愚鈍ナル道ニ誘導スルヨリ他ニナス所ナキナリ

第七章 眞誠ナル耶穌基督ノ教會

第一項

教會ノ徽號ヲ論ズ

問 足下ハ「プロテスタント」徒ノ信ノ規程ハ詭偽ニシテ信ヲ置クニ足ラ



ザルヲ証明セラレ又數多ノ正理ヲ以テ耶穌基督ノ教會ハ變動セザルヲ証明セラレタリ其教會ハ何レヲ指スヤ請フ之ヲ聞カン  
答 公教會是ナリ余ハ勉メテ明瞭簡單ニシテ了解シ易キ言ヲ以テ之ヲ論述セン

問 眞誠ナル教會ニ入ラズシテ救靈ヲ得ルヤ

答 眞誠ナル教會内ニ在ラザルモノ即チ教會ノ旨ニ從ハザル者ハ救靈ヲ得ズ

問 此點ニ於ケル耶穌基督ノ言ハ如何

答 教會ニ聽カザル者ハ之ヲ視ル異邦人ノ如クセヨト曰ヘリ(馬太傳十八章十七節)

問 此點ニ於テ聖シイプリヤンハ如何ナル言ヲナセシヤ

答 聖人ノ言ニ教會ヲ其母トセザル者ハ天主ヲ父トナス能ハズト又

數多ノ教父等ガ引徵セル譬喩ニ曰クノエノ船中ニアラザル者ハ洪水ノ爲メ擧テ溺没セシ如ク眞誠ナル教會ノ中ニアラザル者ハ死ナント

問 信經第九條ニ我レ公ナル聖會ヲ信ズトアル文意ハ如何

答 誰人ニテモ公教會ノ中ニ入ルハ救靈ニ必用ナリトイフヲ固ク信ズベシトノ意ナリ

問 如何ナル徵號ヲ以テ眞誠ナル教會ト他ノ宗派トチ區別スルヲ得ルヤ

答 之ヲ區別スルニ重ナル法ニアリ一ハ耶穌基督ノ眞誠ナル教會タルニハ千八百年前ニ於テ耶穌基督及其宗徒ノ創立ニ係ラザルベカラズ二ハ該教會ハ創立ヨリ今日ニ至ル迄繼續シテ世ニ存セザルベカラズ



問 何ヲ以テ耶穌基督ノ教會ハ千八百年前ノ創立ニ係ラザルベカラズトスルヤ

答 耶穌基督ガ躬カラ其教會ヲ創立セラレタルキ即チ千八百年前ニ世ヲ去リ今日ニ至ル迄我等ガ眼ニ觸ル、姿ヲ以テ一度モ世ニ降臨シ給ハザルヲ以テナリ

問 何ヲ以テ耶穌基督ノ教會タラントモハ耶穌基督ガ躬カラ創立シ給ヒシヨリ今ニ至ル迄繼續シテ世ニ存ゼザルベカラズトイフヤ

答 耶穌基督ガ其教會ノ永續セルトチ約シ給ヒシニ依ルナリ其言ニ汝ハ盤石ナリ我此盤石ニ我ガ會ヲ建ツ地獄ノ門バ汝ニ勝ツ能ハズト又曰ク往テ萬民ニ教ヘヨ視ヨ我爾等ト偕ニ常モ在リテ世ノ末ニ至ルベシト馬太傳十六章十八節而シテ聖保錄ハ耶穌基督ノ教會ヲ名ヅケテ眞理ノ柱石トイヘリ

問 教會ガ迷道ニ陥リシトモ足下ハ爲メニ如何ナル論評ヲ下スヤ  
答 若シ教會ガ迷道ニ陥リシト假想セバ耶穌基督ハ其言ノ如ク恰モ愚鈍ナル工匠馬太傳七章二十六節ニ等シキモノニシテ其教會ヲ盤石ノ上ニ建テズ砂礫ノ上ニ建テ地獄ノ門ハ之ニ勝チ其預言ハ無効ニ屬ストイハザルヲ得ズ

問 足下ハ如何ニ之ヲ論結セラル、ヤ

答 余之ヲ論結ズルニ耶穌基督ハ教會ヲ創立シ其教會ハ今ニ存在シ宗教上道德上ニ於テ迷道ニ陥リシトナク又陥ルモノニアラズ殊ニ其教旨タルヤ其師ト等シク昨日ハ今日ニ異ラズ今日ハ世ノ永末ニ至ル迄異ラザルガユヘニ人ハ確乎トシテ變動セザル信ヲ以テ其教ニル所ヲ確信ズベシト論結スルナリ

第二項



教會ノ永續ヲ論ズ

答、足下ガ前ニ述ベラレシ二箇ノ徵號ハ何レノ教會ニアリヤ

答、公教會ニアリテ其他何レニ於テモアラザルナリ

問、其公教會創立以來果シテ千八百年ヲ經過セルヤ

答、然リ何ントナレバ誰人ニテモ教會創立ノ年代ハ千八百年ヨリ後ニアルヲ明示セシヲナケレバナリ

問、然ラバ教會ハ千八百年間斷ナク繼續セシヤ

答、然リ今日ニ至ル迄誰人ニテモ公教會ガ斷絶セリトノ明証ヲ下シタルモノナク又其斷絶セシ年間ハ幾星霜ヲ經タリトイフモノナキヲ見テ知ルベシ

問、聖オグスチノハ如何ナル徵憑ヲ引來リテ以テ公教會ガ斷絶セザルヲ証明セシヤ

答、聖人ハ初代ヨリ當時ニ至ル迄十九代繼續セル教皇ノ名ヲ明示シテ以テ之ヲ証明セリ

問、聖、ペトロヨリ現今ノ教皇十三世レオンニ至ル迄公教會ヲ統御セシ教皇ノ數ハ如何

答、聖、ペトロノ座ニ在リテ公教會ヲ統轄セシ教皇ハ初代ヨリ二百五十八名ナリ

問、足下ガ前陳セシ二箇ノ徵號ハプロテスタン宗派ニ於テモ亦アリヤ

答、否、プロテスタン徒ノ各派ヲ探索スルモ此徵號ヲ發見スル能ハズ

問、リユテール派ノ教會創立以來其年數ハ幾許ナルヤ  
答、今ヲ隔ツル僅カニ三百餘年以前ニシテ即チリユテールガ其布教ヲ始メシハ紀元千五百十七年ナリ又カルウイン派ノ始ハ千五百三



十七年ナリ其以前ニ於テハ兩派共ニ知ラレタルヲナシ

問 足下ハ爲メニ如何ナル論定ヲ下スヤ

答 眞誠ナル教會ヲラシニハ千八百年前ヨリ存セザルベカラズ然ルニ「プロテスタン」宗派ハ僅カニ其創立以來三百年ニ過キザレバ眞誠ナル耶穌基督ノ教會トナスヲ得ザルナリ

問 「プロテスタン」徒ヲシテ公教會ハ創立以來五百年間彼徒ノ如ク正道ヲ蹈ミシモ其後異端ノ迷道ニ陥リ以來千百年間沈溺シタルヲ以テ天主ハリユテ<sup>ル</sup>及カルワインノ兩人ヲ遣シテ以テ改革ヲナサシメタリトノ説ヲ唱ヘシムルハ足下ハ如何ナル答論ヲナスヤ

答 此説ハ彼徒ガ唱フル數多ノ謬論ノ一ナリ夫耶穌基督ハ迷道ニ陥ルモノニアラズ地獄ノ門ハ之ニ勝ツ能ハズ其聖神ハ常モ教會ニ總テノ眞理ヲ教ヘ常モ借ニアリテ世ノ末ニ至ルト曰マハザリシヤ抑

耶穌基督ノ教會タラントセバ千八百年前ヨリ存セザルベカラズ且一度創立ノ後ハ變動スルヲナシ故ニ僅カニ二三年前ニ創設シタル「プロテスタン」ノ宗派ノ如キハ固ヨリ眞誠ナル基督ノ教會ニアラズシテ迷誤蕞聖ヲ以テ其基礎トナス一邪逕ノ私教會ニ過ギズ何トナレバ彼徒ハ基督ガ之ヲ約セス亦約スルヲモ望ミ給ハザリシ事項即チ教會ガ迷道異端ニ陥リシトイフ想像心ノ頼ミトスルニアリテ此想像心ハ基督ヲ以テ神聖ナラズトイフ重大ナル蕞聖ノ意ヲ含有スレバナリ

第三項

教會ノ明見ヲ論ズ

問 「プロテスタン」徒ニリユテ<sup>ル</sup>カルワインノ兩人現生以前眞誠ナル教會ハ何レニアリシヤト問ハゞ如何ニ答ヘンヤ試ニ此答ヲ示セ



答 彼徒必ズ言フ兩人ノ現生以前教會ハ模糊タル雲霧ノ中ニアリテ  
リユテイルカルウイン等ノ説ノ如キヲ信ゼシ者アルモ公然之ヲ口  
外ニ發セザリシト

問 此答辨ノ効驗ハ如何

答 此答辨ハ無學無識ノ徒ヲ悅バシムルノ外他ニ功ヲ見ザルノ説ニ  
シテ少シク眼アル者ハ必ズイハン心中ニ一教旨ヲ信シ他ノ教旨ヲ  
公ニ奉ズル者ハ其宗教ニ對スルノ奸徒外飾ヲ以テスル怯懦ノ徒ニ  
シテ眞誠ナル基督ノ教會タル至聖潔白ナル會ヲ組織スルノ能力ハ  
決シテ之レナシト

問 往昔猶太ノ教會ガ暫時雲霧ニ蔽ハレシモ天主ハエリヤ預言者ニ  
向ヒ偶像「バアル」ノ前ニ拜伏セザル者七千人アリト曰ヒシコソ  
ナキヤ

答 猶太ノ教會ハイヅラニール國內ニ於テ一時明見セザリシモ其間  
シニダ國ニ於テハ盛大ナリシ然ルニ「プロテスタン」徒ハ其徒ノ教會  
ハ一時公然ト世ニ顯ハレザリシ年代アリト唱フルモ其年代中其徒  
ノ教會ハ何レノ地ニモアラザリシナリ殊ニ天主ハ「プロテスタン」徒  
中明見セザルモノ七千人アリト曰ヒシコソ現シヤ基督教會ト猶  
太教會トハ大ニ異ナリ天主ハ猶太教會ニ向ヒ我常モ借ニ爾ト在リ  
地獄ノ門ハ爾ニ勝ツ能ハズト約シ給ヒシコソ決シテコレナキニ於テ  
ナヤ

問 眞誠ナル教會ノ常ニ明見スルヲ明示スル爲メ尙ホ他ニ引証アリ  
ヤ

答 アリ若シ教會ガ明見セザルモノトセバ耶穌基督ガ其教會ニ聽キ  
之ニ從ヘト曰マヒシ命令ヲ守ルコト能ハザルベシ夫教會ハ教ヲ授ク



ル牧師ト教ヲ受クル信徒トヲ以テ組織シタルモノニシテ即チ此等ノ人々及ヒ説教、祈禱、洗禮、其他秘跡ノ授與ハ即チ明見スルノ証ナリ故ニ教會ハ明見セザルモノナリトスルガ如キハ實ニ痴漢ノ迷夢トイフベシ

問 聖書ニ教會ハ明見スベキモノナリトノ明言アリヤ

答 アリ牧師ハ萬民ニ教ヘ洗禮ヲ授クベキノ文アリ(馬太傳二十八章二十節)萬民ニ教ヘ且洗禮ヲ授クルノ事項ハ即チ明見ノ尤モ著シキ事項ナリイザヤ第二章二節ニ曰ハズヤ天主殿宇ノ山ハ衆山ノ上ニ超ユト又馬太傳五章十四節ニ爾ハ世ノ光ナリ爾ハ山上ニアリテ隱蔽サレザル邑ナリト詩十八篇六章ニ天主ハ其會ヲ大陽ノ内ニ安置セリトアリ若シプロテスタン徒ニ此明文ヲ示スルハ必ズ口ヲ噤シテ答フル所ナカルベシ

問 此點ニ於テ聖會教士等ノ意見ハ如何

答 オリゼーヌノ言ニ教會ハ東ヨリ西ニ至ル光耀ニ照ラザルト聖シイプリーヤンノ言ニ教會ハ我主ノ光ヲ受ケ其光耀ヲ以テ諸ノ世人ヲ照ラスト聖シヨアン、キリヅストーモノ言ニ寧ロ日光ノ消滅スルコアルモ教會ガ幽暗ニ陥ルコトナシト聖オグスチノ言ニ教會ハ山上ニアリテ隱蔽サル、コトナシ盲者ニアラザレバ此ノ如キ大山ヲ見ルコトヲ得ザル者少ナシ蓋眞誠ナル教會ノ徽號ハ隱蔽セザルヲ以テナリトアリ

問 足下ハ明見セザル教會アリトノ説ニ付キ如何ナル考案ヲ下スヤ

答 明見セザル教會アリトハ惡念ヲ貫カントスル智慧分別ナキ徒ノ夢幻ニシテ聖書及教父等ノ旨ニ背反セル迷夢ニ過ザルナリ

問 足下ハ教皇司教神父等ガ初代ノ宗徒ヨリ連綿繼續シテ明見セル